

西東京市文化芸術振興計画への提言

平成 23 年 3 月

西東京市文化芸術振興推進委員会

目次

前文	1
第一章 計画策定に向けての提言	2
1. 計画策定の考え方	2
(1) 目指すべき姿	2
(2) 課題	2
(3) 基本方針	3
2. 計画の実施期間の考え方	3
第二章 調査による課題把握	4
1. 調査の概要	4
2. 調査結果から読み取れる課題	6
第三章 施策体系の提案	8
1. 基本方針の考え方	8
2. 計画の体系	10
むすびに	23
資料編	

前文

西東京市は「文化芸術の香りあふれるまち、心豊かに暮らせるまち」を目指し、平成 22 年 4 月 1 日に『文化芸術振興条例』（以下、条例）を施行した。その目的は、「文化芸術の振興を図るための基本理念、計画を策定すること」および、「市、市民、団体（企業、学校、民間非営利団体、地域団体等）の役割分担を明確にすること」によって文化芸術の振興を図ることにある。

市長は市民の意見を反映させた計画を策定するため、西東京市文化芸術振興推進委員会を設置し、文化芸術の振興について必要な事項の検討を求めた。

よって、われわれ西東京市文化芸術振興推進委員会は、文化芸術振興計画（以下、計画）策定の考え方について提言を行うとともに、計画の内容について提案を行う。

第一章

計画策定に向けての提言

1. 計画策定の考え方

西東京市の文化芸術の振興を図るためには、西東京市の「目指すべき姿」を市・市民・活動団体等が共有し、一丸となって取組を進めることが望まれる。

計画はこの取組を進めるための「道しるべ」となるべきものであるため、計画策定にあたっては、西東京市の「目指すべき姿」、この「目指すべき姿」を実現する上での「課題」、その「課題」を解決するための「基本方針」およびそれらを達成するために必要な「施策」を体系的にまとめることが必要である。

以下に、「目指すべき姿」「課題」「基本方針」として定めるべき項目の提案を行う。

(1) 目指すべき姿

文化芸術の振興において西東京市の「目指すべき姿」については、すでに条例や西東京市文化芸術振興施策懇談会による提言（以下、懇談会提言）の前文の中で語られている。

それらに込められた想いを踏まえ、以下のようなスローガンを「目指すべき姿」として掲げた。

目指すべき姿

**市民一人ひとりが文化芸術を享受・創造・発信できる
文化の香りあふれるまち**

(2) 課題

西東京市の文化芸術の振興に係る「課題」を把握するために、市が実施した調査結果等をもとに、以下のような8つの課題を設定した。

なお、調査の概要および課題の根拠については、第二章に記載する。

西東京市の文化芸術の振興に係る8つの課題

- ①多様な対象者に合わせた参加機会の提供
- ②情報の効果的伝達と文化情報の発信拠点づくり
- ③活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの改善
- ④文化財や伝統文化の保存・継承と活用
- ⑤文化芸術活動を担う人材育成
- ⑥子どもの文化芸術活動の学校以外の場・機会の提供および活動の促進
- ⑦文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、企業、市との連携
- ⑧多文化交流の促進

（３）基本方針

「基本方針」については、条例で示されている基本理念、懇談会提言の内容、今回整理した西東京市の文化芸術の振興に係る８つの課題、さらには西東京市の文化芸術振興を取り巻く社会情勢などを踏まえ、以下のように設定した。

各基本方針の考え方および基本方針に基づく施策の詳細については、第三章に記載する。

西東京市文化芸術振興計画の基本方針(5本の柱だて)

基本方針１ 参加のきっかけづくり

基本方針２ 市民が活動しやすい環境づくり

基本方針３ 伝統文化等の継承

基本方針４ 文化芸術を担う人づくり

基本方針５ 交流による活動の拡大・活性化

２．計画の実施期間の考え方

本計画の期間については、西東京市の全ての計画の基本となる次期『総合計画（平成 26-30 年度）』の終了年次にあわせ、平成 24 年度から平成 30 年度までの 7 年間とすることを提案する。

また、本計画の実施にあたっては、「初期・中期・後期」の三段階に分け、直ちに取り掛かれるもの、緊急性の高いものから着手し、事前の調査や準備が必要なものについては、中期以降に成果が現れることが期待される。

後期の段階では、計画項目の進捗状況、成果などを考慮し、施策の見直し・変更なども視野に入れる必要がある。

さらに、計画の実施にあたっては、安定した財源確保を目指すため、計画立案にあたって具体的な方法が盛り込まれることを望む。

第二章

調査による課題把握

1. 調査の概要

市では、西東京市の文化芸術の振興に係る課題を把握するため、市民アンケート調査をはじめとして、文化芸術活動団体アンケート・ヒアリング調査、子どもアンケート調査・子どもワークショップ、庁内事業調査を実施した。調査の対象・方法・期間について以下に示す。

なお、調査詳細は巻末資料に記載する。

■市民アンケート調査

市民の文化行政に対する考えや意見を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

対象	調査方法	実施期間	備考
18才以上の市民 1,000名(無作為抽出)	郵送配布・郵送回収。	平成22年 8月30日～9月21日	有効回収数 332票

■活動団体アンケート調査

実際に市内で文化芸術に関する活動を行っている団体の現状や意向を把握するために実施した。

対象	調査方法	実施期間	備考
①市内公共施設を使用している市民団体(不特定多数)	①市内各公共施設にアンケートBOXを設置。	①平成22年 9月13日～9月30日	有効回収数 399票
②第10回西東京市民文化祭に参加している市民団体(200団体)	②9月18日に配布し、アンケートBOXへの投函を依頼。	②平成22年 9月18日～9月30日	

■活動団体ヒアリング調査

実際に市内で文化芸術に関する活動を行っている団体の現状や意向を把握するために実施した。

対象	調査方法	実施期間	備考
ヒアリングシートを記入いただいた団体から、ジャンルが重複しないよう11団体を選定	ヒアリングシート記入内容に基づく、より詳しい内容に関する聞き取り。	平成22年 ・10月13日 (10時～12時30分) ・10月23日 (10時～12時30分)	

■子どもアンケート調査

市内の子どもたちの文化芸術活動の状況を把握するために実施した。

対象	調査方法	実施期間	備考
①市内の学童クラブのうち8箇所に所属する計 343 人 ②市内の公立小学校3校のうち5年生1クラスずつ計 102 人 ③市内の公立中学校3校のうち2年生1クラスずつ計 99 人 ④市内の都立高校3校のうち2年生1クラスずつ計 110 人	①対象学童クラブに設問と選択肢を記載している模造紙を配布し、該当する選択肢の欄にシールを貼ってもらい、投票された模造紙を回収。 ②～④各学校に配布し、記入後回収。	平成 22 年 10 月 12 日～10 月 25 日	

■子どもワークショップ

子どもたちが参加したくなる文化芸術に関するイベントのアイデアなどについての意見を把握するために実施した。

対象	調査方法	実施期間	備考
市内の文化芸術団体に所属する子ども、公募による子ども計 36 人	4班に別れてグループ討議を実施。	平成 22 年 11 月7日(14 時～16 時)	

■庁内事業調査

文化芸術に関連した事業についての進捗状況や課題を把握するために実施した。

対象	調査方法	実施期間	備考
庁内において文化芸術の内容に関連した事業を実施している課、または手段として文化芸術を取り入れて事業を実施している課 (回答した事業課:15課)	ヒアリングシートを配布、回収。	平成 22 年 11 月1日～12 月7日	

2. 調査結果から読み取れる課題

1 に示した各種調査の結果から、西東京市の文化芸術の振興に係る課題を以下のように整理した。

① 多様な対象者に合わせた参加機会の提供

市民アンケートによると、約4割の市民が文化芸術活動に参加していない。一方、市民が今後鑑賞したい、あるいは取り組みたい文化芸術の内容は多岐にわたる。また、子どもの文化芸術活動として力を入れたほうがよいものとして、事業や行事の実施による機会の充実を挙げている市民が約6割と多い。

このように、多様な対象者に合わせた参加機会の提供が求められている。

② 情報の効果的伝達と文化情報の発信拠点づくり

市民アンケートによると、市民が文化芸術鑑賞や活動を楽しむためには、「イベント情報の提供」が必要だと5割の人が感じている。市報だけでなくHPや掲示板などさまざまなメディアを活用した情報の効果的伝達が求められる。

また活動団体ヒアリングでは、「ジャンルを超えて他分野の団体と意見交換・交流したい」という意見など、団体間の情報交流のニーズが見られた。

これらを踏まえて、市民の視点にたった情報の効果的伝達や、団体間の情報交流を進める文化情報を発信する拠点が求められる。

③ 活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの改善

活動団体アンケートでは、文化芸術活動を活発にするために市が力を入れていく必要があるものとして「文化施設の整備・充実」を望む割合が一番高くなっている。

また、活動団体ヒアリングでは、施設が予約しづらいことを課題としている団体が多く、市民が市内の施設を優先的に利用できる仕組みや施設予約の仕組みを改善して欲しいという意見も見られた。

これらを踏まえて、活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの改善が求められる。

④ 文化財や伝統文化の保存・継承と活用

平成18年9月に出された懇談会提言では、伝統文化や歴史を保存し次代に継承していく必要があるとの指摘があった。

また、市民アンケートによると、市民は伝統文化を継承するために「まち歩きなど伝統文化に触れるイベントの開催」(28.9%)や、「伝統文化等の周知」(28.6%)を期待している割合が高い。

これらを踏まえて、文化財や伝統文化を保存・継承し、活用するための取組が求められる。

⑤ 文化芸術活動を担う人材育成

活動団体アンケートでは、日頃の活動の課題・問題点として「新規会員の募集・育成」が最も多く挙げられており、文化芸術活動を活発にするために「人材の育成」が必要だとする団体も多かった。

このことを踏まえて、文化芸術活動を担う人材育成が求められる。

⑥ 子どもの文化芸術活動の学校以外の場・機会の提供および活動の促進

子どもアンケートによると、中学生・高校生では活動場所は「学校」が極めて多く、学校以外での活動が少ない傾向が見られた。また、中学生、高校生が文化芸術活動を行うためには、「活動場所」が必要だと感じている。

このことを踏まえて、学校以外の場・機会の提供および活動の促進が求められる。

⑦ 文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、企業、市との連携

市民アンケートでは、市民が教養を高めたり、地域文化を創造する上で必要な連携機関として「市内高校・大学」(47.6%)や「企業」(30.4%)が挙げられている。

また、活動団体ヒアリングでは「市の事業と共催したい」「市主催の意見交換会が有効」「他分野の団体との交流が活動の発展に有益」とする意見が出された。

このように、文化芸術活動を活発化する上で活動団体、大学、企業、市などさまざまな機関との連携が求められている。

⑧ 多文化交流の促進

社会経済の国際化が進む中、西東京市においても外国籍の市民が多く在住している。

市民アンケートでは、外国人との交流を促進するために「外国人と市民との交流活動・イベントを充実する」ことが必要だとする意見が最も多く、約半数の人が望んでいる。

このことを踏まえて、多文化交流を促進することが求められる。

1. 基本方針の考え方

第一章では、目指すべき姿「市民一人ひとりが文化芸術を享受・創造・発信できる文化の香りあふれるまち」を実現するために必要となる5つの基本方針を設定したが、各基本方針は次に示す考え方に基づくものである。

基本方針1. 参加のきっかけづくり

心の豊かさやゆとりある生活を重要視する傾向が強まっている中で、文化芸術の重要性は認めつつも、実際の文化芸術活動への参加状況は十分とは言えないことから、文化芸術に関する潜在的な関心や活動意欲を喚起していくことが大切である。

特に、未来を担う子どもたちに対し、幼少期から文化芸術に触れる機会を積極的に設け、感性と創造力を持つ子どもたちを育てていくことは、重要である。

多くの市民が文化芸術に関心をもち、実際の活動につなげるためには、多様な市民ニーズに合った内容の鑑賞の場や体験機会を創出したり、関心や参加に結びつくような情報提供など、参加のきっかけとなる取組を展開することが必要と考える。

基本方針2. 市民が活動しやすい環境づくり

実際に活動している市民からは、利用施設の整備・充実を望む声や施設の予約方法などの改善を望む声が多く聞かれることから、西東京市における文化芸術活動をより活発化させていくためには、円滑な活動を支えるためのさまざまな環境づくりが必要と考える。

基本方針3. 伝統文化等の継承

地域で育まれてきた固有の文化は、西東京市の文化芸術を振興していく上で、欠くことのできないものであり、その価値を多くの市民が共有し、これを継承していくことが文化芸術への深い理解と地域への愛着や誇りを持つ市民をつくりあげるものとする。

基本方針4. 文化芸術を担う人づくり

文化芸術活動は、市民一人ひとりが日常生活の中で主体的に取り組んでいくものであり、その質を高め、活動を広げていくためには、その活動を支え、リードしていく人材が欠かせない。また、市民が主体的に活動していくためには、イベントなどを企画・運営していくコーディネーターなどの人材育成も求められる。

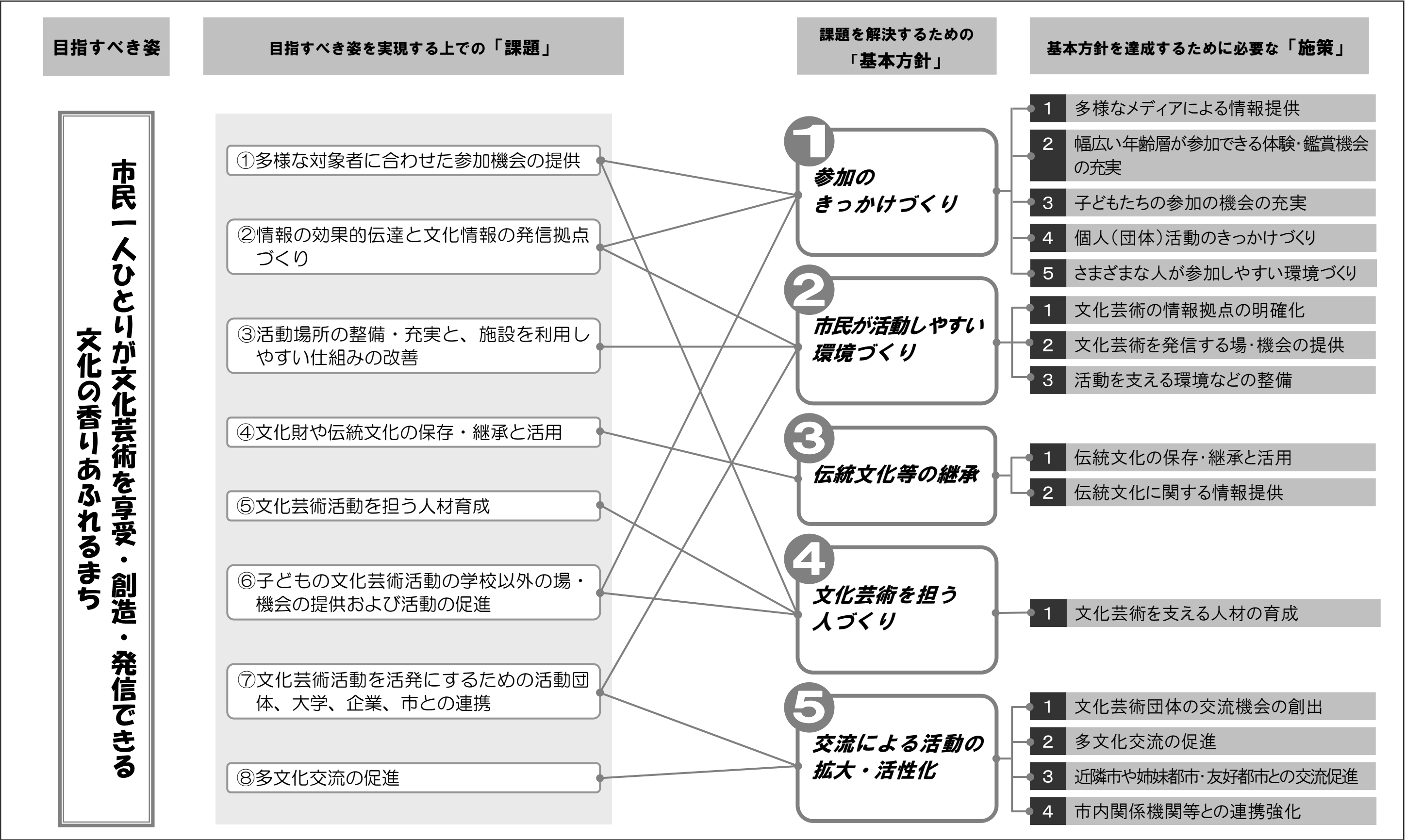
基本方針 5. 交流による活動の拡大・活性化

市内では、さまざまな団体や個人が活動を行っているが、団体間や個人間での横の連携や交流は十分とは言えず、今後の西東京市の文化芸術の振興には、これらの団体や個人での連携や交流を拡大させることはもちろん、市内に立地する企業や教育施設などとのさまざまな連携・協働・交流が必要と考える。

また、近隣市町村や姉妹都市・友好都市など広域的な文化芸術交流や市内在住の外国人との文化芸術情報の交換・交流などにより、文化芸術活動の幅の拡大や活性化などが期待できるとともに、他地域の文化芸術の理解を深めることができると考える。

2. 計画の体系

計画全体の体系および基本方針ごとの必要な施策や具体的な取組について以下に示した。



方針１「参加のきっかけづくり」

方針１で解決される課題

- ①多様な対象者に合わせた参加機会の提供
- ②情報の効果的伝達と文化情報の発信拠点づくり
- ③活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの改善
- ④文化財や伝統文化の保存・継承と活用
- ⑤文化芸術活動を担う人材育成
- ⑥子どもの文化芸術活動の学校以外の場・機会の提供および活動の促進
- ⑦文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、企業、市との連携
- ⑧多文化交流の促進

施策１ 多様なメディアによる情報提供

具体的取組（案）

- ①市報や文化広報誌による情報提供
- ②文化施設や学校、駅などの掲示板活用による情報提供
- ③ホームページなどのＩＴ活用による情報提供

施策２ 幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実

具体的取組（案）

- ①年代ごとの文化芸術に関するニーズ把握
- ②ニーズに基づく事業実施および施設の充実

施策３ 子どもたちの参加の機会の充実

具体的取組（案）

- ①子ども向け文化芸術の鑑賞機会や体験機会の充実
- ②学校教育における文化芸術に関する取組の充実
- ③学校以外の多様な場での文化芸術活動の推進

施策４ 個人（団体）活動のきっかけづくり

具体的取組（案）

- ①初心者向けの参加型イベントや入門講座の開催
- ②文化芸術団体のＰＲの実施

施策５ さまざまな人が参加しやすい環境づくり

具体的取組（案）

- ①外国語による情報提供や音声・点字による情報提供など、すべての市民に向けた情報提供方法の検討
- ②通訳や介助者の配置など、高齢者や障がい者、外国人など、だれもが参加できるための配慮をしたイベントや参加型講座などの開催

◇方針1「参加のきっかけづくり」

文化芸術に対する市民の関心を高め、参加のきっかけづくりを行うには、文化芸術に関するさまざまな情報を収集し、効果的な情報提供を行うことが有効である。

あわせて、多くの市民が文化芸術にふれ、さまざまな活動に参加することができるように、イベントの実施などを進め、関心のうすい市民に対しても、参加のきっかけとなるような機会を充実する。また、子どもたちの豊かな感受性と創造性を育むため、子どものうちから文化芸術に触れることが重要である。

さらに、外国人や障がい者等を含め、だれもが文化芸術に参加し楽しめる環境の創出により、文化芸術活動に参加する市民が増えることを目指す。

施策 1 多様なメディアによる情報提供

- ◆文化芸術に関する施策やイベント、活動団体等の情報について、市報だけでなく、文化広報誌などを活用して提供し、市民が参加するきっかけをつくる。
- ◆市報等にとどまらず、ホームページや多様なメディア、施設や駅・学校の掲示板などの空間活用等、さまざまな広報媒体を活用しながら、市民への効果的な情報提供を行う。

【具体的取組（案）】

- ①市報や文化広報誌による情報提供
- ②文化施設や学校、駅などの掲示板活用による情報提供
- ③ホームページなどのIT活用による情報提供

<取組のアイデア>

- ・SNSなどの電子媒体や口コミ、市内のコミュニティほかさまざまな発信方法を検討

施策 2 幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実

- ◆市民が文化芸術に親しむためには、文化芸術の鑑賞や体験を通じて、興味を持ったり感動することが重要であり、参加への第一歩となる。
- ◆それぞれの年代のニーズ把握を行い、ニーズに合ったイベントの開催や施設の充実を進める。

【具体的取組（案）】

- ①年代ごとの文化芸術に関するニーズ把握
- ②ニーズに基づく事業実施および施設の充実

<取組のアイデア>

- ・子どもワークショップの開催
- ・活動団体ヒアリングの継続実施

施策 3 子どもたちの参加の機会の充実

- ◆未来を担う子どもたちの感受性と創造性を豊かなものにするために、身近に文化芸術にふれ、体験できる機会の充実を図る。
- ◆学校教育において、文化芸術のすばらしさや楽しさを体験できる機会を設け、文化芸術に対する子どもの理解を深める。
- ◆学校以外の多様な場での文化芸術活動を推進し、活動が継続できる環境をつくる。

【具体的取組（案）】

- ①子ども向け文化芸術の鑑賞機会や体験機会の充実
- ②学校教育における文化芸術に関する取組の充実
- ③学校以外の多様な場での文化芸術活動の推進

施策 4 個人（団体）活動のきっかけづくり

- ◆未経験の市民の参加を促進させるための参加型イベントや入門講座を開催し、活動のきっかけをつくる。
- ◆文化芸術団体のPRを行い、市民の関心を高める。

【具体的取組（案）】

- ①初心者向けの参加型イベントや入門講座の開催
- ②文化芸術団体のPRの実施

<取組のアイデア>

- ・さまざまなイベントへの参加者の公募
- ・「西東京芸術月間」の実施（旬間または週間）

施策 5 さまざまな人が参加しやすい環境づくり

- ◆高齢者や障がい者、外国人を含め、だれもが芸術活動に参加しやすいための配慮を行う。

【具体的取組（案）】

- ①外国語による情報提供や音声・点字による情報提供など、すべての市民に向けた情報提供方法の検討
- ②通訳や介助者の配置など、高齢者や障がい者、外国人など、だれもが参加できるための配慮をしたイベントや参加型講座などの開催

方針2「市民が活動しやすい環境づくり」

方針2で解決される課題

- ①多様な対象者に合わせた参加機会の提供
- ②情報の効果的伝達と文化情報の発信拠点づくり
- ③活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの改善
- ④文化財や伝統文化の保存・継承と活用
- ⑤文化芸術活動を担う人材育成
- ⑥子どもの文化芸術活動の学校以外の場・機会の提供および活動の促進
- ⑦文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、企業、市との連携
- ⑧多文化交流の促進

施策1 文化芸術の情報拠点の明確化

具体的取組（案）

- ①定期的な市民ニーズの把握ならびに情報提供する拠点の明確化
- ②情報拠点のPR

施策2 文化芸術を発信する場・機会の提供

具体的取組（案）

- ①練習の場の充実
- ②発表の場の充実
- ③利用しやすい施設の提供

施策3 活動を支える環境などの整備

具体的取組（案）

- ①インターネットによる施設予約システムの利便性向上
- ②公共交通機関の利用環境整備ならびに利用促進

◇方針2「市民が活動しやすい環境づくり」

市民が多様な文化活動を展開し、市内における文化芸術活動を活発にするためには、気軽に参加し、文化芸術に親しみ、その成果を発表することができる環境を整えていくことが大切である。

市民が活動しやすくなるよう、わかりやすい情報提供の工夫や施設利用の仕組みを整え、文化芸術活動を促す場の環境づくりを進める。

施策 1 文化芸術の情報拠点の明確化

- ◆市民側からのニーズ等の定期的な把握ならびに文化芸術に関する情報提供を行う情報拠点を明確にし、これを市民に周知する。

【具体的取組（案）】

- ①定期的な市民ニーズの把握ならびに情報提供する拠点の明確化
- ②情報拠点のPR

<取組のアイデア>

- ・公共交通機関と連携した情報発信の場の設置

施策 2 文化芸術を発信する場・機会の提供

- ◆市民が文化芸術を発信する場や機会を創出し、これを提供する。

【具体的取組（案）】

- ①練習の場の充実
- ②発表の場の充実
- ③利用しやすい施設の提供

<取組のアイデア>

- ・気軽にだれもが参加できる発表場所の提供
- ・ストリートパフォーマンスの促進

施策 3 活動を支える環境などの整備

- ◆施設の利用状況、空き状況などの情報をインターネットで提供する。また、施設利用における市民団体等の優先システムの導入などにより、市民の施設利用の利便性を高める。
- ◆施設の設備の有無、利用上の制約やルールなどが確認できる画面の工夫など、システム改良を行う。
- ◆市内関連施設の有効利用に向けた公共交通機関の利用環境を整備し利用を促進する。

【具体的取組（案）】

- ①インターネットによる施設予約システムの利便性向上
- ②公共交通機関の利用環境整備ならびに利用促進

<取組のアイデア>

- ・公共施設の市民予約方法、学校施設使用方法等の検討

方針3 「伝統文化等の継承」

方針3で解決される課題

- ①多様な対象者に合わせた参加機会の提供
- ②情報の効果的伝達と文化情報の発信拠点づくり
- ③活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの改善
- ④文化財や伝統文化の保存・継承と活用
- ⑤文化芸術活動を担う人材育成
- ⑥子どもの文化芸術活動の学校以外の場・機会の提供および活動の促進
- ⑦文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、企業、市との連携
- ⑧多文化交流の促進

施策1 伝統文化の保存・継承と活用

具体的取組（案）

- ①伝統文化の保存・継承
- ②文化資源の有効な活用

施策2 伝統文化に関する情報提供

具体的取組（案）

- ①イベント等を活用した伝統文化の情報提供

◇方針3「伝統文化等の継承」

これまで培われた市の歴史や史跡・文化財等の文化資源は、市民にとって貴重な財産である。その価値を認識し、積極的な活用を図るとともに、次世代に継承していく。

施策 1 伝統文化の保存・継承と活用

- ◆文化財の適切な保存・管理を行うとともに、伝統文化の継承を支援する。
- ◆教育分野や都市整備分野などと連携を図り、文化資源の効果的な活用を図る。

【具体的取組（案）】

- ①伝統文化の保存・継承
- ②文化資源の有効な活用

施策 2 伝統文化に関する情報提供

- ◆まち歩きや講演会などのイベント等を通じて、伝統文化についての情報提供を進める。

【具体的取組（案）】

- ①イベント等を活用した伝統文化の情報提供

＜取組のアイデア＞

- ・ガイドやパンフレットなどを充実させる

方針4 「文化芸術を担う人づくり」

方針4で解決される課題

- ①多様な対象者に合わせた参加機会の提供
- ②情報の効果的伝達と文化情報の発信拠点づくり
- ③活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの改善
- ④文化財や伝統文化の保存・継承と活用
- ⑤文化芸術活動を担う人材育成
- ⑥子どもの文化芸術活動の学校以外の場・機会の提供および活動の促進
- ⑦文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、企業、市との連携
- ⑧多文化交流の促進

施策1 文化芸術を支える人材の育成

具体的取組（案）

- ①活動している個人や団体への支援
- ②発表の場の充実（2-2-②再掲）
- ③学校教育や生涯学習との連携による指導・支援の機会の創出
- ④中高生による自主企画等の活動支援
- ⑤企画・運営コーディネーターならびに文化ボランティアの育成

◇方針4「文化芸術を担う人づくり」

市民の文化芸術活動を広め、活性化していくために、芸術家や伝統文化の伝承者はもちろんのこと、活動を支えていくさまざまな人材を育成し、それらの人々の活躍の場を提供していく。

施策 1 文化芸術を支える人材の育成

- ◆市内で文化芸術活動を行っている個人や団体の活動を支援し、発表の場の充実を図る。
- ◆学校教育や生涯学習の場での指導・支援を、市内で活動する個人や団体が行えるような仕組みづくりを進める。
- ◆イベントや講座などの企画・運営を行うコーディネーターやそれらを支える文化ボランティアの育成を行い、その人材の活躍の場を提供する。

【具体的取組（案）】

- ①活動している個人や団体への支援
- ②発表の場の充実（2-2-②再掲）
- ③学校教育や生涯学習との連携による指導・支援の機会の創出
- ④中高生による自主企画等の活動支援
- ⑤企画・運営コーディネーターならびに文化ボランティアの育成

＜取組のアイデア＞

- ・ イベント等への文化ボランティアを育成する講座の開講
- ・ 育成したボランティアへ活動の場を提供

方針5「交流による活動の拡大・活性化」

方針5で解決される課題

- ①多様な対象者に合わせた参加機会の提供
- ②情報の効果的伝達と文化情報の発信拠点づくり
- ③活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの改善
- ④文化財や伝統文化の保存・継承と活用
- ⑤文化芸術活動を担う人材育成
- ⑥子どもの文化芸術活動の学校以外の場・機会の提供および活動の促進
- ⑦文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、企業、市との連携
- ⑧多文化交流の促進

施策1 文化芸術団体の交流機会の創出

具体的取組（案）

- ①イベントや連携組織の立ち上げなどによる文化芸術活動主体の交流機会の創出
- ②文化芸術活動主体の情報交換の仕組みの構築

施策2 多文化交流の促進

具体的取組（案）

- ①国際文化交流イベントの開催
- ②多文化交流支援スタッフの育成

施策3 近隣市や姉妹都市・友好都市との交流促進

具体的取組（案）

- ①近隣市や姉妹都市・友好都市との交流イベントの充実
- ②西東京市の文化芸術・歴史などに関するPRの強化

施策4 市内関係機関等との連携強化

具体的取組（案）

- ①協働イベント開催などによる大学との連携強化
- ②企業へのメセナ活動の啓発
- ③効果的な中学生・高校生・大学生の参加促進方策の検討

◇方針5「交流による活動の拡大・活性化」

心豊かな暮らしと活力あるまちづくりのために、文化芸術活動の役割は重要であり、欠かすことのできないものである。

文化芸術活動の主体は市民であることを共通認識とし、多様な主体が連携・交流を図ることで、活動の環（わ）を広げるとともに、広域的な交流を促進することで、西東京市の文化芸術の魅力を広く内外に呼び掛けていくことを目指す。

施策 1 文化芸術団体の交流機会の創出

- ◆多様な文化芸術活動主体間の連携に努め、交流機会を創出する。
- ◆多様な文化芸術活動主体同士の情報交換の仕組みを構築し、情報交流を促す。

【具体的取組（案）】

- ①イベントや連携組織の立ち上げなどによる文化芸術活動主体の交流機会の創出
- ②文化芸術活動主体の情報交換の仕組みの構築

施策 2 多文化交流の促進

- ◆市内に暮らす外国人との情報交換や交流事業の充実を図る。
- ◆多文化交流を支援するスタッフ（日本語ボランティアなど）の育成支援を行う。

【具体的取組（案）】

- ①国際文化交流イベントの開催
- ②多文化交流支援スタッフの育成

施策 3 近隣市や姉妹都市・友好都市との交流促進

- ◆多摩六都などの近隣市町村や姉妹都市・友好都市の文化芸術団体との交流支援の充実や文化芸術イベントを通しての交流促進を図る。
- ◆西東京市の文化芸術や歴史などの魅力を、交流イベントなどを通してアピールする。

【具体的取組（案）】

- ①近隣市や姉妹都市・友好都市との交流イベントの充実
- ②西東京市の文化芸術・歴史などに関するPRの強化

施策 4 市内関係機関等との連携強化

- ◆市内に立地する大学との連携を強化し、協働によるイベント開催などを通して、文化芸術活動の環（わ）の拡大を図る。
- ◆企業との連携を図り、市内立地企業の積極的なメセナ活動を促す。
- ◆市内在住、在学の中学生・高校生・大学生のイベントへの参加を促進する。

【具体的取組（案）】

- ①協働イベント開催などによる大学との連携強化
- ②企業へのメセナ活動の啓発
- ③効果的な中学生・高校生・大学生の参加促進方策の検討

＜取組のアイデア＞

- ・市民文化祭や市民まつり等のイベントへの学生参加の促進

むすびに

西東京市は、昨年４月に西東京市文化芸術振興条例が施行され、文化溢れるまちを目指して歩み始めました。すでに多くの自治体で、早いところでは１０年以上前に文化芸術関連の条例が制定され、それぞれに文化の香るまちを目指して取り組んでいます。

もともと西東京市は、市民文化祭や市民まつりなどの文化関連イベントが盛んでしたが、今回の条例制定をきっかけとして、さらに盛んになっていくことを願わずにはられません。

今年度、西東京市文化芸術振興推進委員会では、市が実施したさまざまな調査の下、条例の重点目標を踏まえて、５本の基本方針を中心に、文化芸術振興計画策定への提言としてまとめました。今後も実りある市民参加によって、西東京市が文化の香り溢れるまちとなりますよう、計画策定に向けて市とともに尽力してまいりたいと思います。

むすびにあたりまして、今年度は提言作成に多くの市民の皆様からお力添えをいただきましたことを、委員会を代表して厚く御礼申し上げます。また、今後も色々な方のお力添えをいただきたく存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

西東京市文化芸術振興推進委員会 委員長 赤澤 立三

資料編

◆西東京市文化芸術に関するアンケート調査結果報告書・・・・・・・・・・	1
◆西東京市 文化芸術振興計画策定のための活動団体アンケート結果・・	55
◆活動団体ヒアリング調査 結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・	77
◆西東京市 文化芸術振興計画策定のための子どもアンケート結果・・	81
◆西東京市文化芸術振興 子どもワークショップ開催記録・・・・・・・・	105
◆庁内ヒアリング事業調書のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	117

.....

西東京市文化芸術に関するアンケート調査 結果報告書

.....

平成22年11月
西 東 京 市

目次

I	調査概要	1
II	項目別分析	3
1.	基本的属性等	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	職業	4
(4)	居住地区	4
(5)	居住年数	5
2.	文化芸術活動について	6
(1)	1年間で鑑賞した文化芸術／今後鑑賞したい文化芸術	6
(2)	現在、行っている文化芸術活動／今後、取組みたい文化芸術活動	8
(3)	文化芸術鑑賞や活動を楽しむために必要なこと	10
(4)	活動しやすい時間帯	12
(5)	文化芸術化活動に必要な情報媒体	13
(6)	文化芸術活動に関する欲しい情報	14
3.	西東京市の文化施設について	15
(1)	文化芸術活動のために利用したことのある施設	15
(2)	文化芸術活動のために施設を利用する時の理由や基準	16
(3)	こもれびホール・市民会館・コール田無をより魅力的な施設にするために必要なこと	17
4.	「文化・芸術」のイメージについて	19
(1)	「文化・芸術」という言葉のイメージ	19

5. 文化事業への参加について	20
（1）文化事業への関心を満たす地域の範囲	20
（2）西東京市が実施した文化事業への参加状況	20
（3）参加したことがない理由	22
6. 西東京市の文化的な環境について	23
（1）西東京市の文化的な環境の満足度	23
（2）西東京市の文化的な環境の重要度	24
（3）重要度と満足度の相関	25
（4）地域での文化芸術活動を活発にするために力を入れるべきこと	26
7. 西東京市の子どもの文化芸術活動について	27
（1）子どもたちの文化芸術活動を活発にするために力を入れるべきこと ..	27
8. 西東京市の文化財や伝統文化について	28
（1）市内の文化財や伝統文化の認知状況	28
（2）西東京市の伝統文化を継承するために期待すること	29
9. 西東京市の地域活動への参加について	30
（1）地域活動の参加状況	30
10. 外国人との交流や大学等との連携について	31
（1）外国人との市民との交流を促進するために必要なこと	31
（2）市民が教養を高めたり、地域文化を創造する上で必要な連携機関	32
11. 自由回答	33

III

アンケート調査票

.....	38
-------	----

I.調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民の文化行政に対する考えや意見を把握し、西東京市文化芸術振興計画（仮称）策定のための基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査設計

- (1) 調査対象 18 歳以上の市民
- (2) 対象者数 1,000 名（無作為抽出）
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (4) 調査期間 平成 22 年 8 月 30 日～9 月 21 日

3. 調査項目

- (1) 基本的属性等（性別、年齢、職業、居住地区、居住年数）
- (2) 1 年間で鑑賞した文化芸術／今後、鑑賞したい文化芸術
- (3) 現在、行っている文化芸術活動／今後、取組みたい文化芸術活動
- (4) 文化芸術活動や活動を楽しむために必要なこと
- (5) 活動しやすい時間帯
- (6) 文化芸術活動に必要な情報媒体
- (7) 文化芸術活動に関する欲しい情報
- (8) 文化芸術活動のために利用したことのある施設
- (9) 文化芸術活動のために施設を利用する時の理由や基準
- (10) 西東京市の文化施設をより魅力的にするために必要なこと
- (11) 文化・芸術という言葉のイメージ
- (12) 文化事業への関心を満たす地域の範囲
- (13) 西東京市が実施した文化事業への参加状況
- (14) 参加したことがない理由
- (15) 西東京市の文化的な環境の満足度（14 項目）
- (16) 西東京市の文化的な環境の重要度（14 項目）
- (17) 地域での文化芸術活動を活発にするために力を入れるべきこと
- (18) 子どもたちの文化芸術活動を活発にするために力をいれるべきこと
- (19) 市内の文化財や伝統文化の認知状況
- (20) 西東京市の伝統文化を継承するために期待すること
- (21) 地域活動への参加状況
- (22) 外国人と市民との交流促進に必要なこと
- (23) 市民が教養を高めたり、地域文化を創造する上で必要な連携機関

4. 回収結果

- (1) 回収数……332 (回収率 33.2%)

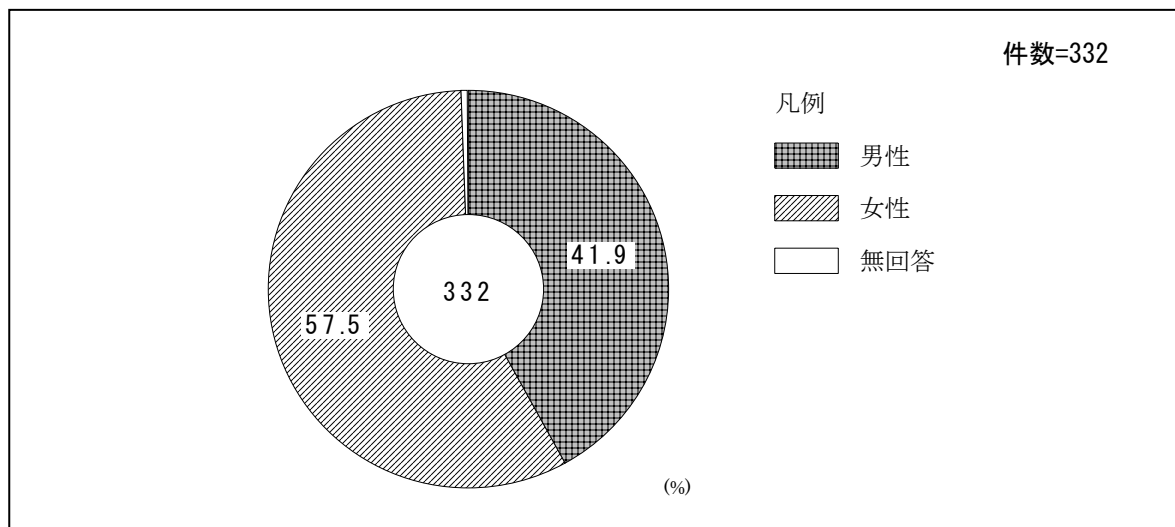
5. 集計・分析にあたって

- (1) 集計数表は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。
- (2) 回答比率(%)はその設問の回答者数を母数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。

Ⅱ.項目別分析

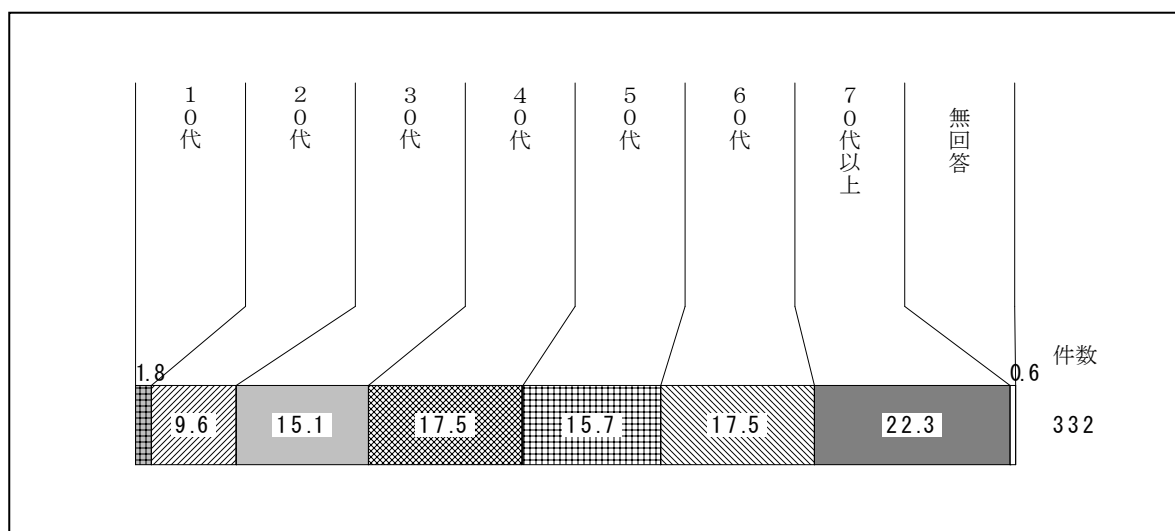
1 基本的属性等

(1) 性別 (問1)



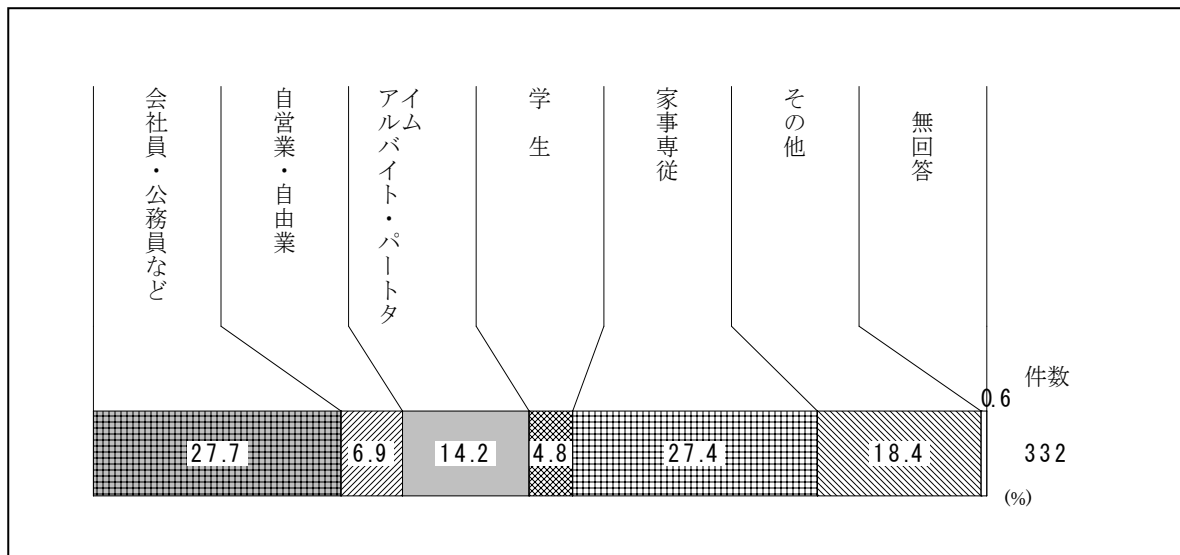
「男性」が41.9%、「女性」が57.5%と、「女性」の割合が高くなっている。

(2) 年齢 (問2)



年齢構成をみると、「70代以上」が22.3%と最も高く、次いで「40代」と「60代」が17.5%、「50代」が15.7%、「30代」が15.1%となっており、10代、20代の割合は低くなっている。

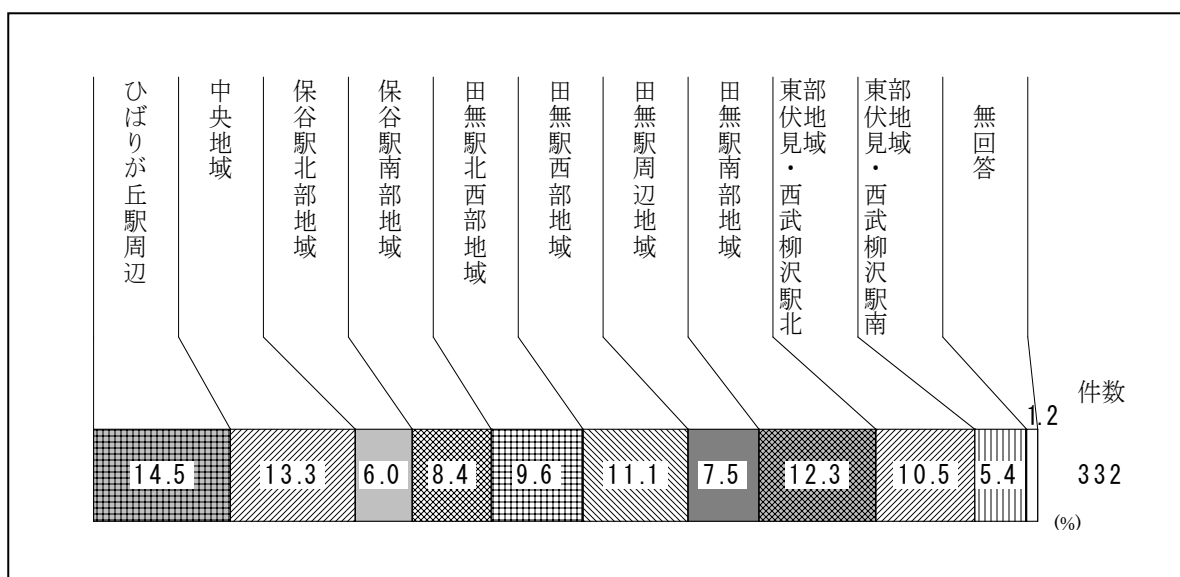
(3) 職業（問3）



職業をみると、「会社員・公務員など」が27.7%で最も高く、「家事専従」が僅差の27.4%でこれに続いている。

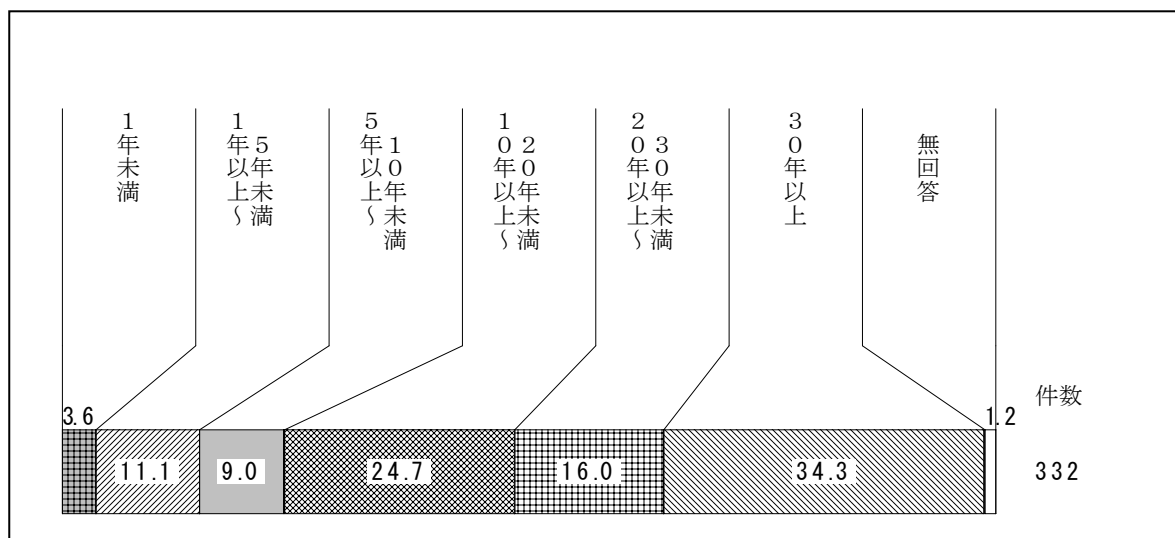
「その他」（61件）の内訳は、「無職」が34件、「医師」が2件、「会社経営／団体職員／臨時職員」などが各1件となっている。

(4) 居住地区（問4）



居住地区をみると、「ひばりが丘駅周辺」14.5%、「中央地域」13.3%、「田無駅南部地域」12.3%が上位3位までを占めている。

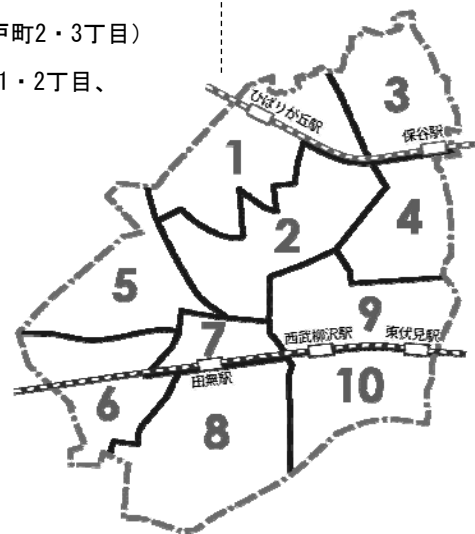
(5) 居住年数 (問5)



居住年数をたずねたところ、「30年以上」が34.3%、「10年以上20年未満」24.7%となっており、10年以上の居住者は全体の7割を超えている。

(アンケート集計上の地域区分)

1. ひばりが丘駅周辺 (住吉町2・3丁目、ひばりが丘1～3丁目、ひばりが丘北1～4丁目、栄町1～3丁目、緑町3丁目、谷戸町2・3丁目)
2. 中央地域 (泉町1～6丁目、住吉町1丁目、4～6丁目、緑町1・2丁目、谷戸町1丁目、北原町1～3丁目)
3. 保谷駅北部地域 (北町1～6丁目、下保谷1～5丁目)
4. 保谷駅南部地域 (中町1～6丁目、東町1～6丁目)
5. 田無駅北西部地域 (田無町7丁目、西原町1～5丁目、芝久保町4・5丁目、ひばりが丘4丁目)
6. 田無駅西部地域 (田無町6丁目、南町6丁目、向台町5・6丁目、芝久保町1～3丁目)
7. 田無駅周辺地域 (田無町1～5丁目)
8. 田無駅南部地域 (南町1～5丁目、向台1～4丁目、新町1～6丁目)
9. 東伏見・西武柳沢駅北部地域 (保谷町1～6丁目、富士町1～6丁目)
10. 東伏見・西武柳沢駅南部地域 (柳沢1～6丁目、東伏見1～6丁目)



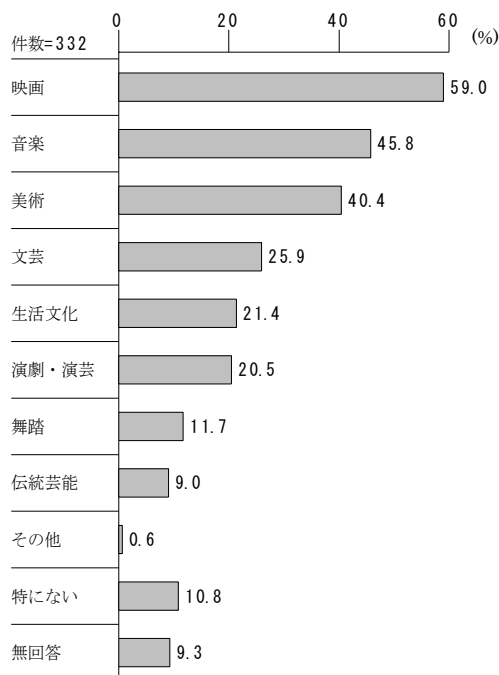
2 文化芸術活動について

(1) 1年間で鑑賞した文化芸術／今後、鑑賞したい文化芸術（問6）

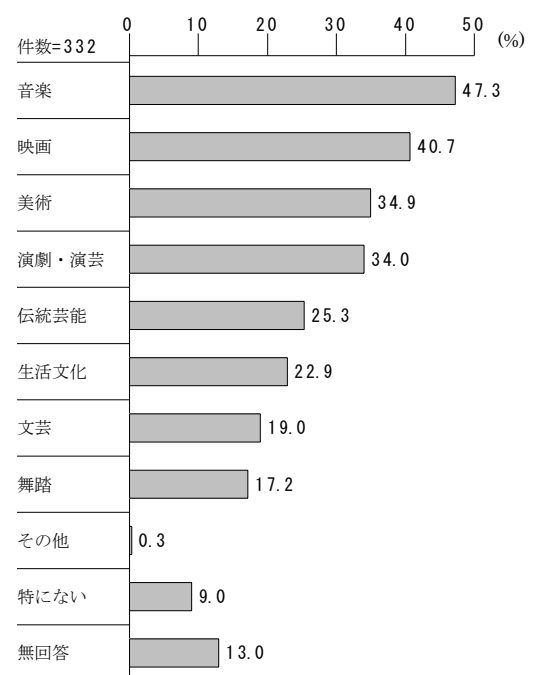
1年間で鑑賞した文化芸術は、1位「映画」、2位「音楽」で、今後、鑑賞したい文化芸術は1位「音楽」、2位「映画」となっている。

問6. この1年間でどのような文化芸術の公演や作品を鑑賞しましたか。また、今後、鑑賞したい文化芸術はどの分野の公演や作品ですか。（複数回答）

【鑑賞した文化芸術】



【鑑賞したい文化芸術】



この1年間で鑑賞した文化芸術については、1位は「映画」（59.0%）で約6割を占めており、「音楽」（45.8%）がこれに次いでいる。

「その他」（2件）では、「京劇／現代文化会議」（各1件）となっている。

一方、今後鑑賞したいものは、1位が「音楽」（47.3%）であり、「映画」（40.7%）がこれに次いでおり、鑑賞した文化芸術と1位と2位が入れ替わっている。

●クロス集計（問6鑑賞した文化芸術×年代別／鑑賞したい文化芸術×年代別）

この1年間で鑑賞した文化芸術を年代別にみた1位は、10代から50代までは「映画」で、60代以上は「音楽」であり、今後鑑賞したい文化芸術では、10代が「美術」、30代は「映画」、それ以外の世代では「音楽」となっている。

【鑑賞した文化芸術】

	調査数	音楽	演劇・演芸	舞踏	美術	文芸	映画	生活文化	伝統芸能	その他	特にない	無回答
調査数	332 100.0	152 45.8	68 20.5	39 11.7	134 40.4	86 25.9	196 59.0	71 21.4	30 9.0	2 0.6	36 10.8	31 9.3
10代	6 100.0	3 50.0	5 83.3	0 0.0	2 33.3	4 66.7	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代	32 100.0	12 37.5	7 21.9	2 6.3	13 40.6	9 28.1	23 71.9	3 9.4	3 9.4	0 0.0	3 9.4	4 12.5
30代	50 100.0	19 38.0	12 24.0	9 18.0	18 36.0	12 24.0	34 68.0	8 16.0	0 0.0	0 0.0	7 14.0	5 10.0
40代	58 100.0	22 37.9	7 12.1	7 12.1	22 37.9	20 34.5	44 75.9	6 10.3	7 12.1	0 0.0	6 10.3	3 5.2
50代	52 100.0	25 48.1	11 21.2	5 9.6	17 32.7	10 19.2	33 63.5	10 19.2	3 5.8	0 0.0	6 11.5	6 11.5
60代	58 100.0	35 60.3	13 22.4	9 15.5	33 56.9	12 20.7	33 56.9	17 29.3	4 6.9	1 1.7	7 12.1	4 6.9
70代以上	74 100.0	36 48.6	13 17.6	7 9.5	29 39.2	19 25.7	23 31.1	27 36.5	13 17.6	1 1.4	7 9.5	7 9.5
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

【鑑賞したい文化芸術】

	調査数	音楽	演劇・演芸	舞踏	美術	文芸	映画	生活文化	伝統芸能	その他	特にない	無回答
調査数	332 100.0	157 47.3	113 34.0	57 17.2	116 34.9	63 19.0	135 40.7	76 22.9	84 25.3	1 0.3	30 9.0	43 13.0
10代	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	4 66.7	2 33.3	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7
20代	32 100.0	16 50.0	12 37.5	5 15.6	11 34.4	5 15.6	15 46.9	5 15.6	10 31.3	0 0.0	3 9.4	2 6.3
30代	50 100.0	21 42.0	18 36.0	11 22.0	17 34.0	10 20.0	22 44.0	13 26.0	12 24.0	1 2.0	6 12.0	5 10.0
40代	58 100.0	34 58.6	25 43.1	14 24.1	25 43.1	14 24.1	32 55.2	5 8.6	12 20.7	0 0.0	2 3.4	4 6.9
50代	52 100.0	25 48.1	18 34.6	7 13.5	11 21.2	8 15.4	25 48.1	12 23.1	13 25.0	0 0.0	5 9.6	9 17.3
60代	58 100.0	26 44.8	22 37.9	10 17.2	25 43.1	12 20.7	20 34.5	19 32.8	13 22.4	0 0.0	7 12.1	10 17.2
70代以上	74 100.0	32 43.2	16 21.6	9 12.2	23 31.1	12 16.2	18 24.3	21 28.4	22 29.7	0 0.0	7 9.5	10 13.5
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

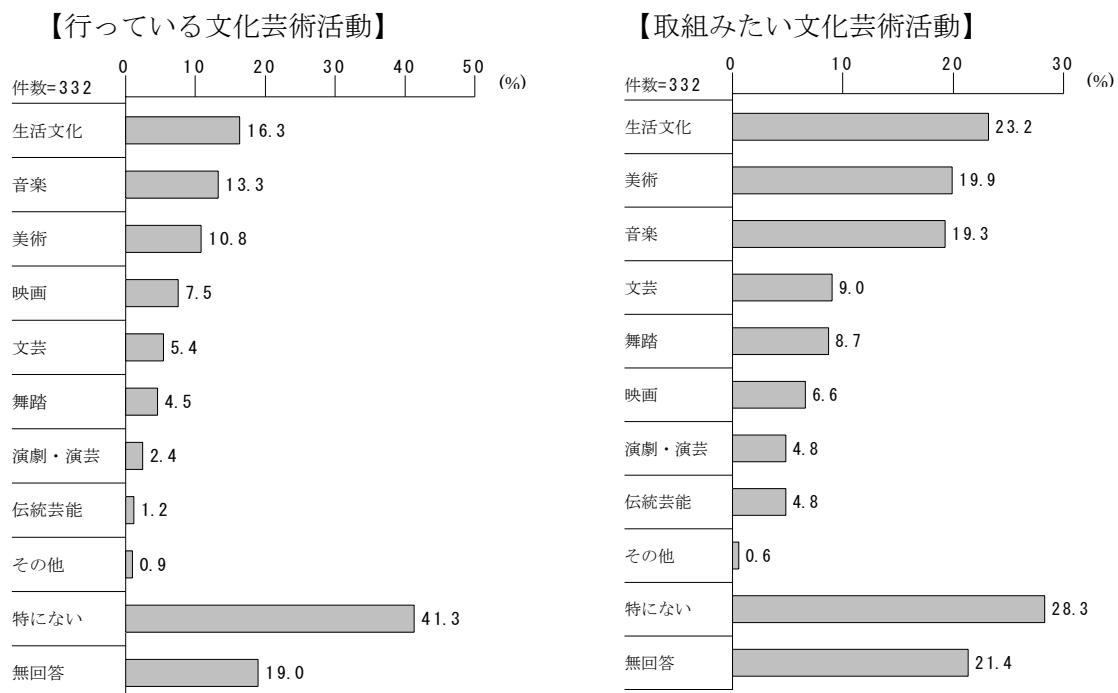
この1年間で鑑賞した文化芸術を年代別に見ると、10代から50代までは「映画」が1位であるのに対し、60代、70代以上では「音楽」が1位になっている。

また、今後、鑑賞したい文化芸術を年代別に見ると、10代は「美術」が、20代は「音楽」が、30代は「映画」が、40代以上では「音楽」が1位となっている。

(2) 現在、行っている文化芸術活動／今後、取組みたい文化芸術活動（問7）

4割が現在、行っている文化芸術活動は「特にない」状況で、今後、取組みたい文化芸術活動も「特にない」とする回答が最も多い。現在の活動も今後の取組みたい活動も「特にない」を除くと「生活文化」が1位である。

問7. 現在、どのような文化芸術活動を行っていますか。また、今後、どのような文化芸術活動に取組みたいと思いますか。（複数回答）



現在、行っている文化芸術活動をみると、「特にない」が41.3%と4割を占め、「生活文化（生け花・茶道・書道など）」（16.3%）、「音楽」（13.3%）、「美術」（10.8%）が続いている。

「その他」（3件）では、「子どもたちにお話を語る活動／車いすダンス／太極拳」（各1件）となっている。

一方、今後、取組みたい文化芸術活動は、「特にない」が28.3%と最も多くを占め、次いで「生活文化」（23.2%）、「美術」（19.9%）、「音楽」（19.3%）となっている。

「その他」（2件）では、「弓道」（1件）などとなっている。

●クロス集計（問7行っている文化芸術×年代別／取組みたい文化芸術×年代別）

現在行っている文化芸術活動は、10代以外のほとんどの年代で「特にない」。
今後、取組みたい文化芸術活動も、40代、50代以外の年代の人たちは「特にない」。40代では「音楽」、50代では「美術」活動を希望している。

【行っている文化芸術活動】

	調査数	音楽	演劇・演芸	舞踏	美術	文芸	映画	生活文化	伝統芸能	その他	特にない	無回答
調査数	332 100.0	44 13.3	8 2.4	15 4.5	36 10.8	18 5.4	25 7.5	54 16.3	4 1.2	3 0.9	137 41.3	63 19.0
10代	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0
20代	32 100.0	2 6.3	1 3.1	4 12.5	4 12.5	2 6.3	5 15.6	3 9.4	0 0.0	0 0.0	19 59.4	3 9.4
30代	50 100.0	7 14.0	0 0.0	2 4.0	2 4.0	1 2.0	4 8.0	8 16.0	0 0.0	0 0.0	21 42.0	12 24.0
40代	58 100.0	11 19.0	1 1.7	2 3.4	4 6.9	3 5.2	6 10.3	4 6.9	0 0.0	1 1.7	28 48.3	9 15.5
50代	52 100.0	5 9.6	1 1.9	1 1.9	5 9.6	1 1.9	3 5.8	8 15.4	0 0.0	0 0.0	21 40.4	17 32.7
60代	58 100.0	8 13.8	1 1.7	4 6.9	8 13.8	2 3.4	1 1.7	13 22.4	0 0.0	1 1.7	21 36.2	9 15.5
70代以上	74 100.0	8 10.8	4 5.4	2 2.7	11 14.9	7 9.5	3 4.1	18 24.3	4 5.4	1 1.4	25 33.8	11 14.9
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

【取組みたい文化芸術活動】

	調査数	音楽	演劇・演芸	舞踏	美術	文芸	映画	生活文化	伝統芸能	その他	特にない	無回答
調査数	332 100.0	64 19.3	16 4.8	29 8.7	66 19.9	30 9.0	22 6.6	77 23.2	16 4.8	2 0.6	94 28.3	71 21.4
10代	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	3 50.0
20代	32 100.0	9 28.1	3 9.4	3 9.4	6 18.8	2 6.3	3 9.4	7 21.9	0 0.0	0 0.0	10 31.3	9 28.1
30代	50 100.0	10 20.0	2 4.0	7 14.0	9 18.0	4 8.0	5 10.0	11 22.0	2 4.0	2 4.0	15 30.0	6 12.0
40代	58 100.0	17 29.3	1 1.7	4 6.9	15 25.9	4 6.9	4 6.9	13 22.4	1 1.7	0 0.0	13 22.4	8 13.8
50代	52 100.0	12 23.1	4 7.7	9 17.3	17 32.7	7 13.5	8 15.4	14 26.9	5 9.6	0 0.0	11 21.2	10 19.2
60代	58 100.0	9 15.5	3 5.2	4 6.9	9 15.5	7 12.1	0 0.0	15 25.9	3 5.2	0 0.0	20 34.5	13 22.4
70代以上	74 100.0	7 9.5	3 4.1	1 1.4	10 13.5	5 6.8	2 2.7	16 21.6	4 5.4	0 0.0	23 31.1	20 27.0
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

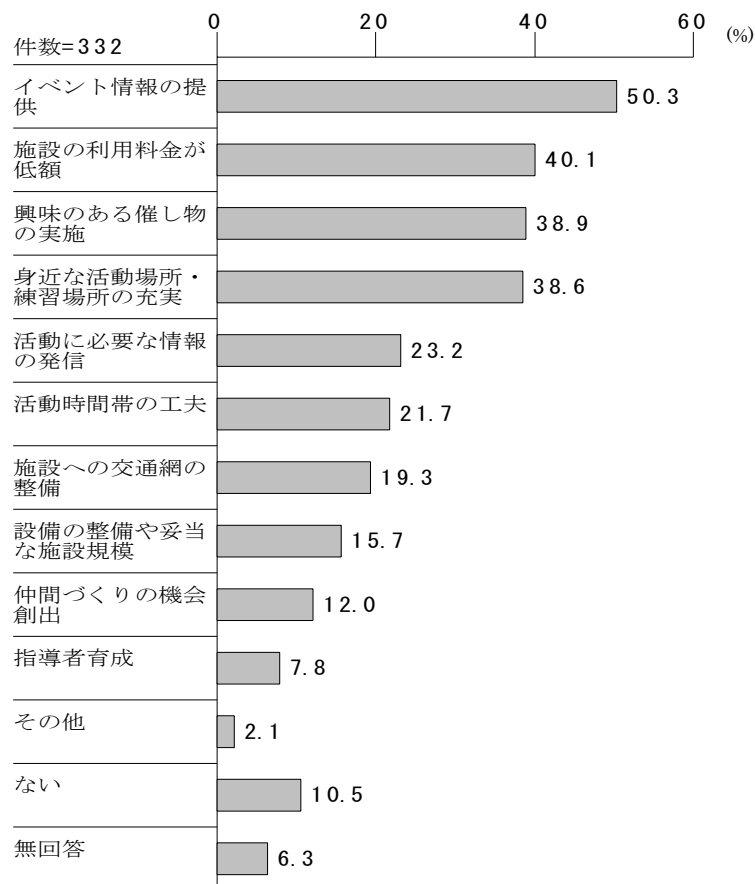
現在、行っている文化芸術活動を年代別に見ると、20代から70代以上のほとんどの年代で「特にない」が3割から5割を占めているが、10代では「音楽」が1位になっている。

また、今後、取組みたい文化芸術活動を年代別に見ると、40代は「音楽」が、50代は「美術」が1位となっているが、それ以外の年代では「特にない」が最も多くなっている。

(3) 文化芸術鑑賞や活動を楽しむために必要なこと（問8）

文化芸術鑑賞や活動を楽しむためには、5割の人が「イベント情報の提供」が必要と感じている。

問8. より活発に文化芸術鑑賞や活動を楽しむためには、どのようなことが必要ですか。
（複数回答）



より活発に文化芸術鑑賞や活動を楽しむために必要なこととして、「イベント情報」（50.3%）が最も多く、5割を占めている。この他、「施設の利用料金が低額」（40.1%）、「興味のある催し物の実施」（38.9%）、「身近な活動場所・練習場所の充実」（38.6%）などが上位を占めている。

「その他」（7件）では、「保谷駅前公民館を西東京市民のために活用する／保谷駅前公民館が市と区の間にあるので移転を考える／打合せの場所が少ない／活動専用の格安託児所／赤ちゃん連れでもOKであること」（各1件）などとなっている。

●クロス集計（問8必要なこと×年代別）

ほとんどの年代で「イベント情報の提供」が必要と感じているが、20代・30代・40代は「施設の利用料金が低額」、60代では「身近な活動場所・練習場所の充実」が必要と感じている。

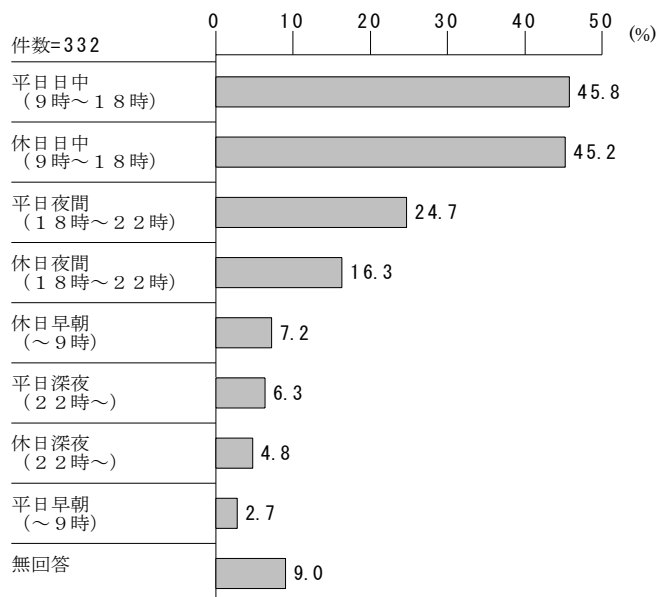
	調査数	イベント情報の提供	活動の発信に必要な情報	興味の実施ある催し	施設の整備への交通網	充実・近な練習場所の	当設の施設の整備や模	が施設の利用料金	夫活動時間帯の工	会仲間づくりの機	指導者育成	その他	ない	無回答
調査数	332 100.0	167 50.3	77 23.2	129 38.9	64 19.3	128 38.6	52 15.7	133 40.1	72 21.7	40 12.0	26 7.8	7 2.1	35 10.5	21 6.3
10代	6 100.0	5 83.3	0 0.0	2 33.3	3 50.0	4 66.7	4 66.7	4 66.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代	32 100.0	18 56.3	8 25.0	16 50.0	4 12.5	14 43.8	4 12.5	18 56.3	10 31.3	7 21.9	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0
30代	50 100.0	24 48.0	13 26.0	27 54.0	7 14.0	23 46.0	5 10.0	27 54.0	14 28.0	4 8.0	2 4.0	3 6.0	3 6.0	1 2.0
40代	58 100.0	32 55.2	18 31.0	26 44.8	11 19.0	28 48.3	14 24.1	32 55.2	16 27.6	10 17.2	3 5.2	0 0.0	2 3.4	2 3.4
50代	52 100.0	33 63.5	13 25.0	18 34.6	13 25.0	16 30.8	10 19.2	18 34.6	12 23.1	6 11.5	5 9.6	0 0.0	6 11.5	0 0.0
60代	58 100.0	26 44.8	18 31.0	21 36.2	12 20.7	27 46.6	9 15.5	24 41.4	15 25.9	8 13.8	5 8.6	1 1.7	8 13.8	2 3.4
70代以上	74 100.0	29 39.2	7 9.5	19 25.7	14 18.9	16 21.6	6 8.1	10 13.5	4 5.4	3 4.1	8 10.8	3 4.1	15 20.3	14 18.9
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 ###

より活発に文化芸術鑑賞や活動を楽しむために必要なことを年代別に見ると、ほとんどの年代で「イベント情報の提供」が1位を占めているが、20代、30代、40代では「施設の利用料金が低額」が、60代では「身近な活動場所・練習場所の充実」が1位となっている。

(4) 活動しやすい時間帯（問9）

活動しやすい時間帯は「平日日中（9時～18時）」と「休日日中（9時～18時）」で二分している。

問9. 文化活動を行う場合、活動しやすい時間帯はいつですか。
（複数回答）



文化活動を行う場合、活動しやすい時間帯をたずねたところ、「平日日中」（45.8%）と「休日日中」（45.2%）がどちらも4割を超え、多くを占めている。

●クロス集計（問9活動しやすい時間帯×年代別）

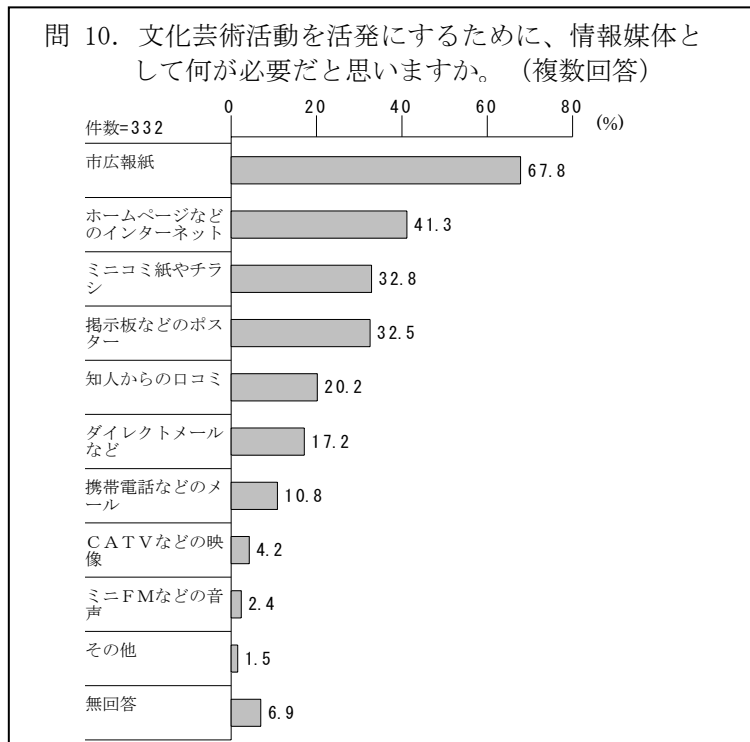
活動しやすい時間帯は、ほとんどの世代で「休日日中」だが、60代以上では「平日日中」である。

	調査数	(平日 ～9時 早朝)	(平日 日中 9時～ 18時)	(平日 夜間 18時～ 22時)	(平日 深夜 22時～)	(休日 ～9時 早朝)	(休日 日中 9時～ 18時)	(休日 夜間 18時～ 22時)	(休日 深夜 22時～)	無回答
調査数	332	9	152	82	21	24	150	54	16	30
	100.0	2.7	45.8	24.7	6.3	7.2	45.2	16.3	4.8	9.0
10代	6	0	0	5	1	1	5	5	1	0
	100.0	0.0	0.0	83.3	16.7	16.7	83.3	83.3	16.7	0.0
20代	32	2	9	15	5	6	22	12	5	1
	100.0	6.3	28.1	46.9	15.6	18.8	68.8	37.5	15.6	3.1
30代	50	1	18	16	8	3	23	12	5	2
	100.0	2.0	36.0	32.0	16.0	6.0	46.0	24.0	10.0	4.0
40代	58	2	15	23	5	8	35	14	5	1
	100.0	3.4	25.9	39.7	8.6	13.8	60.3	24.1	8.6	1.7
50代	52	0	23	8	1	3	27	6	0	2
	100.0	0.0	44.2	15.4	1.9	5.8	51.9	11.5	0.0	3.8
60代	58	1	39	10	1	2	24	5	0	3
	100.0	1.7	67.2	17.2	1.7	3.4	41.4	8.6	0.0	5.2
70代以上	74	3	48	5	0	1	14	0	0	19
	100.0	4.1	64.9	6.8	0.0	1.4	18.9	0.0	0.0	25.7
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

活動しやすい時間帯を年代別に見ると、10代は分散しているが、ほとんどの年代で「休日日中」が、60代以上では「平日日中」が最も多くなっている。

(5) 文化芸術活動に必要な情報媒体 (問10)

必要な情報媒体は「市広報紙」が1位であり、「インターネット」や「ポスター」も上位となっている。



文化芸術活動を活発にするために必要な情報媒体は、「市広報紙」とする回答の割合が67.8%と非常に多く、次いで「ホームページなどのインターネット」(41.3%)、「ミニコミ紙やチラシ」(32.8%)、「掲示板などのポスター」(32.5%)などとなっている。

「その他」(5件)では、「必要ない」(3件)、「新聞記事／電車中吊り広告」(各1件)となっている。

●クロス集計 (問10 必要な情報媒体×年代別)

必要な情報媒体は、ほとんどの年代で「市広報紙」と感じているが、10代は「掲示板などのポスター」、20代では「ホームページなどのインターネット」だと感じている。

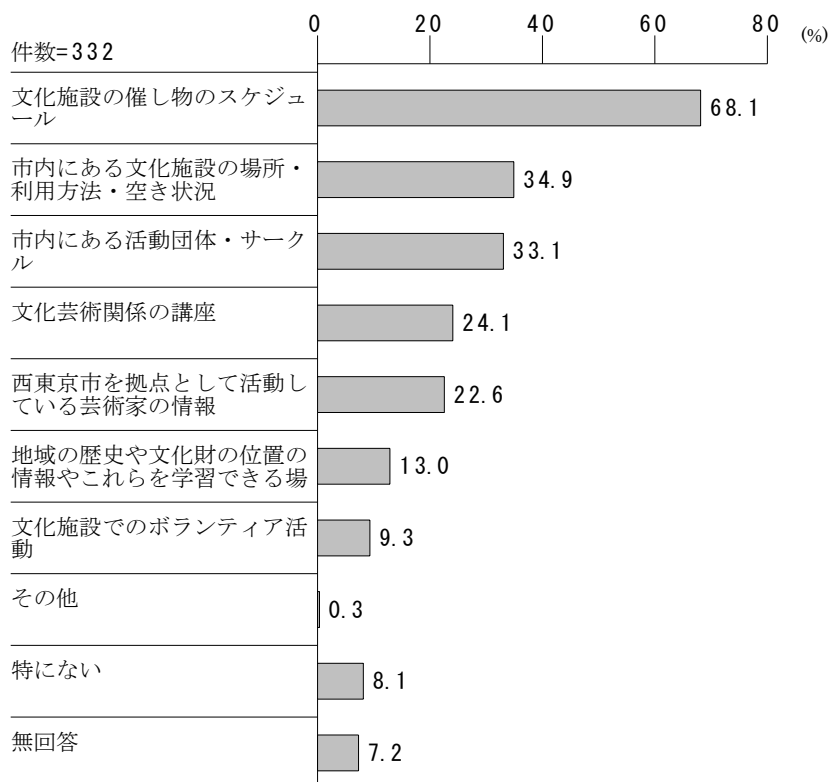
	調査数	市広報紙	CATVなどの映像	ミニFMなどの音声	ミニコミ紙やチラシ	ホームページなどのインターネット	ダイレクトメールなど	知人からの口コミ	掲示板などのポスター	携帯電話などのメール	その他	無回答
調査数	332	225	14	8	109	137	57	67	108	36	5	23
	100.0	67.8	4.2	2.4	32.8	41.3	17.2	20.2	32.5	10.8	1.5	6.9
10代	6	4	0	0	2	4	2	3	5	2	0	0
	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	50.0	83.3	33.3	0.0	0.0
20代	32	14	3	1	15	21	8	13	14	9	0	0
	100.0	43.8	9.4	3.1	46.9	65.6	25.0	40.6	43.8	28.1	0.0	0.0
30代	50	33	4	1	20	25	11	13	16	8	1	1
	100.0	66.0	8.0	2.0	40.0	50.0	22.0	26.0	32.0	16.0	2.0	2.0
40代	58	41	2	2	20	40	8	11	18	8	0	2
	100.0	70.7	3.4	3.4	34.5	69.0	13.8	19.0	31.0	13.8	0.0	3.4
50代	52	36	2	2	13	22	13	7	14	4	0	1
	100.0	69.2	3.8	3.8	25.0	42.3	25.0	13.5	26.9	7.7	0.0	1.9
60代	58	46	2	2	22	18	10	12	24	3	2	3
	100.0	79.3	3.4	3.4	37.9	31.0	17.2	20.7	41.4	5.2	3.4	5.2
70代以上	74	51	1	0	17	7	5	8	17	2	2	14
	100.0	68.9	1.4	0.0	23.0	9.5	6.8	10.8	23.0	2.7	2.7	18.9
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

必要な情報媒体を年代別に見ると、ほとんどの年代で「市広報紙」が1位となっているが、10代で「掲示板などのポスター」、20代で「ホームページなどのインターネット」が1位となっている。

(6) 文化芸術活動に関する欲しい情報（問 1 1）

文化芸術活動に関する欲しい情報としては、「文化施設の催し物のスケジュール」が約 7 割を占め、圧倒的に多い。

問 1 1. 文化芸術活動に関する情報について、どのような情報がほしいですか。
(複数回答)



市民が欲している文化芸術活動に関する情報は、「文化施設の催し物のスケジュール」が 68.1%と全体の約 7 割を占めており、多くの市民が知りたい情報であることがわかる。

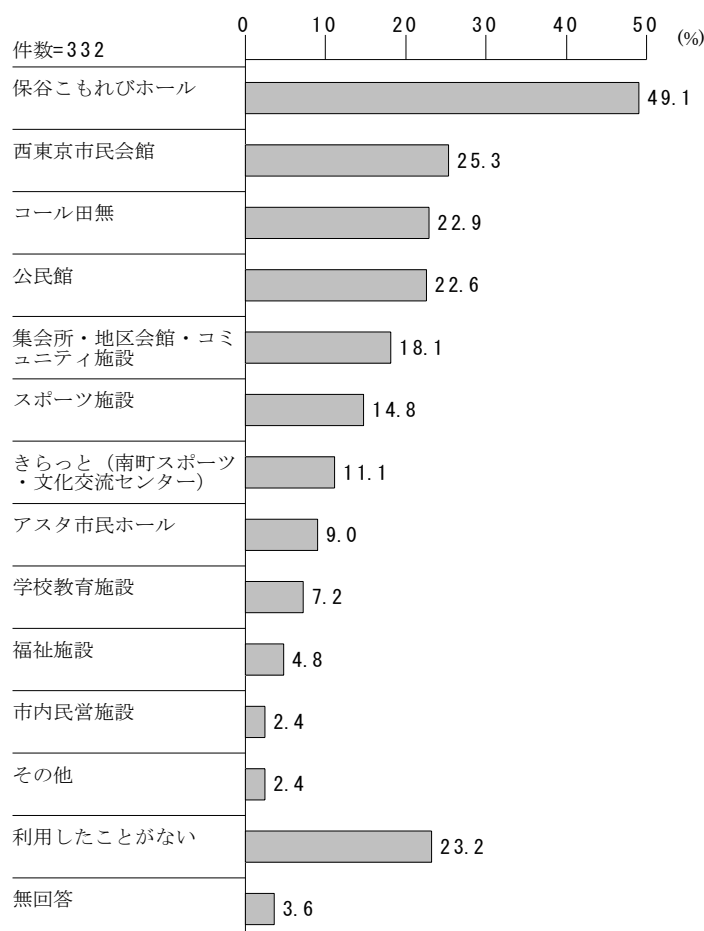
「その他」(1 件)は、「市外を拠点として活動している西東京市出身の芸術家の情報」となっている。

3 西東京市の文化施設について

(1) 文化芸術活動のために利用したことのある施設（問12）

「保谷こもれびホール」は市民の約半数が利用しているが、どの施設も「利用したことがない」とする人の割合も2割強を占めている。

問12. 文化芸術活動（鑑賞等も含む）を目的として利用したことがあるものはどれですか。（複数回答）



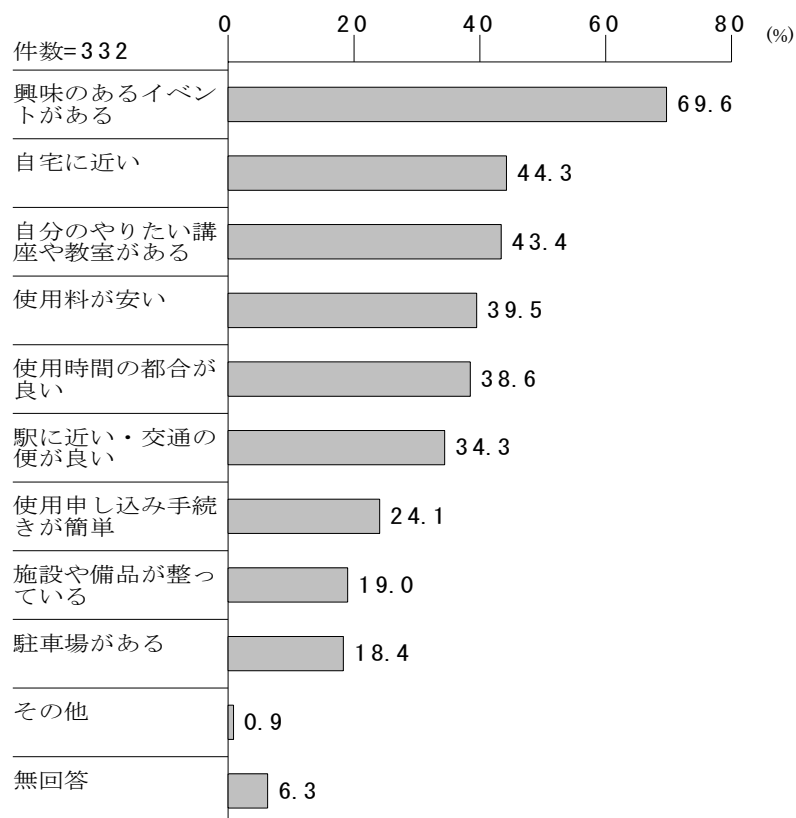
市民が利用したことのある市内の文化施設で最も利用が多かったものは、「保谷こもれびホール」で約半数（49.1%）の人が利用している。「西東京市民会館」（25.3%）がこれに続いているが、「利用したことがない」（23.2%）も3位となっており、2割強が市内の文化に関する公共施設を利用したことがないという結果になっている。

「市内民営施設」（8件）では「生協会館」（1件）などとなっている。また「その他」（8件）では、「図書館」（3件）、「ふれあいセンター」（2件）、「市役所会議室／多摩六都科学館」（各1件）などとなっている。

(2) 文化芸術活動のために施設を利用する時の理由や基準 (問 13)

文化芸術活動を目的として施設を利用する際の理由や基準は、「興味のあるイベント」であるかどうかを鍵を握っており、「自宅に近い」ことや「自分のやりたい講座や教室」があるかどうかも重要な判断材料となっている。

問 13. 文化芸術活動（鑑賞等も含む）を目的として施設を利用する時に、主にどのような理由や基準で選びますか。（複数回答）

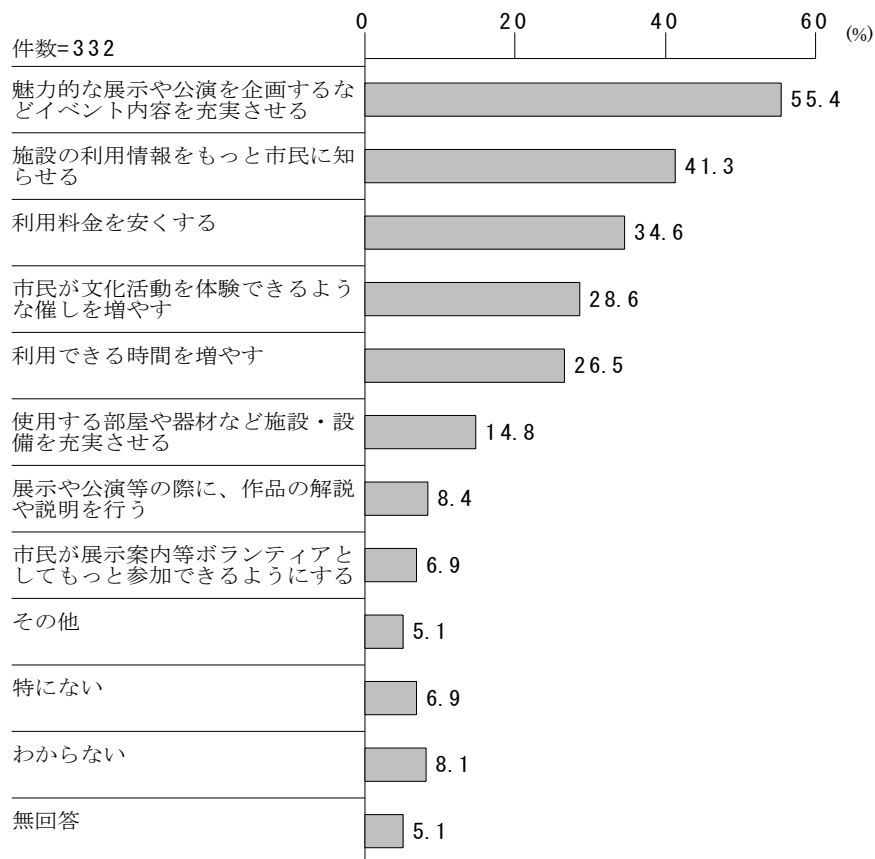


市民が文化施設を利用する際に、何を理由や基準として選ぶかをたずねたところ、「興味のあるイベントがある」（69.6%）が約7割を最も多く、「自宅に近い」（44.3%）、「自分のやりたい講座や教室がある」（43.4%）が続いている。

(3) 保谷こもればいホール・西東京市民会館・コール田無をより魅力的な施設にするために必要なこと
(問14)

保谷こもればいホール等をより魅力的な施設にするためには、「イベント内容の充実」が最も必要であり、「施設の利用情報の市民への周知」も重要である。

問14. こもればいホール・市民会館・コール田無をもっと魅力的な施設にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)



保谷こもればいホール・西東京市民会館・コール田無をより魅力的な施設にするためには、「イベント内容を充実させる」(55.4%) が必要との回答が過半数を占め、次いで「施設の利用情報をもっと市民に知らせる」(41.3%)、「利用料金を安くする」(34.6%) などとなっている。

また、その他(17件)では「保谷こもればいホールへの交通の便をよくする(バスの増便等)」(5件)、「市民会館は古くて暗いのでリニューアルする」(2件)、「ハデにする/スポーツ用具を置く/短時間利用のグループもあるのでこまめな時間の区切りをする/文化祭の立派な本は必要ないので時間・場所がわかるパンフレットにし、同時期にある福祉会館の文化祭のスケジュールも一緒にのせる/施設内の照明を明るくする/質の高いグローバルに活動している芸術家の出現/有名なアーティストを呼び、市と友好な関係を築く/高齢者が参加しやすくする/1ヶ月のスケジュールが一目でわかるようにしてほしい/保谷こもればいホールでフリーマーケットなどの販売会、営利目的もいいと思う」(各1件)などとなっている。

●クロス集計（問 1 4 魅力的な施設にするために必要なこと×年代別）

魅力的な施設にするために必要なことは、30 代以上では「イベント内容の充実」であるが、10 代・20 代は「施設の利用情報をもっと市民に知らせる」であり、10 代は「施設・設備の充実」や「利用料金を安くする」なども必要と感じている。

	調査数	魅力的な施設にするために必要なこと	施設・設備の充実	展示や公演等の説明を行う	市民が文化活動を体験できるようにする	利用料金を安くする	利用できる時間を増やす	施設の利用情報をもっと市民に知らせる	市民が展示案内など、ボランティアとして参加できるようにする	その他	特になし	わからない	無回答
調査数	332	184	49	28	95	115	88	137	23	17	23	27	17
	100.0	55.4	14.8	8.4	28.6	34.6	26.5	41.3	6.9	5.1	6.9	8.1	5.1
10代	6	3	5	1	4	5	2	5	1	1	0	0	0
	100.0	50.0	83.3	16.7	66.7	83.3	33.3	83.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
20代	32	20	3	4	8	16	15	23	3	3	0	2	0
	100.0	62.5	9.4	12.5	25.0	50.0	46.9	71.9	9.4	9.4	0.0	6.3	0.0
30代	50	28	10	1	12	16	17	23	4	1	1	7	0
	100.0	56.0	20.0	2.0	24.0	32.0	34.0	46.0	8.0	2.0	2.0	14.0	0.0
40代	58	38	8	4	18	23	19	22	3	1	2	5	1
	100.0	65.5	13.8	6.9	31.0	39.7	32.8	37.9	5.2	1.7	3.4	8.6	1.7
50代	52	34	7	3	17	20	17	23	3	6	4	1	0
	100.0	65.4	13.5	5.8	32.7	38.5	32.7	44.2	5.8	11.5	7.7	1.9	0.0
60代	58	31	10	6	22	20	14	23	8	3	6	2	5
	100.0	53.4	17.2	10.3	37.9	34.5	24.1	39.7	13.8	5.2	10.3	3.4	8.6
70代以上	74	30	6	9	14	15	4	18	1	2	10	10	9
	100.0	40.5	8.1	12.2	18.9	20.3	5.4	24.3	1.4	2.7	13.5	13.5	12.2
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

魅力的な施設にするために必要なことを年代別に見ると、30 代以上では 1 位が「イベント内容を充実させる」ことであるのに対し、10 代は「施設・設備を充実させる」「利用料金を安くする」「施設の利用情報をもっと市民に知らせる」となっており、20 代では「施設の利用情報をもっと市民に知らせる」となっている。

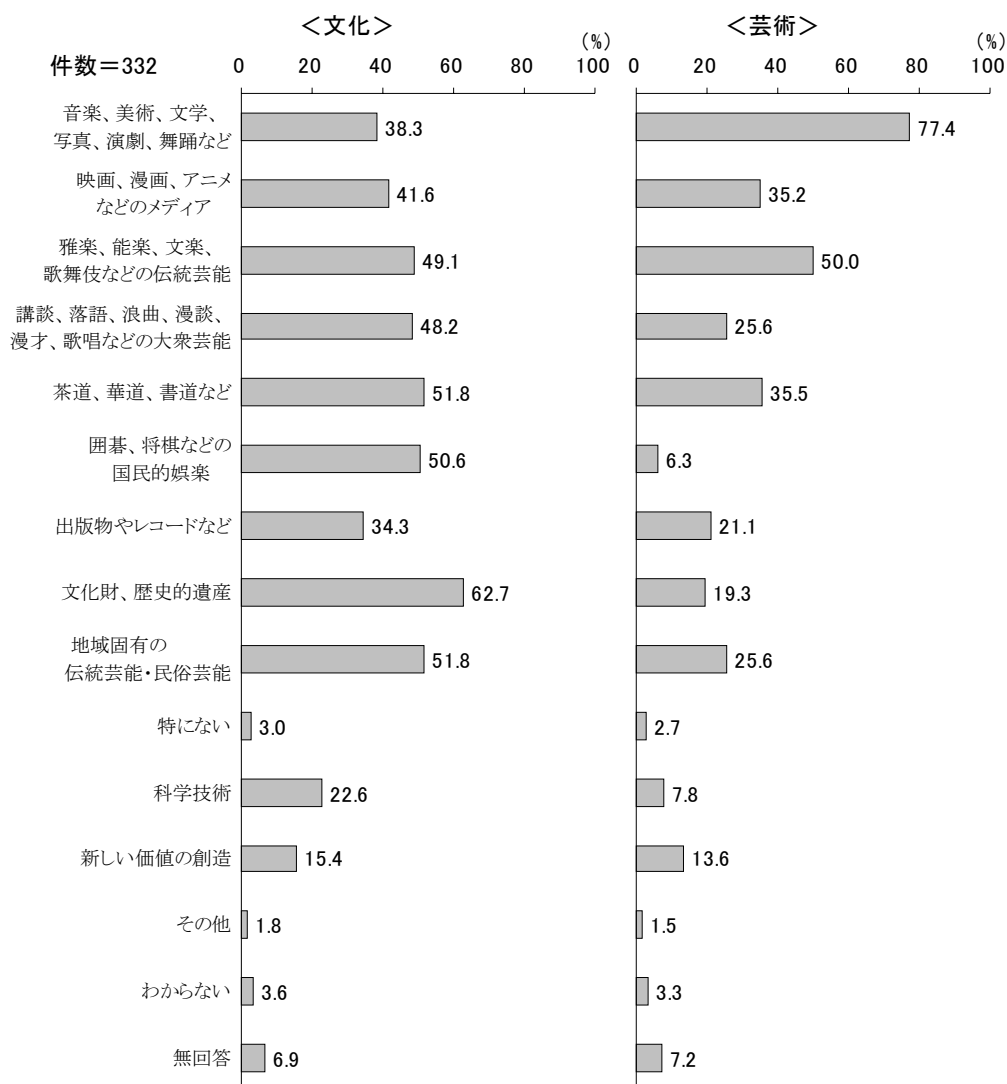
このことから、若い世代が「施設の利用情報を市民に知らせる」ことを他の世代よりも要望していることがわかる。

4 「文化・芸術」のイメージについて

(1) 「文化・芸術」という言葉のイメージ（問15）

“文化”のイメージは「文化財、歴史的遺産」、「芸術」のイメージは「音楽、美術、文学、写真、演劇、舞踊など」である。

問15. 「文化・芸術」という言葉に対して、それぞれどのようなイメージを持ちますか。（複数回答）



“文化”のイメージとして多かったものは、「文化財、歴史的遺産」が62.7%、次いで「茶道、華道、書道など」「地域固有の伝統芸能・民族芸能」（ともに51.8%）、「囲碁、将棋などの国民的娯楽」（50.6%）などとなっている。

一方“芸術”のイメージは、「音楽、美術、文学、写真、演劇、舞踊など」が77.4%と圧倒的に多く、「雅楽、能楽、文楽、歌舞伎などの伝統芸能」（50.0%）、「茶道、華道、書道など」（35.5%）と続いており、両者のイメージに違いがあることがわかる。

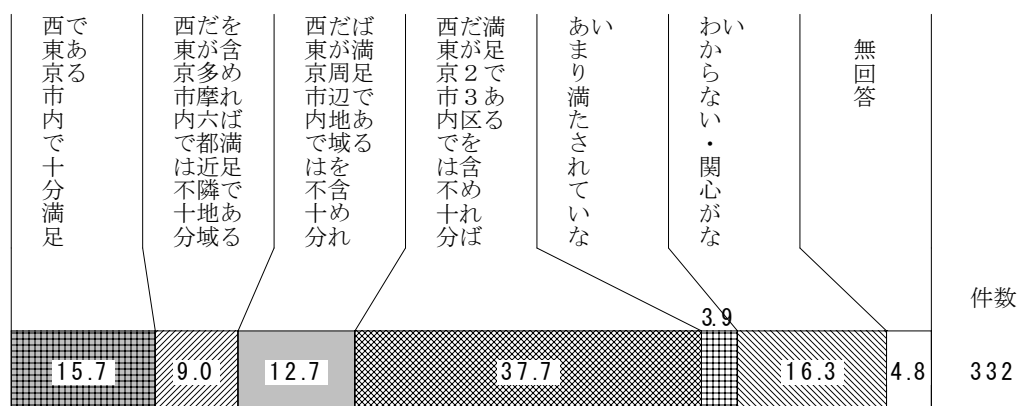
「その他」（“文化”が6件、“芸術”が5件）では、両者共通で「生活に必要なもの、密着したもの／スポーツ／文化が育たないと明日が描けない／人間の営みは全て文化、その中で特化された技術が芸術である」（各1件）などとなっている。

5 文化事業への参加について

(1) 文化事業への関心を満たす地域の範囲（問 16）

文化事業への関心を満たすことができる地域は「23 区」であり、「西東京市内で十分満足」とする割合は 2 割に満たない。

問 16. 文化事業への関心を満たすことができる地域は、どの範囲になりますか。（単数回答）

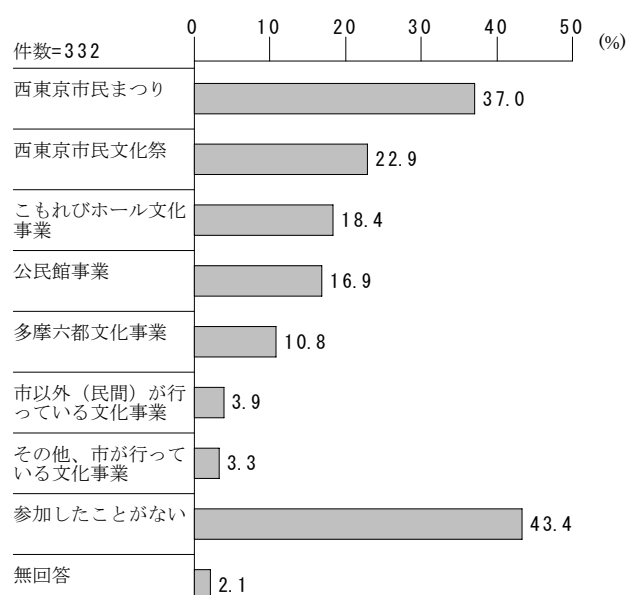


文化事業への関心を満たす範囲を見ると、「西東京市内では不十分だが 23 区を含めれば満足である」とする人の割合が 37.7%と最も多く、「わからない・関心がない」（16.3%）がこれに続いている。「西東京市内で十分満足である」とする人は、全体の 15.7%であった。

(2) 西東京市が実施した文化事業への参加状況（問 17）

文化事業への参加は、4 割を超える市民が「参加したことがない」状況で、参加している事業では「西東京市民まつり」が最も多い。

問 17. 西東京市では様々な文化事業を行っていますが、これまでに参加したものはありますか。（複数回答）



西東京市が実施している文化事業への参加状況は、「参加したことがない」人の割合が 43.4%と最も多く、参加したものの中では「西東京市民まつり」（37.0%）が最も多く、「西東京市民文化祭」（22.9%）がこれに次いでいる。

市が行っているその他の文化事業（11 件）では「外国語などの講習会／盆踊り」（各 1 件）、市以外の文化事業（13 件）では、「うたごえの集い／稽古事の発表会／西東京音楽祭／西東京書道展／絵画教室」（各 1 件）などとなっている。

●クロス集計（問１７参加したことがある文化事業×年代別）

市の文化事業への参加は、60代、70代以上の層が中心であり、10代から50代までの年代では、半数前後が「参加したことがない」状況である。

	調査数	西東京市民文化祭	西東京市民まつり	こもれびホール文化事業	多摩六都文化事業	公民館事業	その他、市が行っている文化事業	市以外（民間）が行っている文化事業	参加したことがない	無回答
調査数	332 100.0	76 22.9	123 37.0	61 18.4	36 10.8	56 16.9	11 3.3	13 3.9	144 43.4	7 2.1
10代	6 100.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	3 50.0	0 0.0
20代	32 100.0	1 3.1	7 21.9	3 9.4	3 9.4	1 3.1	1 3.1	0 0.0	21 65.6	0 0.0
30代	50 100.0	5 10.0	20 40.0	4 8.0	3 6.0	8 16.0	1 2.0	0 0.0	26 52.0	0 0.0
40代	58 100.0	13 22.4	20 34.5	8 13.8	11 19.0	7 12.1	0 0.0	3 5.2	26 44.8	2 3.4
50代	52 100.0	8 15.4	15 28.8	6 11.5	2 3.8	6 11.5	0 0.0	0 0.0	27 51.9	1 1.9
60代	58 100.0	21 36.2	31 53.4	17 29.3	10 17.2	14 24.1	5 8.6	6 10.3	18 31.0	0 0.0
70代以上	74 100.0	27 36.5	28 37.8	22 29.7	6 8.1	20 27.0	3 4.1	4 5.4	23 31.1	2 2.7
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

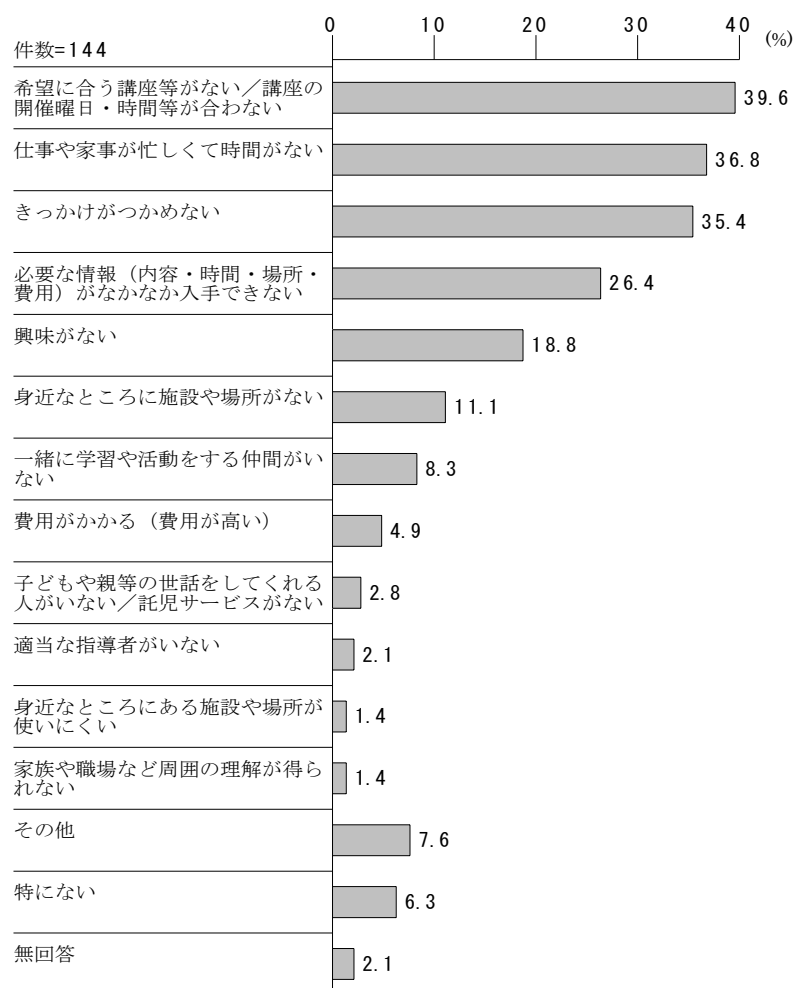
参加したことがある文化事業を年代別にみると、10代～50代までは「参加したことがない」とする割合が1位であるのに対し、60代以上では「西東京市民まつり」が1位となっている。さらに60代以上の世代では2位が「西東京市民文化祭」であり、市が実施する文化事業への参加は年代の高い層が中心となっていることがわかる。

(3) 参加したことがない理由（問18）

参加したことがない理由は、「自分の希望に合う講座や教室がない／講座や教室の開催曜日・時間が合わない」、「仕事や家事が忙しくて時間がない」、「きっかけがつかめない」ことである。

問18.（問17で「参加したことがない」という方）

参加したことがない理由は何ですか。（複数回答）



問17で「参加したことがない」と答えた方にその理由をたずねたところ、「自分の希望に合う講座や教室などが無い等」(39.6%)、「仕事や家事が忙しくて時間がない」(36.8%)、「きっかけがつかめない」(35.4%)が上位3位を占めている。

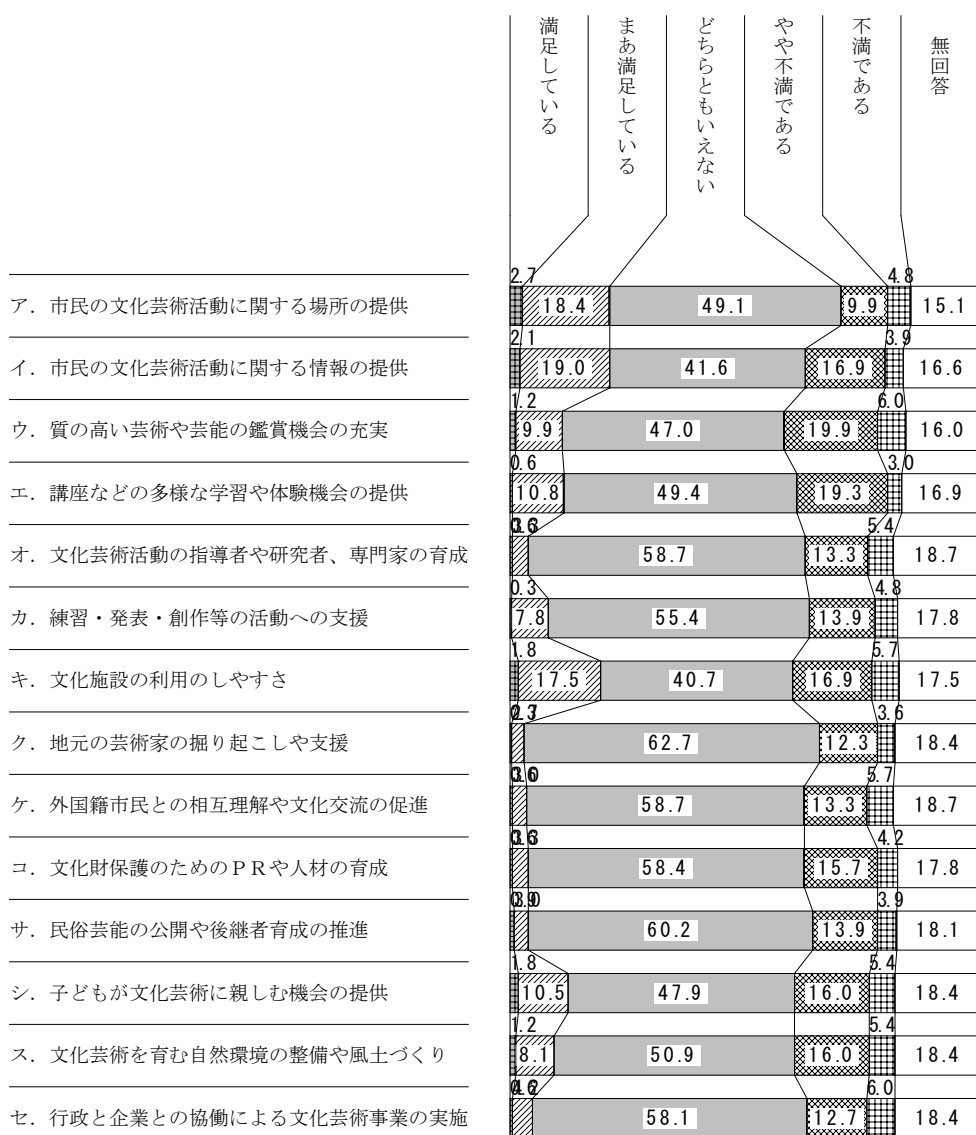
「その他」(11件)では、「引っ越したばかりでわからない」(2件)、「遠くても自分が良いと思うところへ行きたいので市内で探そうとは思わない／交通のアクセスがよくないと行けない／病気で外に出られない／足が悪いから／夜や休日しか参加できないのに特に夜の催し物がない／興味を引かれる物がない」(各1件)などとなっている。

6 西東京市の文化的な環境について

(1) 西東京市の文化的な環境の満足度（問 19）

文化的な環境については、全体に満足度は低い。その中で比較的満足度の高いものは「場所の提供」や「情報の提供」であり、不満に感じているものは、「質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実」である。

問 19. 西東京市の文化的な環境について、どの程度満足していますか。（単数回答）



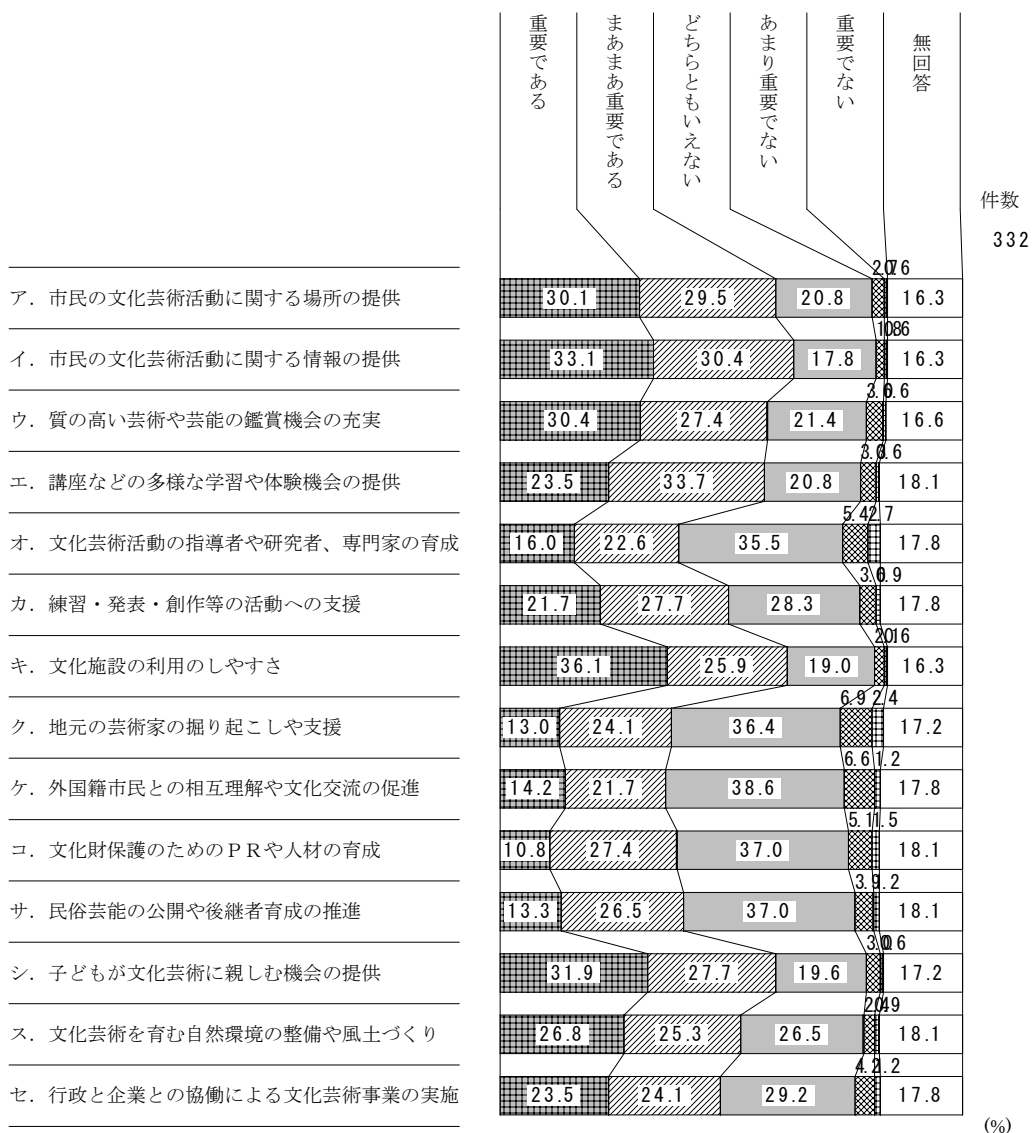
西東京市の文化的な環境について、満足度をたずねたところ、満足度の高かった項目（「満足している」と「まあ満足している」の合計）は、「市民の文化芸術活動に関する場所の提供」、「市民の文化芸術活動に関する情報の提供」（ともに 21.1%）、「文化施設の利用のしやすさ」（19.3%）などである。

一方、満足度の低かった項目（「不満である」と「やや不満である」の合計）は、「質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実」（25.6%）、「文化施設の利用のしやすさ」（22.6%）、「講座などの多様な学習や体験機会の提供」（22.3%）であった。

(2) 西東京市の文化的な環境の重要度 (問20)

市民は、文化的な環境は重要だと感じており、「情報の提供」、「施設の利用しやすさ」、「場所の提供」、「子どもが文化芸術に親しむ機会の提供」などは特に重要だと感じている。

問20. 西東京市の文化的な環境について、どの程度重要だと思いますか。(単数回答)



前問と同じ項目で西東京市の文化的な環境の重要度をたずねたところ、全体的に重要度は高く（「重要である」と「まあまあ重要である」の合計）、特に「市民の文化芸術活動に関する情報の提供」（63.5%）、「文化施設の利用のしやすさ」（61.0%）、「市民の文化芸術活動に関する場所の提供」「子どもが文化芸術に親しむ機会の提供」（ともに59.6%）などは6割前後を占めている。

一方、重要度の低さ（「重要でない」と「あまり重要でない」の合計）は、どの項目も10%に満たず、市民が文化的な環境の重要性を感じていると言える。

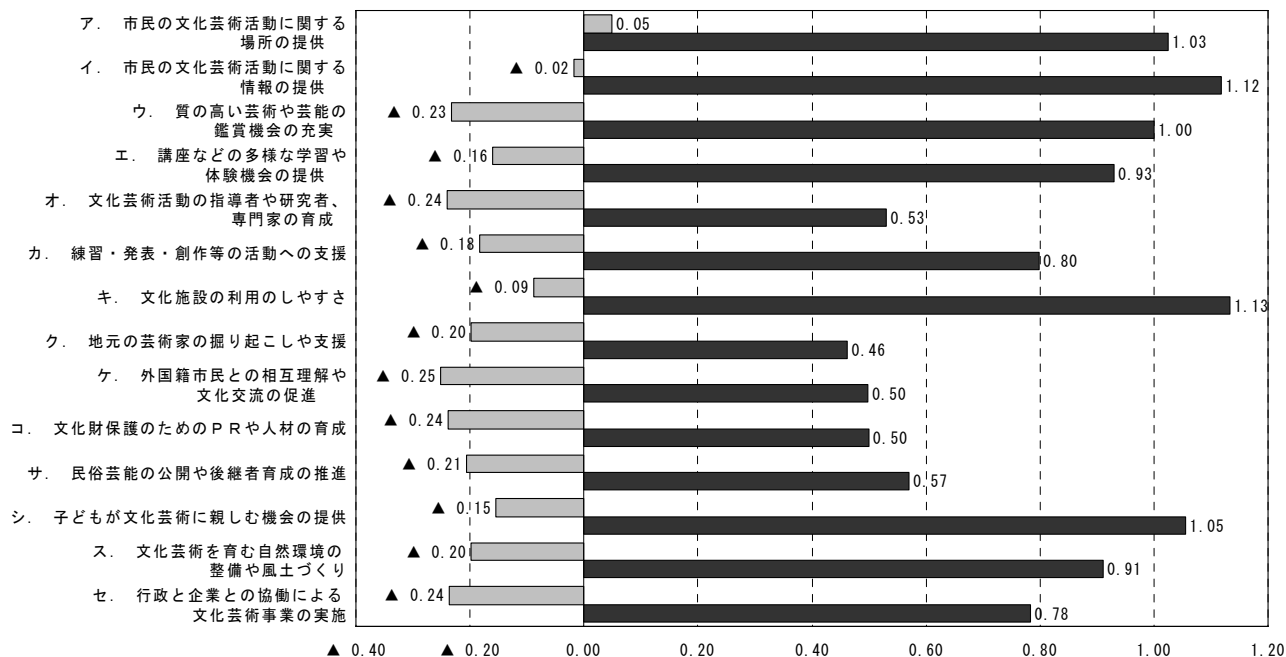
(3) 重要度と満足度の相関

西東京市の文化的な環境について、以下のように満足度と重要度の平均スコアを算出した。

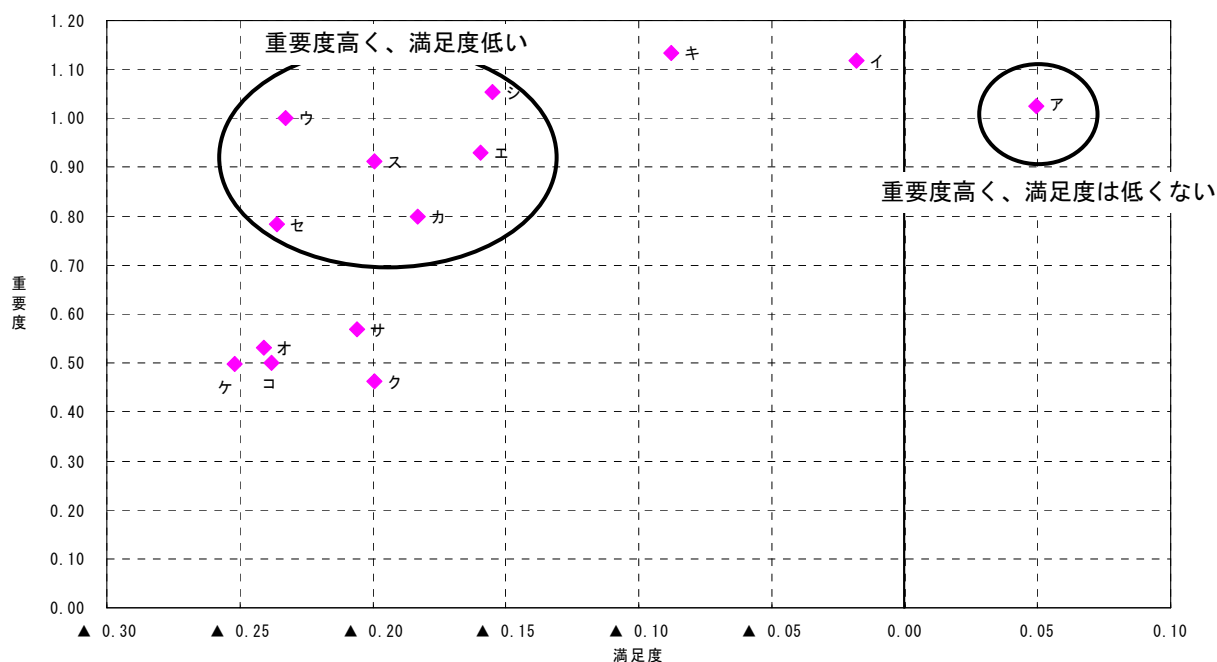
満足している／重要である：2点 まあ満足している／まあまあ重要である：1点
 どちらともいえない：0点 やや不満である／あまり重要でない：-1点
 不満である／重要でない：-2点

総じて満足度は低く、重要度は高い。満足度では「市民の文化芸術活動に関する場所の提供」のみがプラスであり、文化的な環境の整備に対して市民は満足しておらず、特に「質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実」や「文化芸術を育む自然環境の整備や風土づくり」、「行政と企業との協働による文化芸術事業の実施」などのニーズが高い。

満足度×重要度



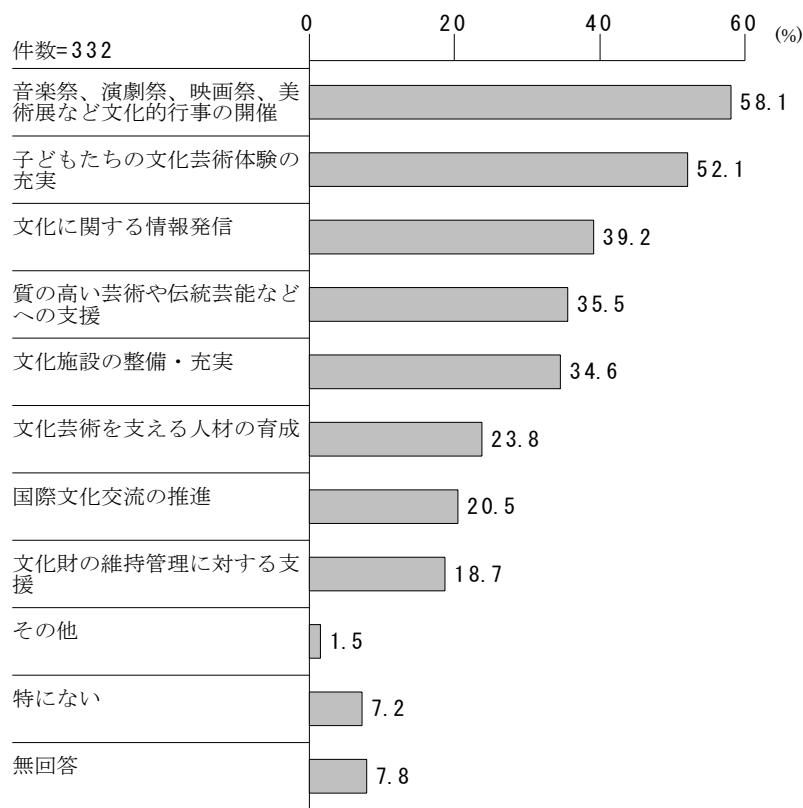
満足度×重要度散布図



(4) 地域での文化芸術活動を活発にするために力を入れるべきこと（問21）

地域での文化芸術活動を活発にするために、市は「音楽祭、演劇祭、映画祭、美術展などの文化的行事の開催」や「子どもたちの文化芸術体験の充実」に力を入れるべきだと市民は考えている。

問21. 地域での文化芸術活動をもっと活発にするために、西東京市がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（複数回答）



地域での文化芸術活動を活発にするために、西東京市が力を入れる必要があると思われることは、「音楽祭、演劇祭、映画祭、美術展などの文化的行事の開催」（58.1%）、「子どもたちの文化芸術体験の充実」（52.1%）が5割を超え、上位を占めている。

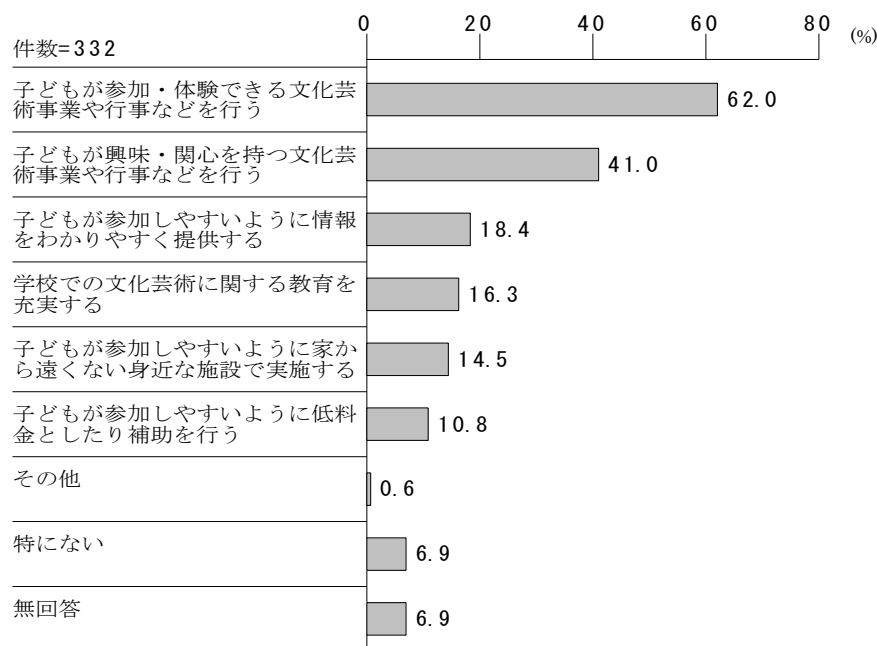
「その他」（5件）では、「文化的行事の周知方法を工夫する／スポーツ体育館の利用日と時間帯の拡大」（各1件）などとなっている。

7 西東京市の子どもの文化芸術活動について

(1) 子どもたちの文化芸術活動を活発にするために力を入れるべきこと（問22）

子どもの文化芸術活動を活発にするためには、「子どもが参加・体験できる文化芸術事業や行事などを行う」ことや「子どもが興味・関心を持つ文化芸術事業や行事などを行う」ことに力を入れるべきであると市民は考えている。

問22. 子どもたちの文化芸術活動をもっと活発にするために、西東京市がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（2つまで回答可）



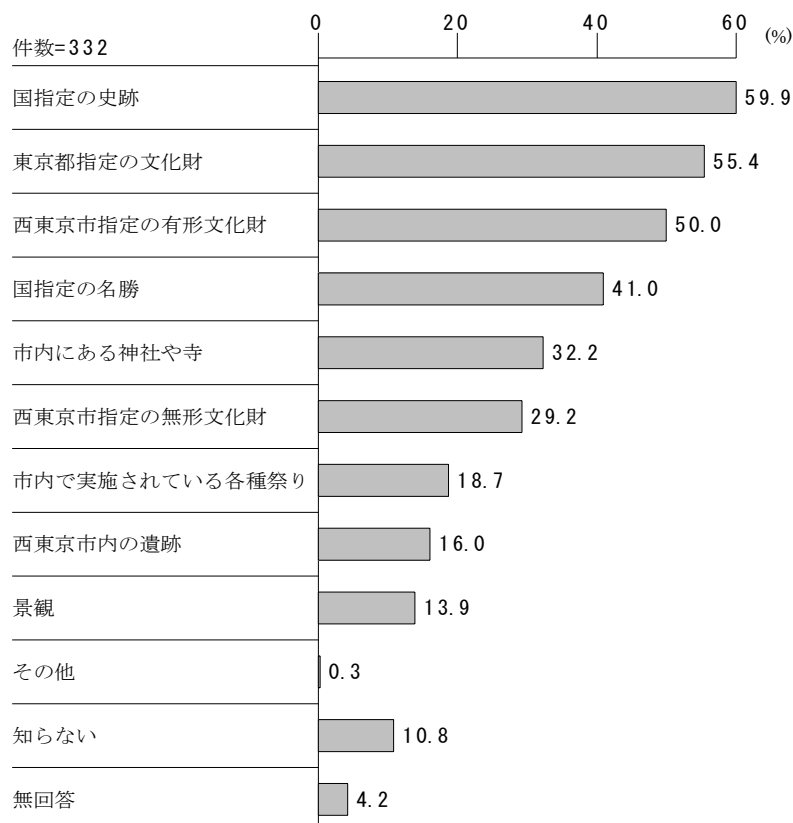
子どもたちの文化芸術活動を活発にするために、西東京市が力を入れる必要があると思われることは、「子どもが参加・体験できる文化芸術事業や行事などを行う」が62.0%と6割を占め圧倒的に多くなっており、「子どもが興味・関心を持つ文化芸術事業や行事などを行う」が41.0%でこれに続いている。

8 西東京市の文化財や伝統文化について

(1) 市内の文化財や伝統文化の認知状況（問23）

「国指定の史跡（玉川上水）」、「東京都指定の文化財（田無神社等）」、「西東京市指定の有形文化財（六角地蔵尊、庚申塔、地租改正絵図）」は、半数以上の市民に知られている。

問23. 西東京市内にある文化財や伝統文化について、ご存知のものはありますか。
（複数回答）



西東京市内にある文化財や伝統文化についての市民の認知状況を見ると、「国指定の史跡（玉川上水）」（59.9%）、「東京都指定の文化財（田無神社本殿、拝殿）」（55.4%）、「西東京市指定の有形文化財（六角地蔵尊、庚申塔、地租改正絵図）」（50.0%）が上位3位を占め、これらはいずれも5割を超えている。

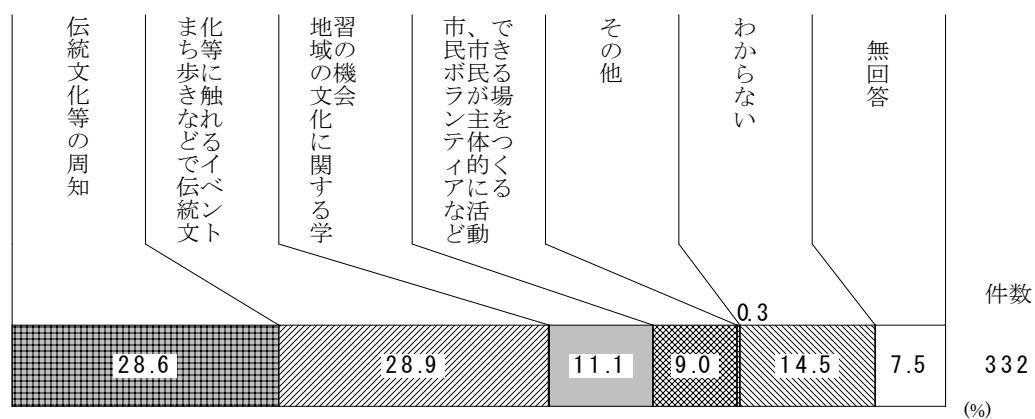
また、どの文化財や伝統文化も「知らない」とする割合は10.6%と1割であった。

「その他」（1件）は「名前は知っているが、これが文化財だとは知らない」である。

(2) 西東京市の伝統文化を継承するために期待すること（問24）

伝統文化の継承のために「まち歩きなどで伝統文化等に触れるイベント」の開催や「伝統文化等の周知」などを市民は期待している。

問24. 西東京市の伝統文化を継承していくためには、どのようなことを期待しますか。
(単数回答)



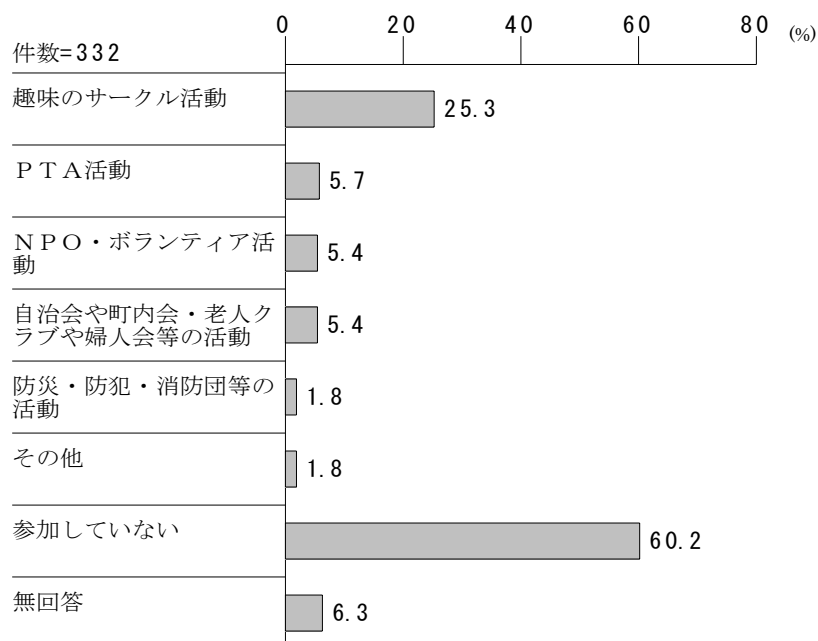
西東京市の伝統文化を継承するために期待することは、「まち歩きなどで伝統文化等に触れるイベント」（28.9%）、「伝統文化等の周知」（28.6%）などが上位を占めている。

9 西東京市の地域活動への参加について

(1) 地域活動への参加状況（問25）

地域活動へ参加している人の割合は全体の4割で、活動内容は「趣味のサークル活動」となっている。

問25. あなたは現在、次に挙げる地域活動に参加していますか。（複数回答）



地域活動への参加状況を見ると、「参加していない」とする割合が6割（60.2%）を越えており、地域活動への参加が芳しくないことがわかる。

参加している活動で最も多いものは、「趣味のサークル活動」（25.3%）で、それ以外の割合は1割以下となっている。

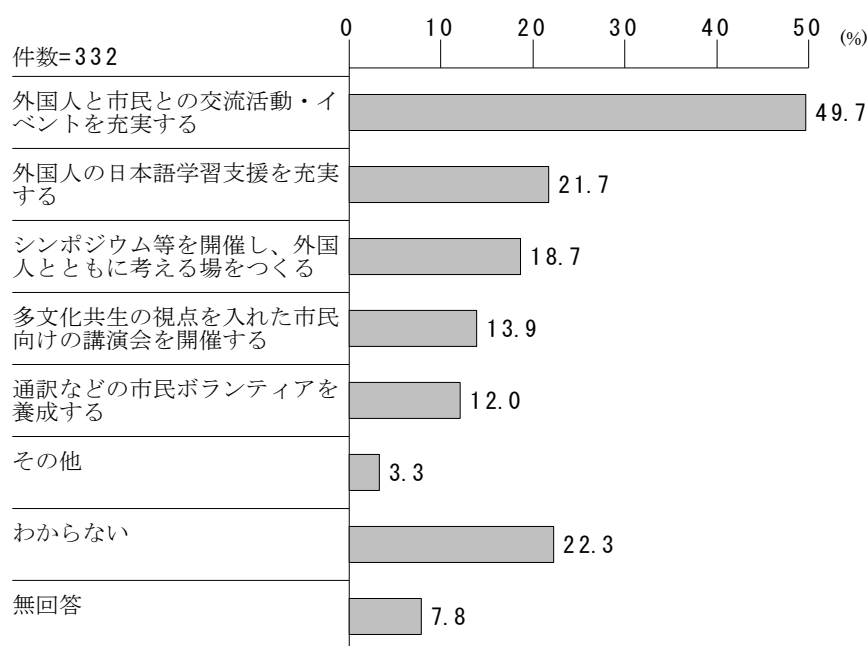
「その他」（6件）では、「演劇・コスプレ／子どもの野球チームを通じて、地域のお祭や市民運動会等へ参加／個人のレッスン／泉小学校通学区域の“いきいき泉”／ゴミゼロ運動」（各1件）などとなっている。

10 外国人との交流や大学等との連携について

(1) 外国人と市民との交流を促進するために必要なこと（問26）

外国人と市民との交流を促進するために、「外国人と市民との交流活動・イベントを充実する」ことや「外国人の日本語学習支援を充実する」ことが必要であると市民は感じている。

問26. 外国人と市民の交流を促進するために、どのようなことが必要だと思いますか。
(2つまで回答可)

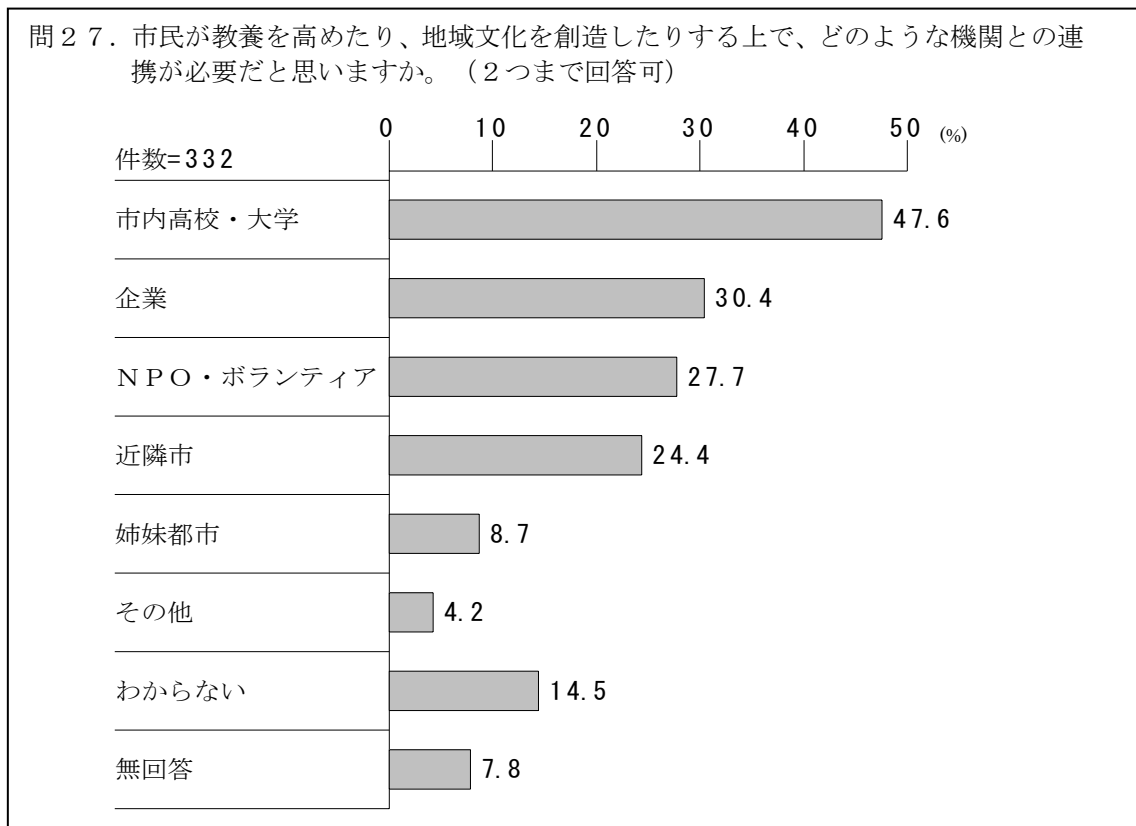


外国人と市民との交流を促進するために必要なこととしては、「外国人と市民との交流活動・イベントを充実する」が49.7%と最も多く、「わからない」(22.3%)、「外国人の日本語学習支援を充実する」(21.7%)と続いている。

「その他」(11件)では、「必要ない」(2件)、「スポーツ等の大会の参加をよびかける／日本の祭などに参加してもらう／外国人扱いせず一市民として参加できるようなイベントの実施／外国人が必要とすることを聞く、知らせる／日本人の英会話教室／外国人が日本語を習得しようとする意識の高さ／日本語の問題は問題外／普通に接すればよい、特別は危険／そこまで外国人がいるとは思わない」(各1件)などとなっている。

(2) 市民が教養を高めたり、地域文化を創造する上で必要な連携機関（問27）

市民が教養を高めたり、地域文化を創造する上で必要な連携機関は、「市内高校・大学」や「企業」などだと考えられている。



市民が教養を高めたり、地域文化を創造したりする上で、どのような機関との連携が必要かについては、「市内高校・大学」が47.6%と最も多く、「企業」（30.4%）、「NPO・ボランティア」（27.7%）と続いている。

「その他」（14件）では、「小中学校（学校での国際交流を含む）」（4件）、「国・東京都」（4件）、「文化人、芸術に携わる人、芸術家」（3件）などとなっている。

「地域に根ざした文化芸術活動や伝統文化の継承」あるいは「西東京市独自の文化の育成」のために必要な取組みや文化振興に関する意見（問28）には、100人の方から回答が得られた。

主な意見を、以下に整理した。

＜啓発・広報・情報提供・PR等に関するもの＞（29件）

- ・市広報紙で西東京市の文化遺産について説明する。
- ・若者にも興味を持ってもらえるようなgraphicで伝える。
- ・お金はかかってしまうかもしれないが…市の取組等を冊子にして数年に一度送付するとか、小・中・高のサブ教材にするとか、周知をすることが大事だと思う。
- ・転入してきた方には小冊子で読んで、足をはこんでみたくなる様な作り物が必要かもしれません。この町で育った方ならなおさら知らなくてはならない事が多いと思います。ですから子供の頃から知っていて、他の地域に行った時に人に話して聞かせる様になる努力が必要だと思います。
- ・市に関する情報は、毎月届く市の広報紙でしか知ることが出来ないなので、ダイレクトメールなどを利用して、もっと市民に知ってもらう取組みが必要だと思います。
- ・芸術活動をもっとPRした方が良く思います。
- ・夏祭りなど情報が入ってこない。市民が参加・見学・楽しむ為にもチラシ等で小さい事業も宣伝してほしい。
- ・西東京市の名勝史跡、文化財（有形、無形含む）等の情報のピーアール等。
- ・田無駅にもっと積極的にイベント情報を掲載する。
- ・情報の手段として花バスに情報コーナー（伝言板みたいなもの）をつくったりしたらよいと思います。
- ・西東京市の活動を国内にPRする工夫をおこない“住んでみたい市”と思っていただける様な活動をして頂きたいです。
- ・伝統文化等の周知を徹底。くり返し、くり返し周知する。継承者も他人に多く知ってもらう事がモチベーションにつながっていくと思う。
- ・駅やバス停に史跡や文化財などの表示。
- ・小さいうち（小学校など）文化祭、運動会など人が多く集まる場所での披露やアピールなどが必要。
- ・市民一人一人に文化芸術活動や伝統文化についてよく知ってもらい、今後の活動に活かしてほしい。
- ・文化芸術活動・伝統文化を市民だけでなく、もっと多くの人に知ってもらう取組みが必要だと思います。
- ・若い人は、市民会館とかそういうところにはあまり行かないから、ケータイとかを使って情報を発信していくことが大切だと思います。
- ・細やかな情報提供
- ・市からの情報が不足です。
- ・皆が利用する駅等、人が日々沢山集まる場所に展示・情報掲示等を、ひと目でもわかりやすいようにする等、人の目に触れる機会を増やすと良いのではないのでしょうか？
- ・市の中に掲示板をもっと増やすべきです。普段は市民ホールなどに行かないため、情報が入ってきません。「道」にポスターを。
- ・市の独自の文化と言われても、私は私独自で生活しているだけで「全体」を意識したことがありません。市の雑誌のようなものを、もっと充実させ、「全体」を教えてください。
- ・文化芸術活動や伝統文化についての情報を市民はあまり把握していないので、もっと確実に市民に情報がいきとどく様にする必要があると思います。今の時点ではそのもの自体に興味のある人しか参加していないと思うので。
- ・西東京市の文化は何なのかすら、知らない為、マスコットのなものをつくってアピールが必要。
- ・市のホームページで、いろいろな情報が見られるとうれしいです。

ほか4件

＜イベント・行事・講座・取組内容等に関するもの＞(21 件)

- ・各種“祭”はとても良いと思うので、続けて欲しいし、もっと力を入れても良いのでは？
- ・これなら行ってみたいと思うような活動内容のイベント等と参加しやすい日程と時間。(平日、日中という時点で参加不可能)
- ・武蔵野市では吉祥寺で、ジャズやアニメ等、積極的にイベントを開催し、地方からも訪れて成功を収めている。特質のある、絞り込んで、専門的に有名なゲストを呼んで魅力あるイベントに仕上げていく事で、成功していると思う。という様に、〇〇なら西東京という物をやって、盛り上げて欲しいと思います。
- ・文化というのは、個人的に楽しんだり活動したりする面がある為、なかなか市の活動に溶け込めないのが現状だと思います。もっと気軽に、みんなが参加したり鑑賞したりできるような身近な感じになればいいと思います。その為には、もっと興味がわいたり魅力的なイベントなどを充実させて、みんなが楽しめるような環境にしていくことが大切だと思います。
- ・有形文化財などは、スタンプラリーやウォークラリーなど開催して頂くと良いと思います。
- ・映画鑑賞の日、演劇の日、音楽の日等日時あるいは期間を決めて芸術を楽しめる催しを行う。
- ・「市民」を称する左翼活動家が主体となるような、イベントは絶対にやめていただきたい。
- ・文化祭がとても素晴らしい。(全体的)実行委員の方の御苦労、協力が素晴らしいです。
- ・伝統文化継承に関しては、市内のお祭りや駅前などで披露する機会を増やして関心を集め、メンバーを集める活動を活発に進める必要があると思う。後は市内小学生の運動会で、例えば3年生で踊る～等、全員が経験出来るしくみを作るとか…。
- ・地元の特産物や農産物などを利用した取組みができるといいと思います。
- ・発表する場のない若者に機会を与えることが、大切ではないかと思います。
- ・地元の講師による、地域住民のための講座や学習の機会を増やす。
- ・子供たちだけがもっと参加できたり、考えたりできる取組みだと思います。
- ・近隣で、質の高い、文化・芸術を楽しめることを強く望んでやみません。
- ・伝統文化にふれる、目にするチャンスをもっと増やすことが大切だと思います。
- ・バレエ、オーケストラ、雅楽などを子供だけで行ける施設で(児童館、公民館)公演して欲しいです。できればおこづかいで鑑賞できるような代金で…。
- ・子供達が積極的に参加できる様なサークル活動や講演会を多く行い例えば“発表会”のような形でホール等を利用してその成果を市民に無料で披露する。(高齢者を招待する)
- ・仕事を持つ人でも参加あるいは鑑賞できる時間で行える活動があると良い。
- ・市民がやすく利用できる講座・サークルをもっといろいろ増やして下さい。
- ・外国人と市民との交流推進という名目で、外国籍の人に媚を売るようなイベントや勉強会・交流会を開くようなまねは、やめていただきたい。
- ・子供達を対象としたイベントが必要だと考えます。

＜施設等に関するもの＞(12 件)

- ・保谷こもれびホールのピアノ(スタインウェイ)が、いつまでたっても音が硬く割れている。もっと弾き込んでほしい。若い演奏家や、学生に弾くチャンスを沢山与え、ピアノ本体も育ててほしい。今のままでは宝の持ち腐れである。
- ・文理台公園の有効活用に取り組んでほしい。
- ・コーラスサークルに参加していますが、公民館等、ピアノのある練習場所が確保しづらくなっています。昔は小学校の空き教室で活動していましたが、校長が替わったら「地域に開かれた学校」というスローガンがなくなったようで、借りられなくなりました。公立学校の施設なのだから地域に開放しても良いのでは？
- ・サークル活動として行っているが、場所の確保が困難です。公民館の場所とりの様に、1ヵ月分とれると良いと、常に思っています。1ヵ月前のその日にtelする事は、1ヵ月の予定がたてづらく、とても不便を感じています。
- ・市民同士の団体とかグループはあるので市の施設の利用手続方法を簡単に出来ないか。場所取りが出来ない。
- ・まず必要な事は市民が地域センターなどをもっと身近に生活の中で活用する事だと思います。それにはもっとちゃんとした指導者をおいて開かれた教室を増やす事だと思います。
- ・図書館施設の充実。学習室の整備。

- ・青森市のように人が集まるビルに、大スーパーマーケット図書館市民会館が所ごとにあるような形が今求められると思います。具体的には通勤途中にも寄れる駅中か駅前に、劇場、集会場（公民館）プールやスーパーマーケット、保育園（働くお母さんには最高ではないでしょうか）老人ホーム、図書館、郵便局などが1つのビルにある形が実現すれば最高で文化育成や市民交流の場になると思います。開いている時間帯も9:00～5:00ではなく働きに都心に行く人が多い田無市ですので朝早くから夜おそくまで開いてみるというのではないのでしょうか。つまり、場所もたまたま空いていたから建てる、ではなく、時間帯も通常そこで働く側が都合がいいからでなく、市民の立場で文化活動の場や時をおもいきって決めてほしいです。
- ・家の近く（徒歩でいける）。0才児がいて一緒に参加できる。
- ・私の父が古美術商をしています。骨董市を全国名所で行っています。骨董品を通して、文化・伝統を知ってもらいたいと心から思っています。古美術商ということで、販売もしていますが、営利目的だと言って、施設（保谷こもれびホール）を貸してもらえませんでした。フリーマーケットや、ハンドメイドなどでも販売を通して町の人と接することもとても重要だと思います。営利目的だからとダメと言わないでもっと色々なイベントなどをさせてください。お願いします。
- ・芝久保地区から保谷こもれびホールやひばりヶ丘に行くのにとっても不便です。
- ・車や自転車をもっていないので（乗れないので）交通の便がいい方がよい。

<交流・連携等に関するもの>（7件）

- ・外国人にメリットのあるイベントを用意し、活動を活性化していく。→日本文化について興味がある人が多い。仕事より、プライベートを大事にする人が多い。
- ・市単位で考え活動することも重要だが、武蔵野という単位で近隣地域と連携し地域全体で伝統文化、自然を守りながら新しい文化の芽を育むことが効率的なこともあるかもしれない。「独自」のものは往々にして行政の自己満足に過ぎぬことがあり、住民不在にならぬよう時間をかけて検討すべき。多くの住民が23区へ働きに行くベッドタウンとしてのポジションであれば、23区や近隣地域とのダブルリを無くすことが税金の有効活用であろう。
- ・祭りや講演会などのイベント時に積極的に企業とタイアップし、相互に協力して、より多くの人に発信していくことが重要だと思います。
- ・社会を担っていく子ども達と地域の人に関わりを持てると良いと思います。実際の活動をよく知らないのですが、学校と連携していくと良いのではないのでしょうか。
- ・文化・芸術・伝統について知識を持つ人と知らない人（子供・若者・親）との対話を広げていくことで、自然と根づくものだと思います。
- ・西東京書道連盟の書道展を1月にコール田無で行っていますが、出品者がほとんど先生方が多く、一般の人達からの参加はありません。又学生の書道展も一緒に開催するとっと見学者が増えると思いますが、これは学校への働きかけが必要なので市と協力してやらなければ不可能かと思います。
- ・市と自治体やボランティアなど「自分たちが守っている伝統文化」を大切にしている人々が手と手を取り合うことが大切だと思います。市が思っている“守りたいモノ”と私達が思っている“守りたいモノ”に違いがあると思いますので、共通・協力して共生できるように歩み合うようなイベントや話し合いができれば良いのではないのでしょうか。

<予算・財政等に関するもの>（6件）

- ・多数の人が利用したことのない施設を市が財政的に負担し、管理、運営する必要があるのか。余裕があれば、税を安くしてもらいたい。
- ・お金をあまりかけずに文化の保護や維持をしてもらいたい。市の財政はつらいのだから。
- ・財政が厳しい中で金のかからない施策を考えて欲しい。
- ・文化芸術活動に税金を使うのは反対だ。もっとほかのやる事が有るだろう。（経費節減）
- ・不況下の現在は、市民サービスでの文化芸術面への支出は中々市民の理解が得られにくいと思います。できるだけお金のかからないやり方で、様々な世代に参加チャンスがある様な“在り方”を考えていただければと思います。
- ・当市の財政事情（700百億円以上の累積赤字？）を勘案すれば、より慎重な取り組みが要請されます。一度予算をつければ、減額することも廃止することも難しく、膨張するのが常とも言われます。それよりも、公立小・中学校の勉強環境の整備等のほかに優先順位の高い事案があると思います。

＜利用料金等に関するもの＞（6 件）

- ・学生割引を積極的に取り入れ、自由な時間を多く持つ若い学生に文化芸術活動に触れる習慣をつけさせる。
- ・お金は高くても見たいものなら見ると思うので、入場料などは安くせずに、常識範囲内でいいと思う。
- ・文化の育成は必要ですが、参加すると費用がかかるのが大変です。
- ・貴重な文化財を市民に手頃な料金で提供して下さい。
- ・例えば保谷こもれびホールで開催される映画は¥1,000。他の自治体では¥500という話も聞きました。¥1,000であればシルバー・レディスデーではどこのシネコンでも普通に観られます。同じ料金であれば施設の充実した映画館で鑑賞したい、もう少しお手頃料金で鑑賞できれば、と思います。
- ・何事に参加するにもお金が高い。使用料等。

＜教育等に関するもの＞（6 件）

- ・市内の文化遺産等について特に子供達に教えて西東京市に郷土意識を植え付けること。将来にとって極めて重要なこと。
- ・小学校、中学校で機会を設ける。
- ・無形文化財などは小学校などで、披露していただく機会があれば良いと思います。
- ・まずは子供たちにいろいろな芸術文化に触れさせることが重要だと思います。気軽に身近な環境でたくさんの芸術、文化に触れることで、その中から興味を持ったことへ自発的に関わっていくのだと思います。
- ・市立小学校・中学校において、市の文化芸術活動について総合学習として教育の時間を設けても良いと思います。
- ・子供たちに美術や伝統文化を教える場を増やしていくことが、大切ではないかと思います。

＜文化・芸術に対する考え方、市の方針等に関するもの＞（6 件）

- ・特に地域に根ざしたものにとられる必要はないのではないか？楽しければそれでよい。便利、価格が重要。
- ・地域に根ざした文化・芸術、また伝統文化の継承と言われても、率直に申し上げ、市が予算をつけ独自の取り組みを図るにあたいするかといえば、その必要性に疑問があります。地域に根ざした文化・芸術あるいは伝統文化とは何か、具体的に明確化すること。市としてどの程度の予算を考えているか。この二点を前提として知りたい。アンケートで種々列挙されている文化・芸術活動の多くは、個人的な趣味的なものが中心で、これらについては公が積極的に取り組む必要性があるのか疑問です。
- ・西東京市（田無の文化？をよく知る）とは！！田無の特徴を見極める。どこが優れ、どこが遅れているか！！よく市で考える。どんな目標を掲げるのか。どの程度が文化的市なのか！！当面どの面を上げて行くのか、目標を設定する。それに向って長期的努力をする。→良い、文化的市になるようお互いに頑張りましょう。
- ・文化も大事なかもしれないが、他にもっと大事な事があるような気がする。
- ・気軽かつ便利かつ仲間づくりがキーワードになると思います。
- ・文化・芸術・伝統文化は難しく（表現的）に取っつきにくく思われます。もっと身近に感じられれば自然に育成されると思います。

＜意識・きっかけ等に関するもの＞（5 件）

- ・まず大人自身（50代～）の方が市の文化・芸術活動をよく知るべきだと思います。私50代で、知らないで進行していることがあるように思います。
- ・時間はたっぷりあるのですが、何かに参加するきっかけがつかめずにいます。このアンケートをきっかけに西東京市が行なっている活動に目を向けてみようと思いました。
- ・あまり良くわからない（文化芸術）事でしたが、これからは、少しずつ色々なことをまず目で見て、行こうと思いました。
- ・地元への愛着が大事だと思います。
- ・市民の方々が文化芸術とは何かをしっかりと理解している事が大切だと思う。突然、アンケートをと

られても、市がそれについてどのような活動をしているのかわからないので、回答しにくい。

＜組織、コミュニティ等に関するもの＞（4件）

- ・練馬区のファミリークラブの例の様に、市民が誰でも参加できる（会費をとっても）クラブを作り、映画や舞台・美術展等、幅広く格安に参加できる組織が欲しい。
- ・ふんだんに人と人との交流が作られるような雰囲気のある街にしていきたいと思います。閉塞感の強い今は、皆が生きにくいと思っています。文化芸術の面からこの雰囲気を変える活動は大切です。私は自分が子育てしていた頃の田無の空気を懐かしく思い出します。小・中学校の先生方が、元気で、街の中で子ども達を、助け合って育てるよう働きかけていました。学校選択制度は、そういう動きPTA活動や地域でのまとまりを、作る動きをこわしてしまったのではと、考えています。それに個人情報保護法も、人のつながりをこわす方向にも、働いています。人は、つながるのが楽しいと思えるよう、文化・芸術を大切にしていきたいです。その先に平和をめざして。
- ・近隣の人たちや、地域の人たちがもっと仲良くできるような公園施設、イベントなどを充実させる。そうしたら、仲良くなった人たちがお互い誘い合って、地域の催し事にも参加するようになると思う。
- ・以前の方が地域密着で、親しみ易さがあった。広域、高度で近づきにくくならないように。

＜伝統文化・文化継承に関するもの＞（3件）

- ・昔から続いているお祭や盆踊りが、どんどん衰退している。参加する人や、実行する人が少なくなっていて、おみこしを出さないでいるところもある。バザーや屋台を出して、物を売り買いするような祭事は増えているが、純粋に祭を大切に作る気持ちが薄らいでいる気がする。文化を受け継いで、これからも続いて行く事は大切だと思う。地域に、西東京市の文化振興がずっと続けて行かれるよう支援していただきたい。
- ・新しいものの前に、伝統的なもの、継承し守って後世に伝えていくものの対策を。
- ・少子高齢化で年々子供が少なくなっていますが、それでも子供達に伝統文化を見せ、触れてもらうことが発展につながるのかなと思います。現在は多様化の時代でそれ等がむずかしくなっているとは思いますが。

＜人材活用等に関するもの＞（2件）

- ・私は、大学でアートを専攻してきたので、機会があれば、ぜひ、ボランティアとしてお手伝いしたいです。
- ・高齢者の方々を上手く活用する。ちょっと言葉は悪いが、西東京市に限らず全国どこでも高齢者だらけである。高齢でも皆、まだまだ動けるし、知識も豊富だ。市内の駅近（できれば駅中）に、「立ち寄り所」を設け、その案内役として高齢者が文化や、市独自の歩みの説明等を行う。「シルバー人材センター」も良いが、名前が良くない。もうちょっとプライドのあるネーミングはないの？私だったら登録しないです。

＜スポーツに関するもの＞（2件）

- ・スポーツ施設が少なすぎる。予約がとれない。
- ・スポーツに関する場が少なすぎる。機材不十分。スポーツの時間、日時を増やすこと。

＜その他＞（5件）

- ・正直な話、文化芸術活動も大事だと思いますが西東京市にはもっと改善してほしい所があると思います。
- ・文化・芸術も大切ですが、市内の自然って、どんどん減っています。また、ひばりヶ丘駅北口は、風俗の文化がさかんな様子ですが、雰囲気も悪く、こんなんでいいんですかね？
- ・一部地域ではこの数年大型マンションが集中的に建築され住環境が大きく変わっている。市が目指す地元の文化継承や独自の文化育成も課題の一つとして認識するも、人や建物だけでなくやすらぎの少ない街にならぬような都市計画も重要で、広義の文化という観点から、武蔵野の緑の保全＝緑の公園計画も活動の一つに加えていただきたい。
- ・「地域に根ざした文化芸術活動や伝統文化の継承」「西東京市独自の文化」→具体的にご提案いただけると考え易いのではないかと思います。
- ・身近な行事に参加して興味をそれぞれが持つこと。最初の第1歩が気軽に出せるといいですね。

Ⅲ. アンケート調査表

西東京市文化芸術に関するアンケート調査

1 あなたご自身についておうかがいします。

問1 性別についておたずねします。（あてはまるものに○印）

1. 男 性

2. 女 性

問2 年齢についておたずねします。（あてはまるものに○印）

1. 10代

5. 50代

2. 20代

6. 60代

3. 30代

7. 70代以上

4. 40代

問3 職業についておたずねします。（あてはまるもの1つに○印）

1. 会社員・公務員など

4. 学生

2. 自営業・自由業

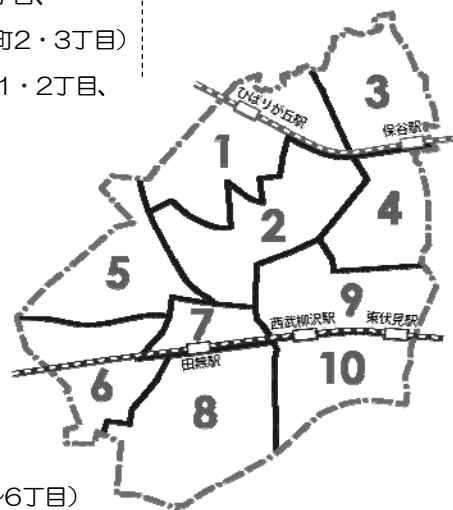
5. 家事専従

3. アルバイト・パートタイム

6. その他（ ）

問4 お住まいの地区についておたずねします。（あてはまるもの1つに○印）

1. ひばりが丘駅周辺（住吉町2・3丁目、ひばりが丘1～3丁目、ひばりが丘北1～4丁目、栄町1～3丁目、緑町3丁目、谷戸町2・3丁目）
2. 中央地域（泉町1～6丁目、住吉町1丁目、4～6丁目、緑町1・2丁目、谷戸町1丁目、北原町1～3丁目）
3. 保谷駅北部地域（北町1～6丁目、下保谷1～5丁目）
4. 保谷駅南部地域（中町1～6丁目、東町1～6丁目）
5. 田無駅北西部地域（田無町7丁目、西原町1～5丁目、芝久保町4・5丁目、ひばりが丘4丁目）
6. 田無駅西部地域（田無町6丁目、南町6丁目、向台町5・6丁目、芝久保町1～3丁目）
7. 田無駅周辺地域（田無町1～5丁目）
8. 田無駅南部地域（南町1～5丁目、向台1～4丁目、新町1～6丁目）
9. 東伏見・西武柳沢駅北部地域（保谷町1～6丁目、富士町1～6丁目）
10. 東伏見・西武柳沢駅南部地域（柳沢1～6丁目、東伏見1～6丁目）



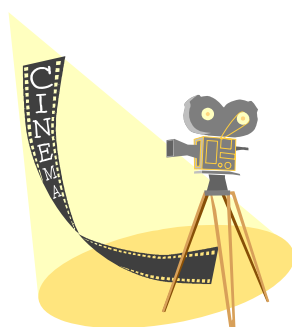
問5 市内(旧保谷市・旧田無市も含む)居住年数についておたずねします。
(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 2. 1年以上5年未満 | 5. 20年以上30年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 6. 30年以上 |

2 文化芸術活動についておうかがいします。

問6 あなたはこの1年間でどのような文化芸術の公演や作品を鑑賞しましたか。
また、あなたが今後、鑑賞したい文化芸術は、どの分野の公演や作品ですか。
(あてはまるものすべてに○印)

	鑑賞した 文化芸術	鑑賞したい 文化芸術
1. 音楽(クラシック音楽・ポピュラー音楽・歌謡曲・オペラ・邦楽・童謡・ 楽器演奏・合唱・民謡・作詞・作曲など)		
2. 演劇・演芸 (現代演劇・人形劇・ミュージカル・落語・浪曲・漫才・漫談など)		
3. 舞踊 (日本舞踊・バレエ・モダンダンス・民俗舞踊・社交ダンスなど)		
4. 美術 (絵画・イラスト・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など)		
5. 文芸(小説・児童文学・詩・短歌・俳句・評論・川柳・現代文学・古典文学・ 随筆など)		
6. 映画 (映画・ビデオ・アニメなど)		
7. 生活文化 (生け花・茶道・書道・ファッション・手芸・盆栽・園芸・囲碁など)		
8. 伝統芸能 (歌舞伎・文楽・能・狂言など)		
9. その他 (鑑賞した文化芸術:) (鑑賞したい文化芸術:)		
10. 特になし		



問7 あなたは現在、どのような文化芸術活動を行っていますか。
また、今後、どのような文化芸術活動に取組みたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

	行っている 文化芸術活動	取組みたい 文化芸術活動
1. 音楽（クラシック音楽・ポピュラー音楽・歌謡曲・オペラ・邦楽・童謡・ 楽器演奏・合唱・民謡・作詞・作曲など）		
2. 演劇・演芸 （現代演劇・人形劇・ミュージカル・落語・浪曲・漫才・漫談など）		
3. 舞踊 （日本舞踊・バレエ・モダンダンス・民俗舞踊・社交ダンスなど）		
4. 美術 （絵画・イラスト・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など）		
5. 文芸（小説・児童文学・詩・短歌・俳句・評論・川柳・現代文学・古典文学・ 随筆など）		
6. 映画 （映画・ビデオ・アニメなど）		
7. 生活文化 （生け花・茶道・書道・ファッション・手芸・盆栽・園芸・囲碁など）		
8. 伝統芸能 （歌舞伎・文楽・能・狂言など）		
9. その他 （行っている文化芸術： ） （取組みたい文化芸術： ）		
10. 特にない		

問8 あなたが、より活発に文化芸術鑑賞や活動を楽しむためには、どのようなことが必要ですか。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. イベント情報の提供 | 7. 施設の利用料金が低額 |
| 2. 活動に必要な情報の発信 | 8. 活動時間帯の工夫 |
| 3. 興味のある催し物の実施 | 9. 仲間づくりの機会創出 |
| 4. 施設への交通網の整備 | 10. 指導者育成 |
| 5. 身近な活動場所・練習場所の充実 | 11. その他（ ） |
| 6. 設備の整備や妥当な施設規模 | 12. ない |



問9 あなたが文化活動を行う場合、下に示す時間帯のうち活動しやすいのはいつですか。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 平日早朝(～9時) | 5. 休日早朝(～9時) |
| 2. 平日日中(9時～18時) | 6. 休日日中(9時～18時) |
| 3. 平日夜間(18時～22時) | 7. 休日夜間(18時～22時) |
| 4. 平日深夜(22時～) | 8. 休日深夜(22時～) |

問10 あなたの文化芸術活動を活発にするには、情報媒体として、どのようなものが必要だと思いますか？(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 市広報紙 | 6. ダイレクトメールなど |
| 2. CATVなどの映像 | 7. 知人からの ^{うち} コミ |
| 3. ミニFMなどの音声 | 8. 掲示板などのポスター |
| 4. ミニコミ紙やチラシ | 9. 携帯電話などのメール |
| 5. ホームページなどのインターネット | 10. その他() |

問11 文化芸術活動に関する情報について、どのような情報がほしいですか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 文化施設の催し物のスケジュール
2. 市内にある文化施設の場所・利用方法・空き状況
3. 地域の歴史や文化財の位置の情報やこれらを学習できる場
4. 市内にある活動団体・サークル
5. 文化芸術関係の講座
6. 文化施設でのボランティア活動
7. 西東京市を拠点として活動している芸術家の情報
8. その他()
9. 特にない



3 西東京市の文化施設についておうかがいします。

問 12 あなたは、次にあげる市内の施設のうち、文化芸術活動(鑑賞等を含む)を目的として利用したことがあるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 保谷こもれびホール | 8. 福祉施設 |
| 2. 西東京市民会館 | 9. 集会所・地区会館・コミュニティ施設 |
| 3. コール田無 | 10. アスタ市民ホール |
| 4. 公民館 | 11. 市内民営施設 () |
| 5. 学校教育施設 | 12. その他 () |
| 6. スポーツ施設 | 13. 利用したことがない |
| 7. きらっと(南町スポーツ・文化交流センター) | |

問 13 あなたは文化芸術活動(鑑賞等を含む)を目的として施設を利用する時に、主にどのような理由や基準で選びますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 興味のあるイベントがある | 6. 使用料が安い |
| 2. 自分のやりたい講座や教室がある | 7. 使用時間の都合が良い |
| 3. 駐車場がある | 8. 施設や備品が整っている |
| 4. 自宅に近い | 9. 使用申し込み手続きが簡単 |
| 5. 駅に近い・交通の便が良い | 10. その他 () |

問 14 西東京市の文化施設の『こもれびホール』、『市民会館』、『コール田無』をもっと魅力的な施設にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 魅力的な展示や公演を企画するなどイベント内容を充実させる
2. 使用する部屋や器材など施設・設備を充実させる
3. 展示や公演等の際に、作品の解説や説明を行う
4. 市民が文化活動を体験できるような催しを増やす
5. 利用料金を安くする
6. 利用できる時間を増やす
7. 施設の利用情報をもっと市民に知らせる
8. 市民が展示案内など、ボランティアとしてもっと参加できるようにする
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

4 「文化・芸術」のイメージについておうかがいします。

問 15 「文化・芸術」という言葉に対して、それぞれどのようなイメージを持ちますか。
(あてはまるものすべてに○印)

	文化	芸術
1. 音楽、美術、文学、写真、演劇、舞踊など		
2. 映画、漫画、アニメなどのメディア		
3. 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎などの伝統芸能		
4. 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱などの大衆芸能		
5. 茶道、華道、書道など		
6. 囲碁、将棋などの国民的娯楽		
7. 出版物やレコードなど		
8. 文化財、歴史的遺産		
9. 地域固有の伝統芸能・民俗芸能		
10. 特にない		
11. 科学技術		
12. 新しい価値の創造		
13. その他 ()		
14. わからない		

5 文化事業への参加についておうかがいします。

問 16 あなたの文化事業への関心を満たすことができる地域は、どの範囲になりますか。
(あてはまるもの 1 つに○印)

1. 西東京市内で十分満足である
2. 西東京市内では不十分だが、多摩六都近隣地域（小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市）を含めれば満足である
3. 西東京市内では不十分だが、周辺地域（武蔵野市・三鷹市・小金井市）を含めれば満足である
4. 西東京市内では不十分だが、23 区を含めれば満足である
5. あまり満たされていない
6. わからない・関心がない

問 17 西東京市では様々な文化事業を行っていますが、これまでに参加したものはありますか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 西東京市民文化祭
2. 西東京市民まつり
3. こもれびホール文化事業
4. 多摩六都文化事業
5. 公民館事業
6. その他市が行っている文化事業 ()
7. 市以外(民間)が行っている文化事業 ()
8. 参加したことがない **問 18 へ**

※問 17 で「参加したことがない」という方にお聞きします。

問 18 参加したことがない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 自分の希望に合う講座や教室などが無い／講座や教室の開催曜日・時間などが合わない
2. 身近なところに施設や場所がない
3. 身近なところにある施設や場所が使いにくい
4. 必要な情報(内容・時間・場所・費用)がなかなか入手できない
5. 費用がかかる(費用が高い)
6. 仕事や家事が忙しくて時間がない
7. 家族や職場など周囲の理解が得られない
8. 子どもや親などの世話をしてくれる人がいない／託児サービスがない
9. 適当な指導者がいない
10. 一緒に学習や活動をする仲間がいない
11. きっかけがつかめない
12. 興味がない
13. その他 ()
14. 特になし

6 西東京市の文化的な環境についておうかがいします。

問 19 西東京市の文化的な環境について、どの程度満足していますか。
(ア～セの項目ごとに、それぞれあてはまるもの1つに○印)

	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
ア. 市民の文化芸術活動に関する場所の提供	1	2	3	4	5
イ. 市民の文化芸術活動に関する情報の提供	1	2	3	4	5
ウ. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	1	2	3	4	5
エ. 講座などの多様な学習や体験機会の提供	1	2	3	4	5
オ. 文化芸術活動の指導者や研究者、専門家の育成	1	2	3	4	5
カ. 練習・発表・創作等の活動への支援	1	2	3	4	5
キ. 文化施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
ク. 地元の芸術家の掘り起こしや支援	1	2	3	4	5
ケ. 外国籍市民との相互理解や文化交流の促進	1	2	3	4	5
コ. 文化財保護のためのPRや人材の育成	1	2	3	4	5
サ. 民俗芸能の公開や後継者育成の推進	1	2	3	4	5
シ. 子どもが文化芸術に親しむ機会の提供	1	2	3	4	5
ス. 文化芸術を育む自然環境の整備や風土づくり	1	2	3	4	5
セ. 行政と企業との協働による文化芸術事業の実施	1	2	3	4	5



問 20 西東京市の文化的な環境について、どの程度重要だと思いますか。
 (ア～セの項目ごとに、それぞれあてはまるもの1つに○印)

	重要である	まあまあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
ア. 市民の文化芸術活動に関する場所の提供	1	2	3	4	5
イ. 市民の文化芸術活動に関する情報の提供	1	2	3	4	5
ウ. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	1	2	3	4	5
エ. 講座などの多様な学習や体験機会の提供	1	2	3	4	5
オ. 文化芸術活動の指導者や研究者、専門家の育成	1	2	3	4	5
カ. 練習・発表・創作等の活動への支援	1	2	3	4	5
キ. 文化施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
ク. 地元の芸術家の掘り起こしや支援	1	2	3	4	5
ケ. 外国籍市民との相互理解や文化交流の促進	1	2	3	4	5
コ. 文化財保護のためのPRや人材の育成	1	2	3	4	5
サ. 民俗芸能の公開や後継者育成の推進	1	2	3	4	5
シ. 子どもが文化芸術に親しむ機会の提供	1	2	3	4	5
ス. 文化芸術を育む自然環境の整備や風土づくり	1	2	3	4	5
セ. 行政と企業との協働による文化芸術事業の実施	1	2	3	4	5



問 21 地域での文化芸術活動をもっと活発にするために、西東京市がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 質の高い芸術や伝統芸能などへの支援
2. 文化財の維持管理に対する支援
3. 音楽祭、演劇祭、映画祭、美術展など文化的行事の開催
4. 文化芸術を支える人材の育成
5. 子どもたちの文化芸術体験の充実
6. 文化施設の整備・充実
7. 文化に関する情報発信
8. 国際文化交流の推進
9. その他（）
10. 特にない

7 西東京市の子どもの文化芸術活動についておうかがいします。

問 22 子どもたちの文化芸術活動をもっと活発にするために、西東京市がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（あてはまるもの2つに○印）

1. 子どもが興味・関心を持つ文化芸術事業や行事などを行う
2. 子どもが参加・体験できる文化芸術事業や行事などを行う
3. 子どもが参加しやすいように、情報をわかりやすく提供する
4. 子どもが参加しやすいように、家から遠くない身近な施設で実施する
5. 子どもが参加しやすいように、低料金としたり補助を行う
6. 学校での文化芸術に関する教育を充実する
7. その他（）
8. 特にない

8 西東京市の文化財や伝統文化についておうかがいします。

問 23 次に挙げる西東京市内にある文化財や伝統文化について、ご存知のものはありますか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 西東京市指定の無形文化財（田無ばやし、保谷囃子）
2. 西東京市指定の有形文化財（六角地蔵尊、庚申塔、地租改正絵図など）
3. 国指定の名勝（小金井「サクラ」）
4. 国指定の史跡（玉川上水）
5. 東京都指定の文化財（田無神社本殿、拝殿）
6. 西東京市内の遺跡（下野谷遺跡など）
7. 市内にある神社や寺
8. 市内で実施されている各種祭り
9. 景観（屋敷林など）
10. その他（）
11. 知らない

問 24 西東京市の伝統文化を継承していくためには、どのようなことを期待しますか。(あてはまるもの1つに○印)

1. 伝統文化等の周知
2. まち歩きなどで伝統文化等に触れるイベント
3. 地域の文化に関する学習の機会
4. 市民ボランティアなど、市民が主体的に活動できる場をつくる
5. その他 ()
6. わからない

9 西東京市の地域活動への参加についておうかがいします。

問 25 あなたは現在、次に挙げる地域活動に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 趣味のサークル活動(文化活動・スポーツ活動・学習活動など)
2. NPO・ボランティア活動
3. 自治会や町内会・老人クラブや婦人会等の活動
4. 防災・防犯・消防団等の活動
5. PTA活動
6. その他 ()
7. 参加していない

10 外国人との交流や大学等との連携についておうかがいします。

問 26 西東京市には、留学生をはじめ、様々な国籍の外国人が住んでいます。外国人と市民の交流を促進するために、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの2つに○印)

1. 外国人と市民との交流活動・イベントを充実する
2. シンポジウム等を開催し、外国人とともに考える場をつくる
3. 多文化共生の視点を入れた市民向けの講演会を開催する
4. 外国人の日本語学習支援を充実する
5. 通訳などの市民ボランティアを養成する
6. その他 ()
7. わからない

問 27 市民が教養を高めたり、地域文化を創造したりする上で、どのような機関との連携が必要だと思いますか。 (あてはまるもの2つに○印)

1. 市内高校・大学
2. 企業
3. 近隣市
4. 姉妹都市
5. NPO・ボランティア
6. その他（ ）
7. わからない

1.1 自由回答

問 28 「地域に根ざした文化芸術活動や伝統文化の継承」あるいは「西東京市独自の文化の育成」のためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。
その他、市の文化振興に関してご意見があれば記入してください。



～ご協力 ありがとうございました～

西東京市 文化芸術振興計画策定のための 活動団体アンケート結果

平成22年10月

1. 調査の目的

実際に市内で文化芸術に関する活動を行っている市民・団体の現状や意向を把握するため、活動団体の意向調査を行いました。

2. 調査の方法

- ◆対象：①市内公共施設を使用している市民団体（不特定多数）
②第10回西東京市民文化祭に参加している市民団体（200 団体）

- ◆回収期間：

- ① 9/13～9/30 まで
 - ② 9/18～9/30 まで

- ◆回収方法：

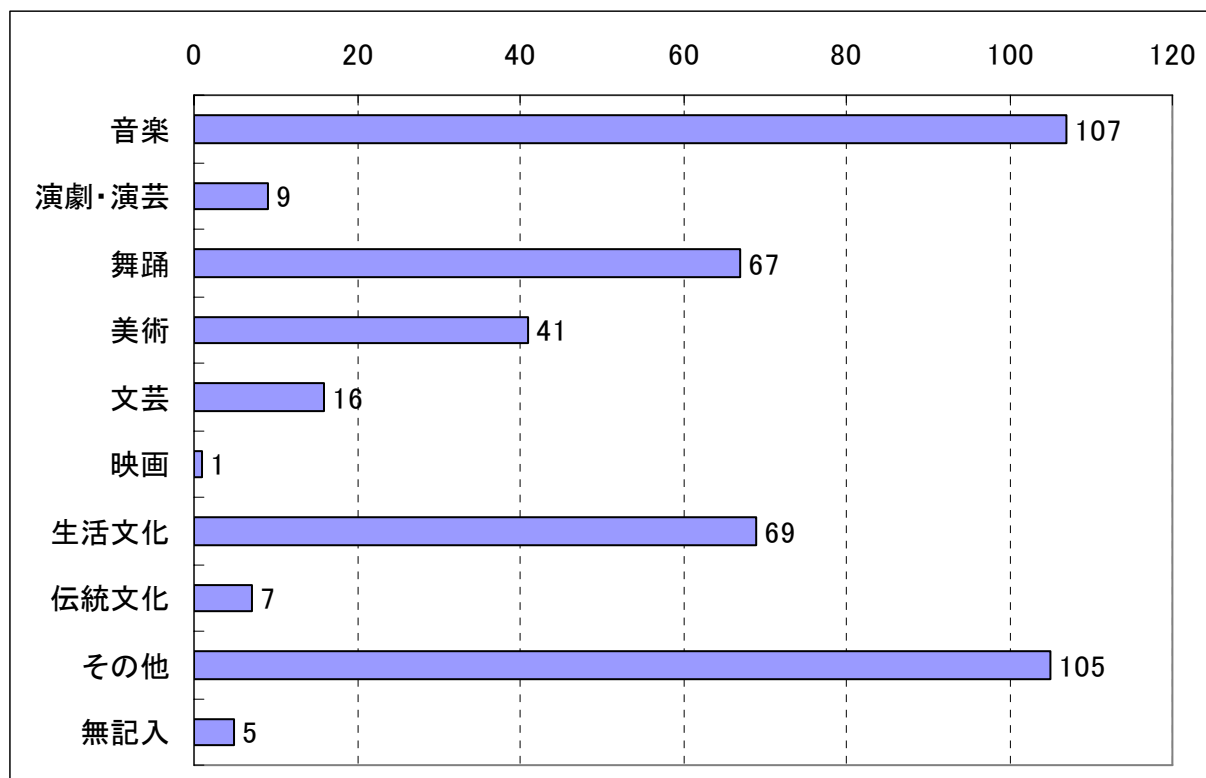
- ① 市内各公共施設にアンケート BOX を設置。
 - ② 9/18 に配布し、アンケート BOX に投函するよう指示。

- ◆有効回収数：

- 合計 399 票

3. 調査結果

問1. 団体の活動分野は何ですか。(あてはまるものに○印)

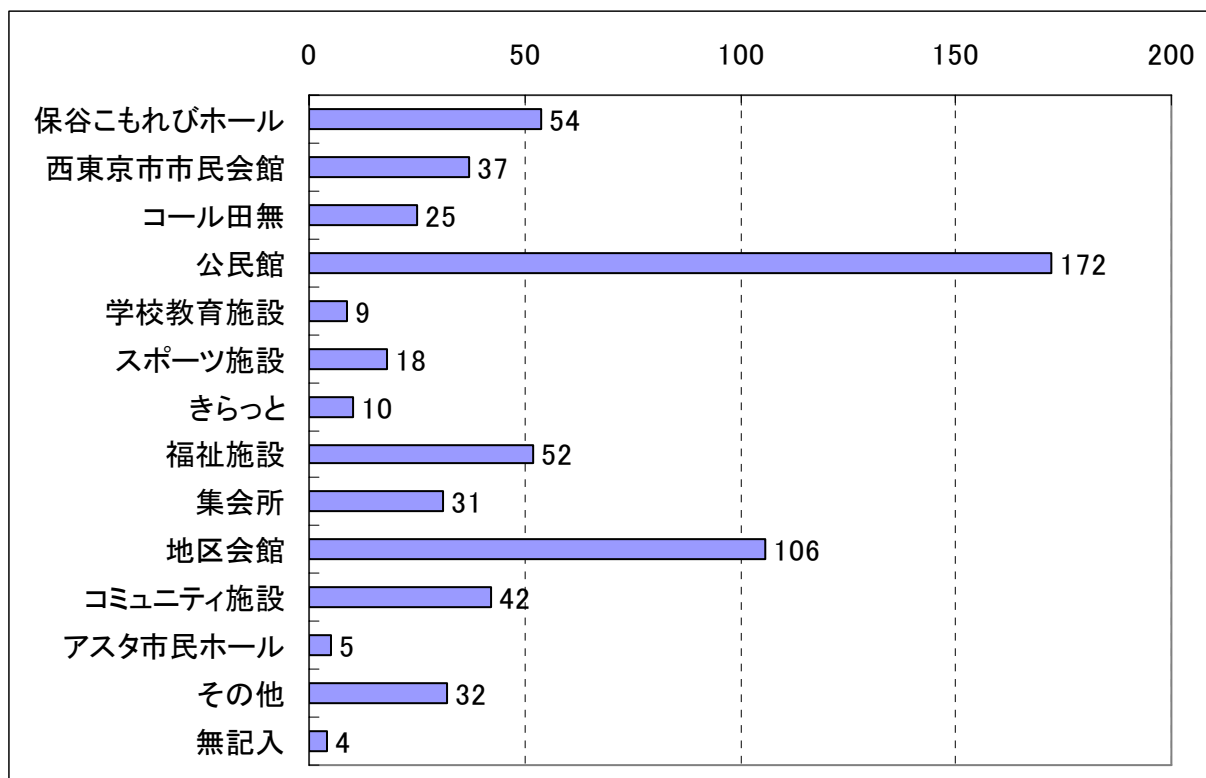


●その他の内訳

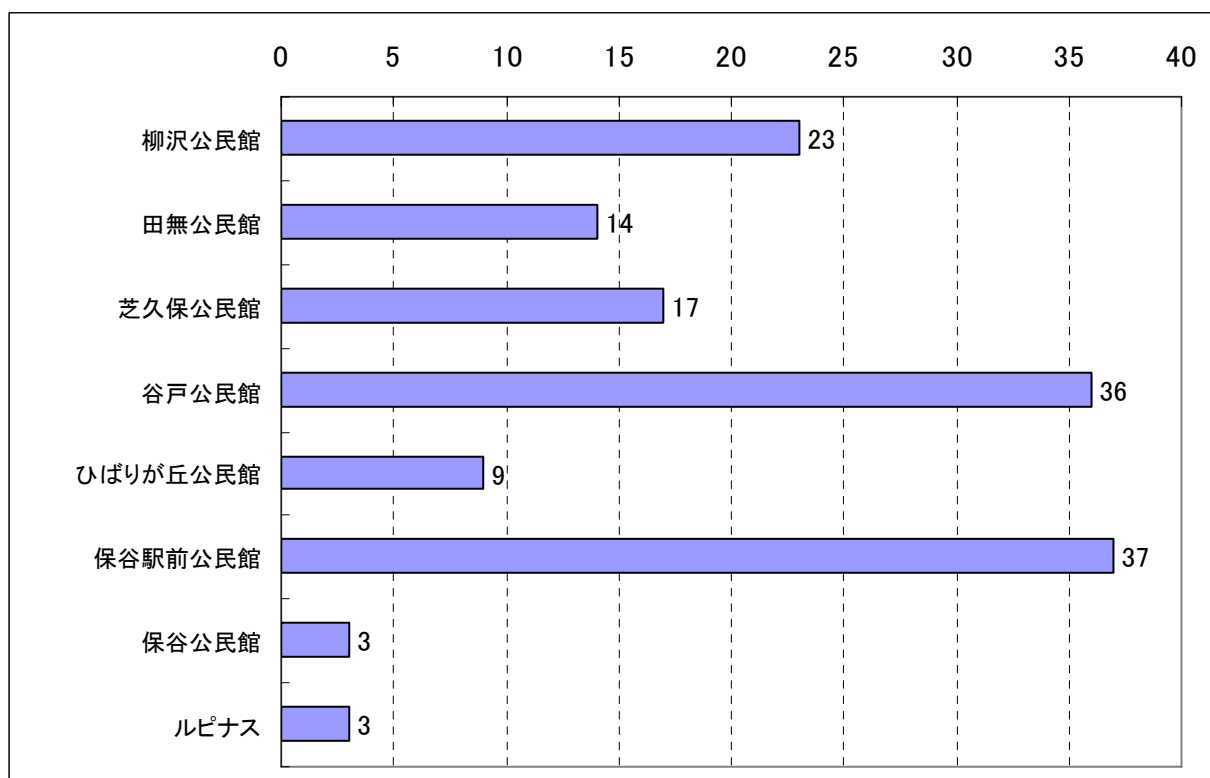
カテゴリー		票数	内訳
1	健康づくり	38	ヨガ、エアロビクス、体操、健康体操等
2	文芸	12	写経、読者会、詩吟等
3	育児	10	子育て等勉強会、親子体験、育児支援、育児サークル等
4	生活文化	9	料理、着付け、ビーズ等
5	語学	9	中国語、英会話、日本語教室
6	美術	4	陶芸、水墨画、押し花等
7	ボランティア	4	ボランティア活動、研修、交流、会議、地域活動、手話
8	音楽	3	大正琴、カラオケ、日本民謡と三味線による慰問
9	趣味	2	珠算練習、歴史探訪
10	パソコン	2	パソコン
11	演劇・演芸	1	演劇・音楽・芸能鑑賞・子どものあそび
合計		94	

多い方から音楽、生活文化、舞踊、美術の順となっている。

問2. 主な活動の場所はどこですか。（あてはまるものすべてに○印）

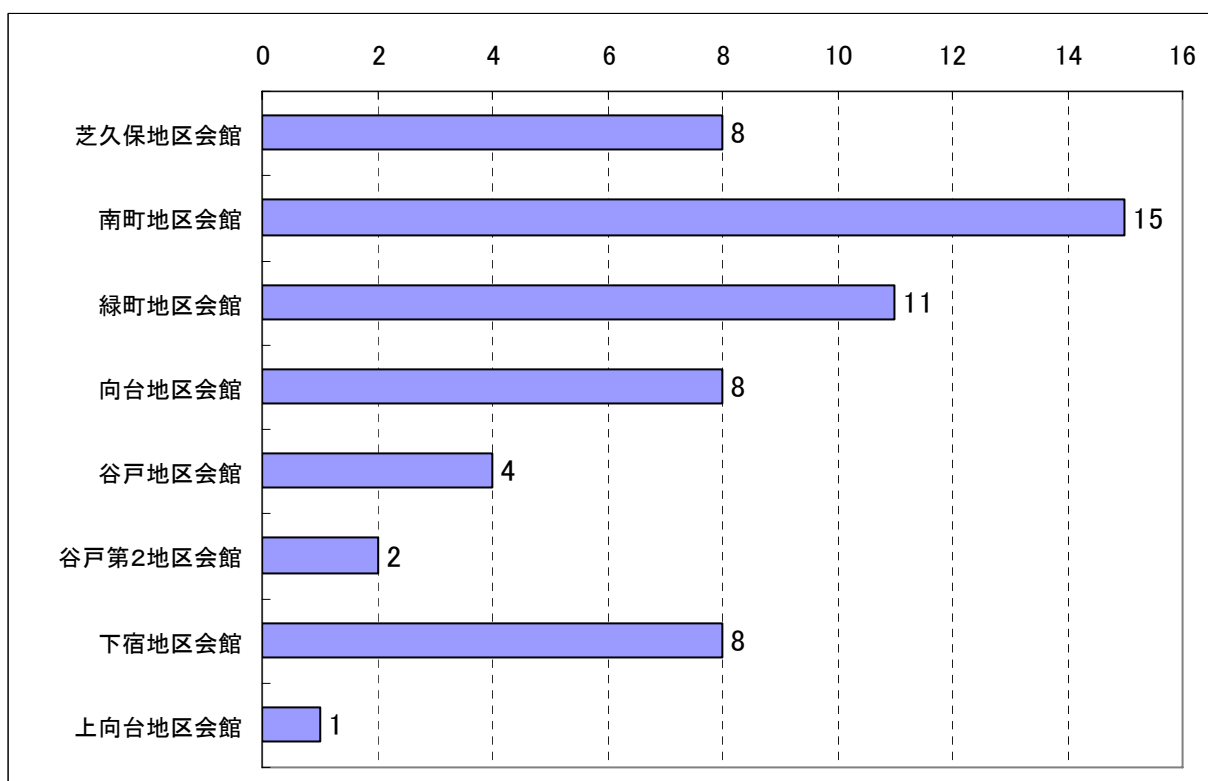


●公民館の内訳



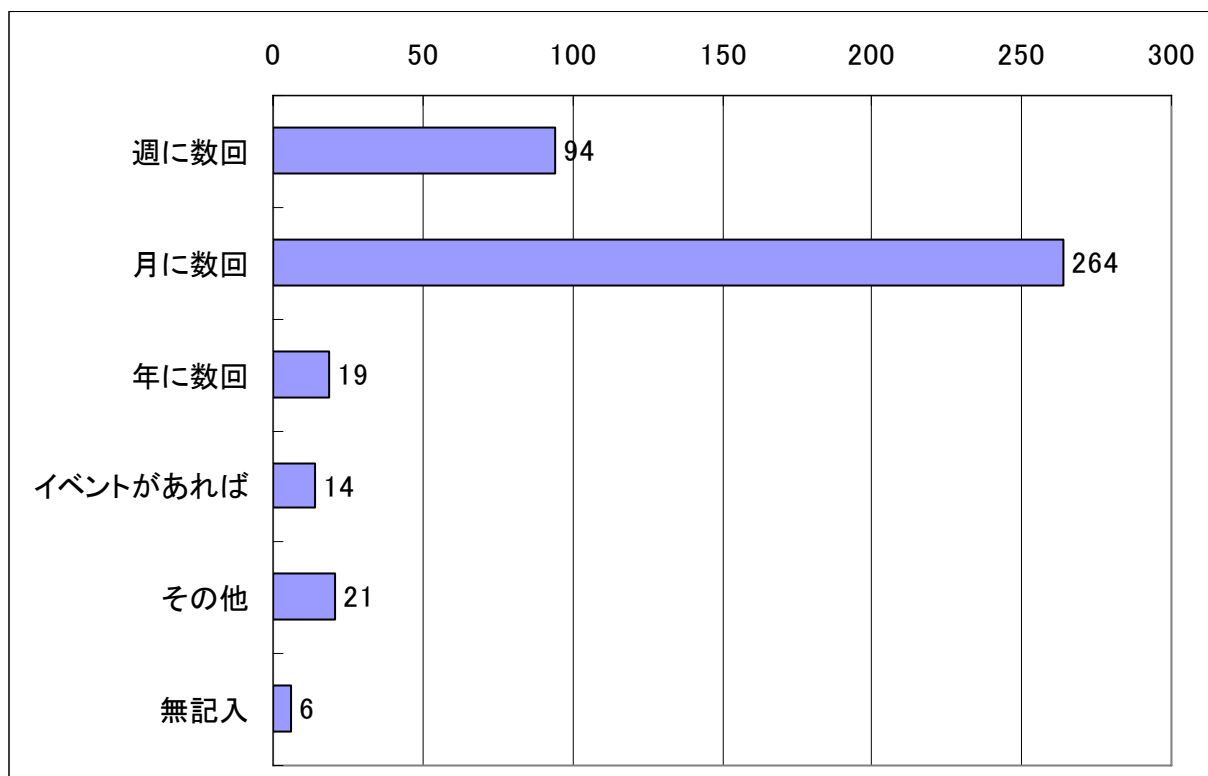
公民館、地区会館、保谷こもれびホールを利用する団体が多い。
 なお、公民館では、保谷駅前公民館、谷戸公民館、柳沢公民館の利用が多くなっている。

●地区会館の内訳



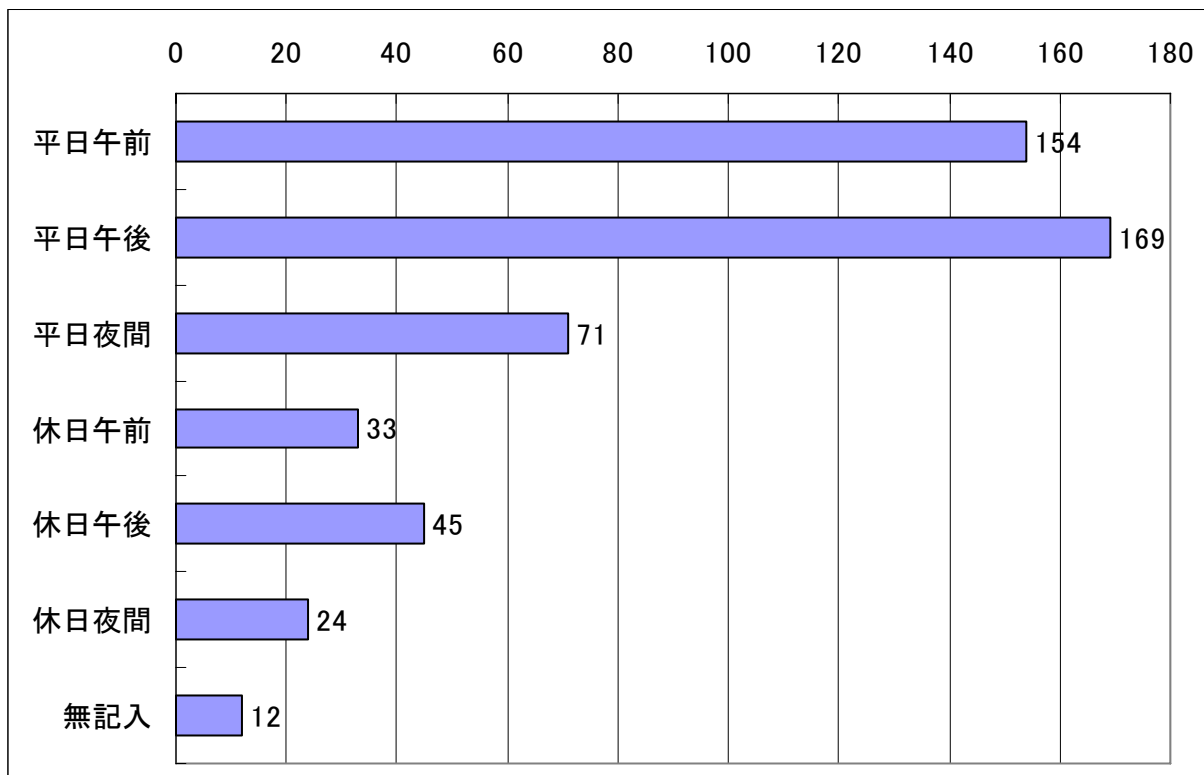
地区会館では、南町地区会館、緑町地区会館、芝久保地区会館、向台地区会館、下宿地区会館を利用する団体が多い。

問3. 活動はどのくらいの頻度で実施していますか。



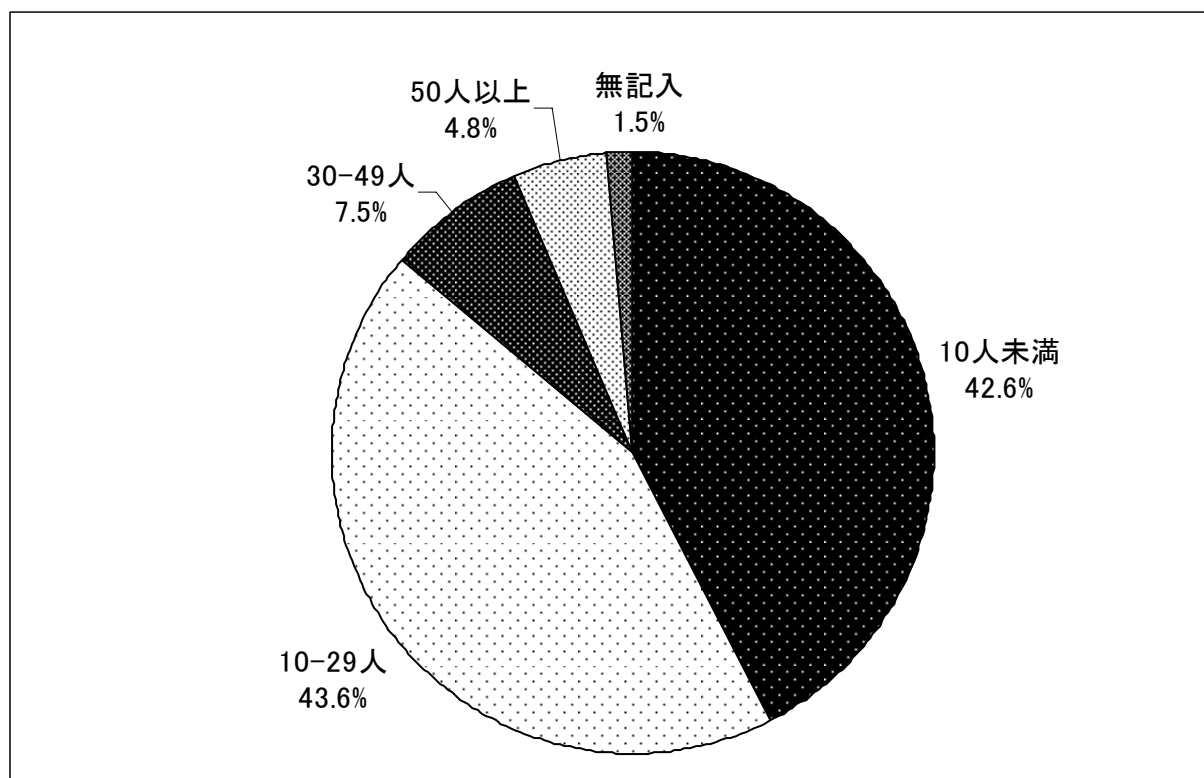
月に数回の頻度で活動する団体が圧倒的に多い。

問4. 活動の時間帯はいつですか。



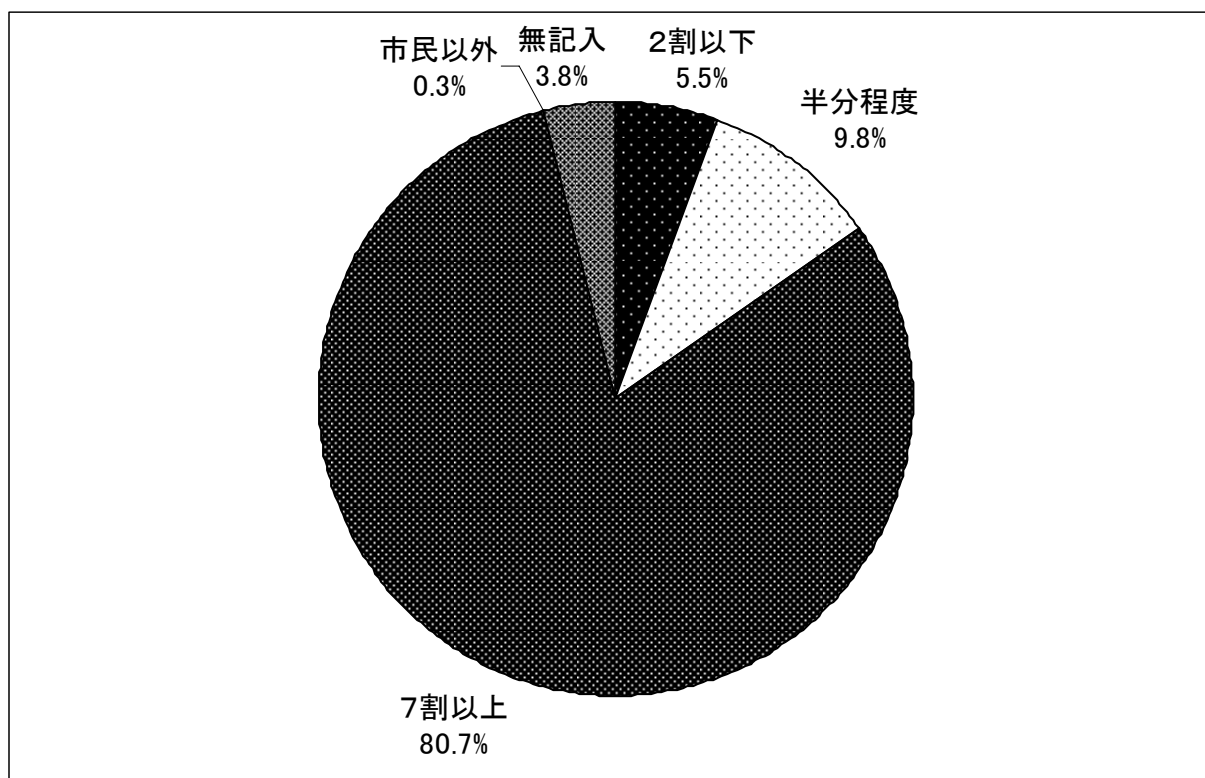
平日の午前、午後に活動する団体が多い。

問5. 活動メンバーは何人くらい所属されていますか。



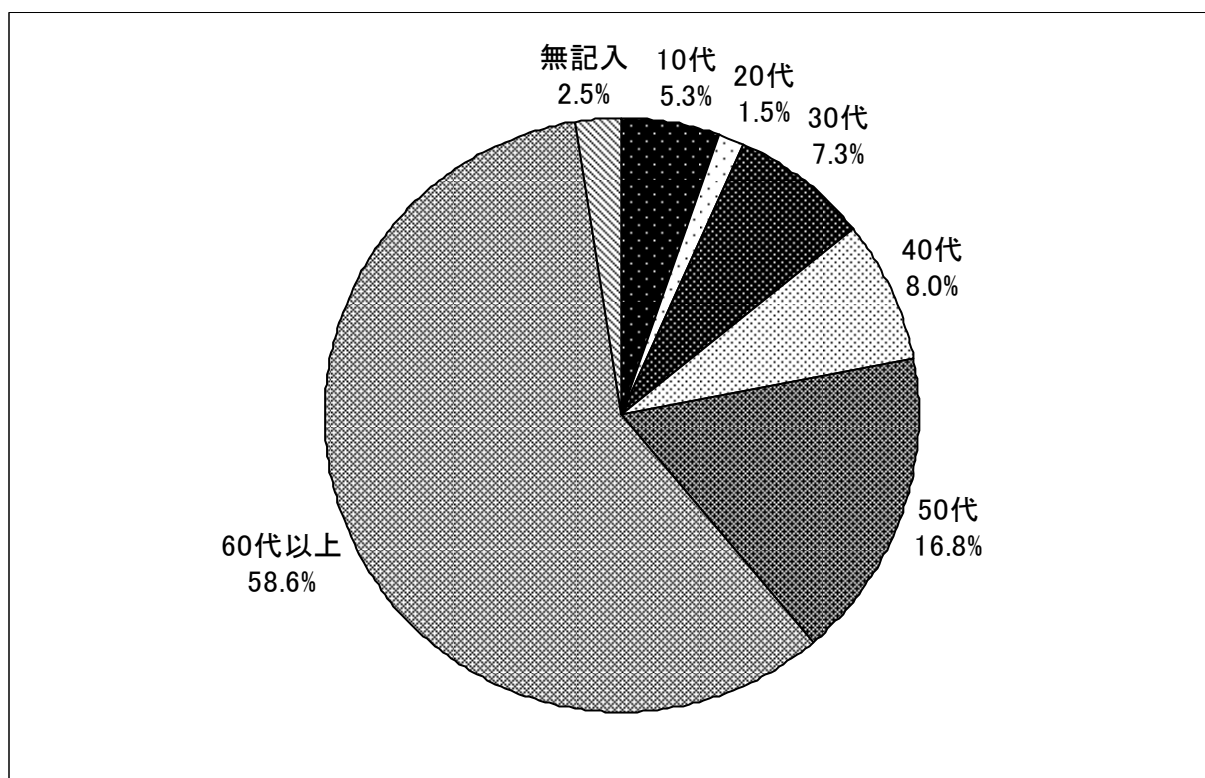
10-29 人の団体が 43.6%、10 人未満の団体が 42.6%と、30 人未満の団体が 86.2%と大半を占めている。

問6. メンバー構成のうち西東京市民の割合はどのくらいですか。



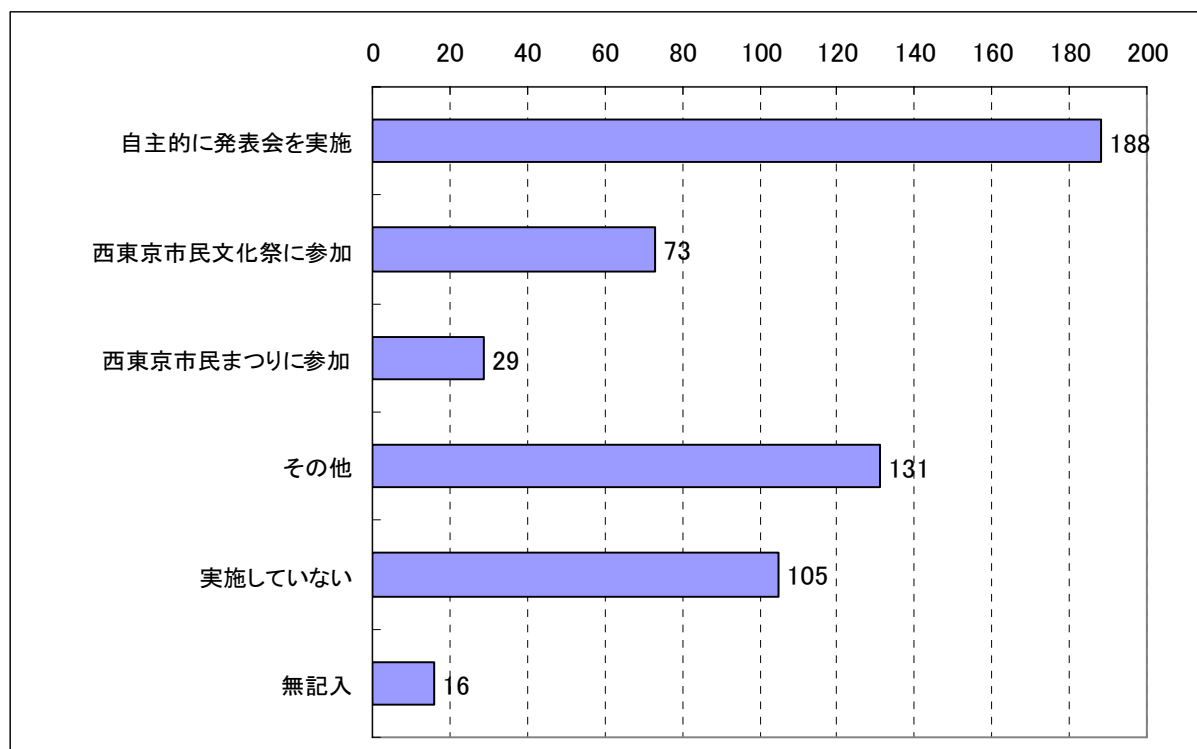
西東京市民が7割以上の団体が 80.7%と大半を占めている。

問7. メンバーの年齢層はどのような状況ですか。



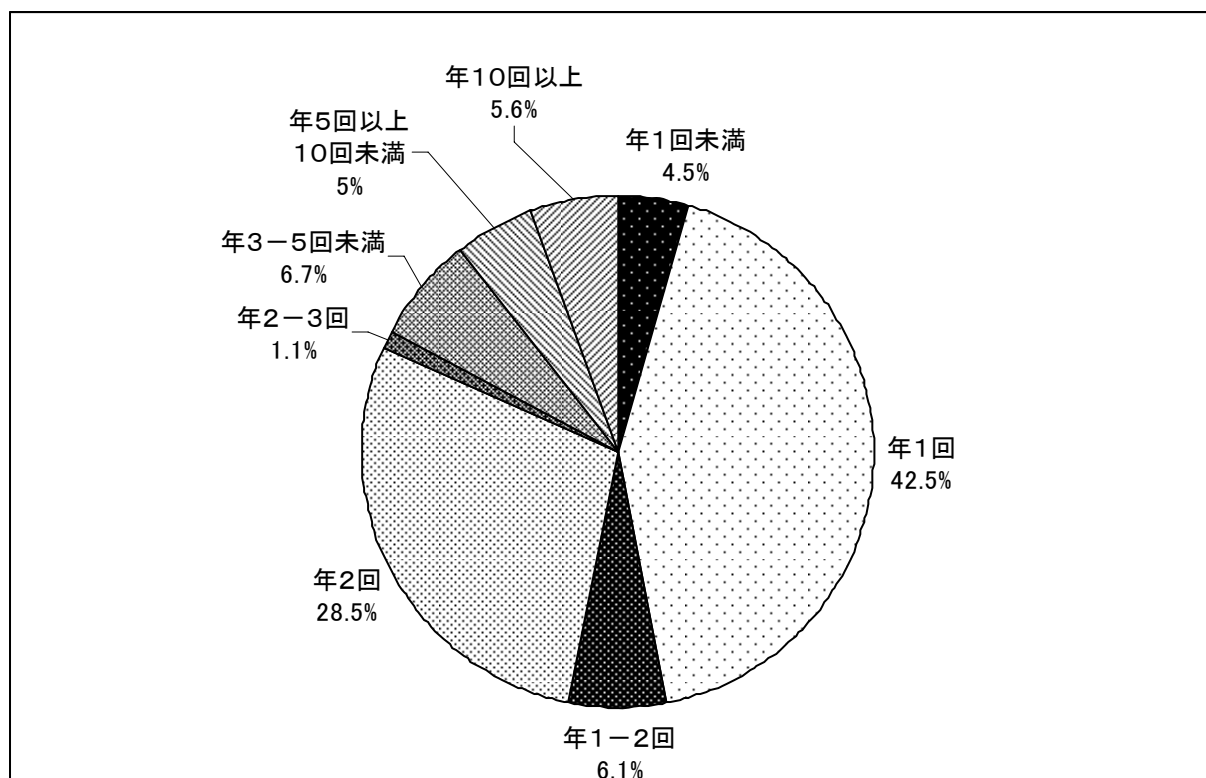
60代以上が 58.6%、50代が 16.8%と 50代以上の団体が 75.4%と大半を占めている。

問 8. 活動の成果をどういう形で発表していますか？



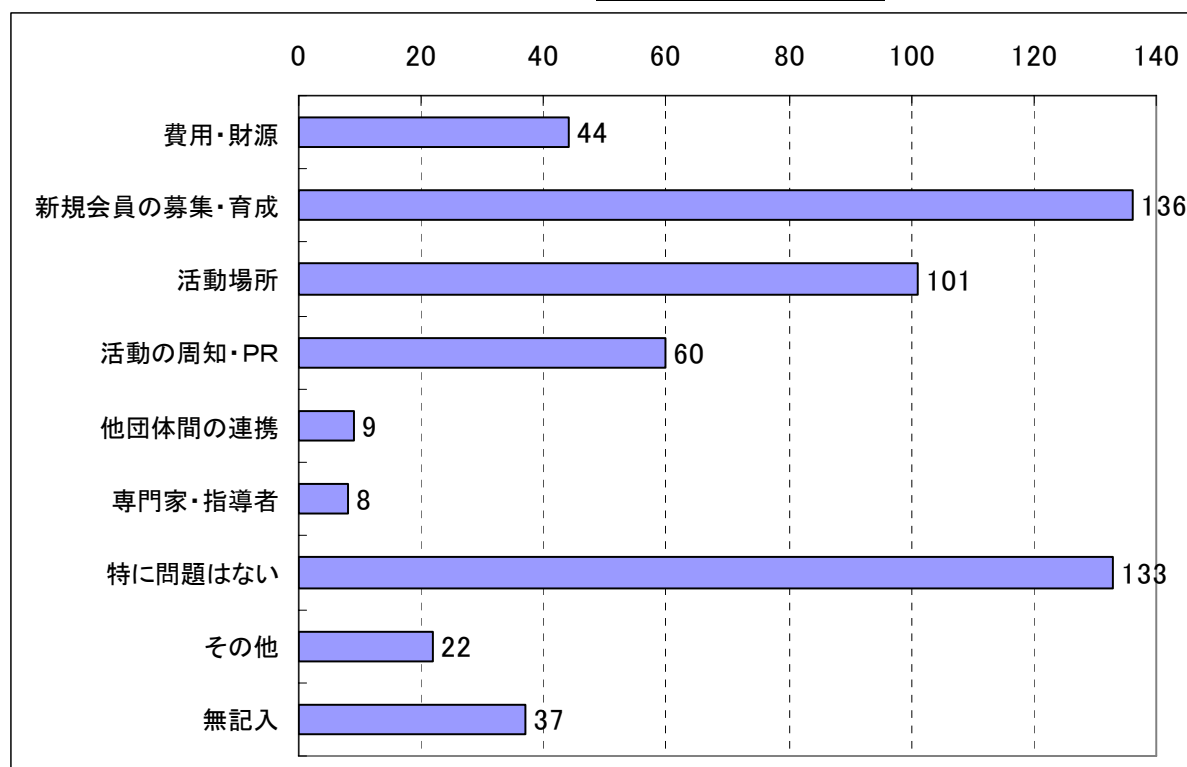
自主的に発表会を実施する団体が 188、西東京市民文化祭に参加する団体が 73 となっている。発表していない団体も 105 ある。

●自主的な発表会の頻度



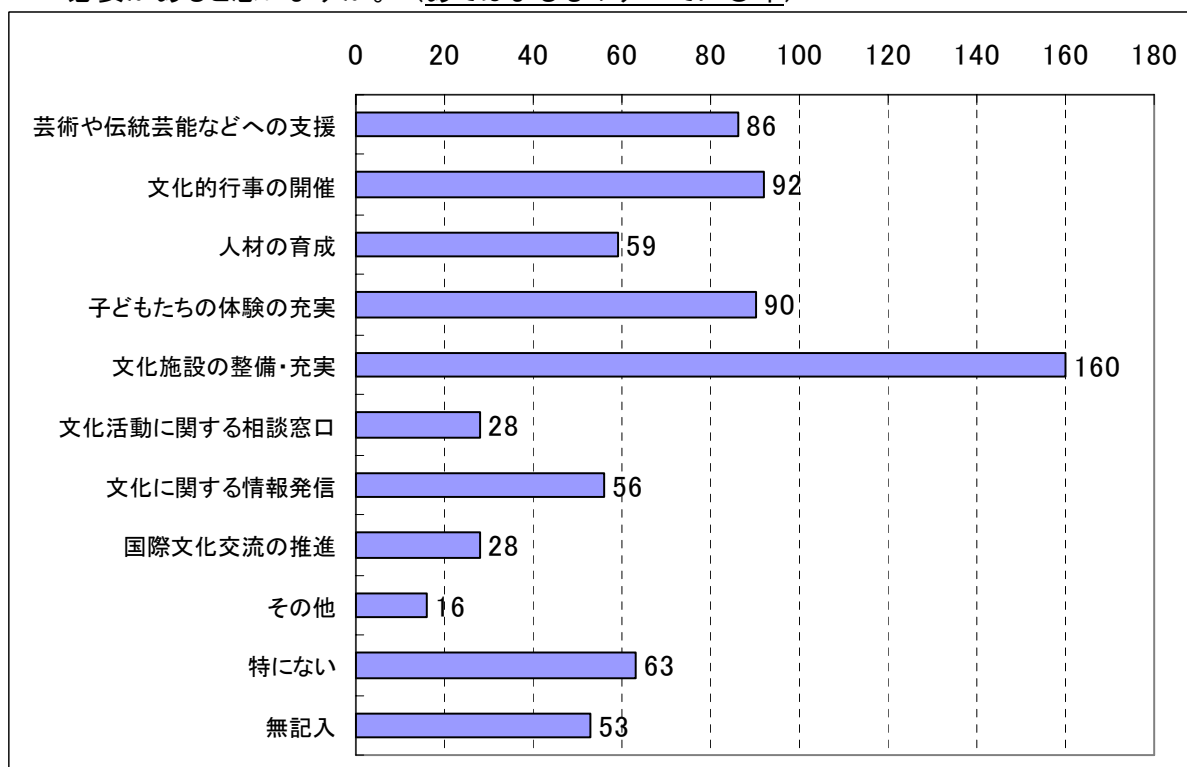
なお、自主的に発表会を実施する団体に関して頻度を聞くと、42.5%が年1回となっており、次いで年2回が 28.5%となっている。

問9. 日頃の活動の課題や問題点は何ですか。(あてはまるものに○印)



新規会員の募集・育成が136件と最も多く、次いで活動場所101件となっている。特に問題はない団体も133件ある。

問10. 団体の文化芸術活動をもっと活発にするために、西東京市がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○印)



「文化施設の整備・充実」が160件と最も多く、次いで「文化的行事の開催」92件、「子どもたちの体験の充実」90件、「芸術や伝統芸能などへの支援」86件となっている。

問11. 西東京市らしい文化芸術振興を進める上での取り組みやご意見、アイデアなどがありましたら自由にお書き下さい。

●イベントを開催したい（14件）

西東京市在住のためのイベントを開いていただきたいです。保谷こもれびホール等で。
練習場所の確保が難しい状況にあります。とりわけ春・秋の発表会シーズンには、かなりタイトとなります。活動場所の拡充を是非お願いいたします。西東京市から文化の風を発信する方針であれば、近隣の市との合同の市民イベント等を企画し、市民の関心を高めると共に、文化活動の質の向上への協力と推進をお願い致します。昨年夏、保谷こもれびホール主催の音楽を通した国際交流ワークショップに参加しましたが、そうしたイベントをもっと増やし、市民参加型の活動を充実していただきたいと考えます。
西東京市に近隣や全国から集まって開催する西東京市が文化芸術の拠点となるような会や催しが出来たら素敵だと思っています。
バンドでライブを沢山やりたいです。
・お互いの団体の交流を図る。発表の場の確保、年度計画を明確に。・文化の質の向上を図る-良き指導者、市民の自覚・活動のための資金の援助。
ダンスには鏡と床がフローリングであって欲しい。上記2つ、特に鏡が少なく、活動場所が少ないことが残念です。今年の西東京市民祭にストリートが無いこと、残念に思います。人の集まるお祭です。発表の場として是非次回はお願いしたいです。当日の飛び入りなどもあれば・・・。
～本を交換するイベント～一冊でも自分の本を持って行けば、その場に集まった本の中から新しいお気に入りを見つけて、持って帰れるようなイベント。「大切にしている本をまた誰かが大切にしてくれる」ようなイベントはどうですか？
1.西東京市民文化祭での開催については、概ね良好と思う。今後も継続していただきたい。2.西東京市民まつり(憩いの森公園)の演芸については、今後も継続して欲しい。開催の方法等、概ね良好と思われる。
公民館単位などではなく、全市的な発表の場があると良いと思う。ただ、どこへ行くのにもアクセスが悪いので、臨時バスなど出して欲しい。私達は、子どもへの読み聞かせをしているので、子供向けワークショップなどのイベントがあったら楽しいと思います。例えば、子どもが花を生ける、自分でお茶を立てていただくなど。
東京都山岳連盟に加入している。スポーツや安全保険に加入している。(年 1500 円/1 人)年一回総会を開催している。5年に1回、周年記念展をやっている。渋谷電力館を借用など。
公民館で日常活動しているサークルなので、それぞれの公民館まつりなどで発表できることは、公民館が6つある西東京らしい文化活動として、素晴らしいことだと思います。又、できれば市の美術館の創立や博物館があれば、生涯学習の拠点となると思います。
今年初めて西東京市民文化祭に参加します。楽しい「民謡」を会場の皆さんで共有できますよう、芸の質を高めるような何かをしていきたいと思っています。
夏に安曇野薪能を鑑賞する機会がありました。その時、前座のような形で、こどもの教室の発表が行われました。たくさんの方々が見にいらしている中、発表ができ、活動の内容も周知されるので、とても良いと思いました。西東京市も西東京市民文化祭で、そのような形がとれたらよいと思いました。ぜひ、市をあげて後援いただきたいと思っています。

秋には公民館活動の発表の場として文化祭を行っている。これは文化芸術の土台作りとして意義あると思うが、春にはプロを交えてハイレベルの文化芸術発表会(文化フェスティバル?)を企画してはどうか。プロとアマのコラボで文化芸術全てのレベルをアップさせるであろう。企画に当たっては各分野多数の方が入る形の市民公募で実行委員会を作る。行政は場所提供のみで費用については全て参加者で行うのが望ましい。

*文化祭について全体としてマンネリしている気がする。スタッフ(実行委員会)が何年間もほとんど同じ人がなっているが、特に委員長は6年以上だと聴く、新しいメンバーで再生してはどうか!!

●充実した内容や文化の情報発信に力を入れて欲しい(14件)

幅広くやるのも良いですが、現状で十分。内容の充実や文化の情報発信に力を入れて欲しい。

若い人を指導したいので、学校に呼びかけて欲しい。(文部科学省の音楽に、和洋音楽を取り入れるようになっていく)

活動状況をホームページに投稿できるようにする。

練習場所の確保が難しい状況にあります。とりわけ春・秋の発表会シーズンには、かなりタイトとなります。活動場所の拡充を是非お願いいたします。西東京市から文化の風を発信する方針であれば、近隣の市との合同の市民イベント等を企画し、市民の関心を高めると共に、文化活動の質の向上への協力と推進をお願い致します。昨年夏、保谷こもれびホール主催の音楽を通じた国際交流ワークショップに参加しましたが、そうしたイベントをもっと増やし、市民参加型の活動を充実していただきたいと考えます。

稀少なグループ活動を行っている団体を広く知らしめるため、市主催の文化行事への参加呼びかけがあれば参加したいと思っているグループはあるのではないかと。

高齢者が増えましたが、若い人たちにも多数参加できるよう、PR、又は情報を伝えて欲しい。

これから60歳以上の人口が増えることとなり、色々な活動を推進するための生涯学習センター(名称として入りやすい)の様な、ちょっとのぞけるような活動の場を作ると良いと思います。スポーツとか文化とかついていると、自分のやりたいことが決まっていなくて入りにくい。

PRするパンフレットなどが文字ばかりでイメージが湧かない人もいるのではないのでしょうか?写真などを入れて、視覚に訴えらるとうち少し関係の無い人にも興味を持ってもらえるのではないのでしょうか。

創造的思考の育成を重視したプログラムを考え、実施して欲しいと存じます。

文化芸術活動と情報は真の中心地となる文化施設、美術館等が緑豊かな広い公園内にできれば、大変魅力的な市になると思います。

日ごろの活動を是非見学に来ていただきたい。何曜日の何時にどこで活動しているかの表を作成して、市民に保存版として配って欲しい。

①問10に関して:総花的にならないよう、きっちりと目標を定めて立案、実施する②西東京市民文化祭の充実。

異文化交流会の実施、音楽史あとのステージ装飾を生け花で演出するなど、コラボ希望の情報ネットワークを推進する。

コンサートホールだけでなく、喫茶店、レストランなどで開催される文化的イベントなどの情報発信を総合的な広報できる場を設ける。たとえばHPの文化芸術進行サイトの一部などにリンクさせた市民のひろばのようなところ・・・

●活動しやすい環境を整えて欲しい(14 件)

練習場所の確保が難しい状況にあります。とりわけ春・秋の発表会シーズンには、かなりタイトとなります。活動場所の拡充を是非お願いいたします。西東京から文化の風を発信する方針であれば、近隣の市との合同の市民イベント等を企画し、市民の関心を高めると共に、文化活動の質の向上への協力と推進をお願い致します。昨年夏、保谷こもれびホール主催の音楽を通した国際交流ワークショップに参加しましたが、そうしたイベントをもっと増やし、市民参加型の活動を充実していただきたいと考えます。
音が自由に出せる広い場所が欲しいと思います。公民館も集会所も狭い部屋ばかりで多人数が集まる場所がありません。市民公会堂の舞台も狭く、広い舞台も欲しいです。
・西東京市は、文化のレベルが高く、活動団体も多いです。施設面での充実(夜間空いている施設の貸し出し等、ルピナス2F 研究室)を図るなど、活動しやすい環境を整えて欲しい。・子どもが多くいる団体だと、何をやっても迷惑がられることが多い。(特に中高生)この街の若者達の居場所を作るためにも、叱るところは叱り、若者、年配者、子ども達が共存していくような接し方を施設の担当の方にもお願いしたい。
ダンスには鏡と床がフローリングであって欲しい。上記2つ、特に鏡が少なく、活動場所が少ないことが残念です。今年の西東京市民祭にストリートが無いこと、残念に思います。人の集まるお祭です。発表の場として是非次回はお願いしたいです。当日の飛び入りなどもあれば・・・。
無料で使用可能な施設と鏡の設備のある場所を希望。
当会は月に4回、年 48 回と発表会を2～3 回(1 回・一週間)を 20 年以上続けていますが、毎回会場の確保が困難であること、全員年齢が高齢者が多く、使用時間が夜間であり、道具類の携帯もあって、全員相互が車に乗りあって行くが、駐車場が狭く、毎回駐車確保に苦労している。また、年一回コール田無2階展示室を使用するが、移動衝立を使用して会場設営するが、縦型の重い衝立は、接続部分が故障しているものが多く、全員が高齢者で女性が多いため、毎回作業は困難を極めている。他の団体サークルも同様であろう。施設の不良箇所の早急な改善・整備を希望します。各団体・サークル活動においても、会場確保が困難な状況が続いている現状から、公民館以外の公共施設の利用が可能になるよう希望します。既存施設の些細な点の改善整備によって、市民の文化芸術活動は、より充実されるものと思います。文化芸術振興を考える上で、派手なイベント行事意向は、一見文化活動が盛んなように思われますが、市民に根付いた地道な活動にこそ支援あるべきと愚行します。
20 年来絵画(於田無公民館実習室)での自主サークルとして指導者及び会員の努力でカスカスのところで運営しています。ところが近年、新会員の入会が非常に難しく、財源にも苦慮している状態が続いている。せめて明るい工作室等の設備が完備されたらそれに誘われて絵を描きたいと思う方も多いのでは…。私達もそれを切に望んでいます。
これから老人達が生きがいを持って、楽しく過ごせる場所として、施設を充実していただきたいと思います。
・絵画や書などを展示するスペースを備えた広い壁面の設置(できれば駅近くが望ましい)・毎年、西東京市の名をアピールするような(元気になるような)内容の文化特別事業の企画・展開、文化事業を公募しての支援。ただ、有名な人を招くのでは効果なし。内容が問題。それも西東京市の名をできれば全国にアピールできる内容が良いと思います。・西東京市在住の全美術家や書道家等の名前の把握。
陶芸サークルを公民館で行っています。物、用品の置き場、乾燥室がもっとあれば(整理されれば)より良い活動が出来ると思います。

①学校校庭の使用をもう少し柔軟にして欲しい。(一団体独占など)②校庭使用時間を季節に合うような工夫が欲しい。(日没が早くなる時等)③サッカーのゴール、ゴールネットの予算が確保されていない気がする。(安全面も)④市外チーム使用が多くなって、市内チームが圧迫されている。⑤団体開放中、一般の者が「片隅ならいいだろう」などクレームあり(徹底策を)⑥学校で大会や多数の車が駐車するスペースの確保を望む。
子ども劇場の事務所は、少ない会費の中から民間アパートを借りて、会員の交代常駐等で行っている。保谷こもれびホールの施設の中に、芸術文化活動団体の事務局を置いてもらえるスペースを作って欲しい。また、多くの劇団や芸能団体との交流の場、打ち合わせの場としても使用できるもの(施設)があれば良いと思う。芸術劇場には、民間コーラスサークルの事務所アリ。近隣都市も例がある。
企業や団体との連携を積極的に進めて欲しい。市民が使えるスペースを増やして欲しい。
活動場所のアクセスが良いところ。

●施設・部屋の確保が困難(7件)

・少ない人数で大施設を占領するサークルがあるので、要注意・施設のくじ引きに負けるので確保が困難です。
練習場所の確保が難しい状況にあります。とりわけ春・秋の発表会シーズンには、かなりタイトとなります。活動場所の拡充を是非お願いいたします。西東京から文化の風を発信する方針であれば、近隣の市との合同の市民イベント等を企画し、市民の関心を高めると共に、文化活動の質の向上への協力と推進をお願い致します。昨年夏、保谷こもれびホール主催の音楽を通した国際交流ワークショップに参加しましたが、そうしたイベントをもっと増やし、市民参加型の活動を充実していただきたいと考えます。
公民館や地区会館の部屋取りは、どこも大変なようです。西東京市もマンションを始め、住民が急速に増えつつありますので、都営住宅の集会室やマンションなどの集会室など、生活の一部を共有する場所を安く開放していただけたらと思います。そこで年1回の発表の場でも設けられたら、住民の文化面に対する意識も高くなり、高齢者の生きがいも身近に生かされるのではないのでしょうか。管理の面や維持費の問題もあると思いますが、習い事をするには雨の日、風の日、交通の便などを考えても近くて安価か無料で使用できる場所が一番だと思います。
活動場所が取りにくい。
・我が会は、個人芸を主体としております。又、会員も現役、勤労者3人、退職(定年)者2人で構成されています。3人以上揃って練習、会合を持つのは月2回、日曜日の夜間となり、個人的な練習は家庭内では制約もあり、公民館は3人以上揃わないと貸し出しが許可されません。練習場所の確保に困っています。公民館の貸し出し条件の3人以下は貸し出さないというのを撤廃して欲しいことをお願い致します。・西東京市民文化祭、各公民館行事、会館行事の統一、時期、計画、内容、バランスの再編成。
場所が取りにくい。
小学生～高校生まで在籍している団体です。 在籍者の人数も多いこともあり、発表会の練習場所の確保、食事をする場所の確保が非常に難しいです。

●会場の費用を安くして欲しい(無料を含む)(7件)

定年を過ぎた男性の入会、参加が少ない。発表会会場の費用を安くしてもらいたい。
--

無料で使用できる場所を増やして欲しい。
無料で使用可能な施設と鏡の設備のある場所を希望。
①市役所の方に問い合わせましたが、小学生に将棋を教えていただける団体は(ボランティアに近い方で)、現在、わがサークル以外に知らない(西東京市内)そうです。先生方はボランティアで教えに来ていただいているので、1人の先生に負担をかけるのは申し訳なく思っています。是非、複数の先生方に教えていただけるよう、市の方の協力を得て、長く先生方に教えてもらえる体制を考えて欲しいです。プロの指導者を招くのは金額が高値で無理なため、例えば市がシルバー人材センターさんから指導してくださる人を育成して、市で費用も負担してもらえとか。②その一つとして、市主催の子ども(小学生くらい〜)対象の将棋・囲碁大会を年に数回実施して欲しいです。それをきっかけに指導する先生方の助けや育成、子ども達の意欲向上、楽しみの機会を増やし、伝統文化を広げるきっかけ作りにして欲しいです。身近な場所で無料に近い金額なら、気軽に大会参加できそうで、目標や励みになる。広報等で募集を見れば、それをきっかけに将棋・囲碁人口が子ども・大人も増えるかも。
行政から支援を頂いている団体は活動しやすいですが、小さな団体で支援等を頂いていない団体にも配慮を預かれればありがたいです。活動の場所の確保も大変で、大会等もなかなか出来ません。出来れば費用の面の免除等(例えばスポーツセンター等)も少額で借りることが出来れば各団体も活動が活発に出来、西東京市の芸術文化、スポーツがますます発展すると思います。
保谷こもれびホールを使って、市内の文化団体が会を持つために、一定の基準を設けて、市民が借りやすい安い値段にはできないのか？又、子ども達が文化に触れる機会を広げていくためには、小・中学校とも連携して、何か企画を考えることはできないのか？「こども文化day」のようなものを開催し、子どもが気軽に体験できるような企画を考えて欲しい。
費用の面で文化活動のできる場所が欲しい。場所、使用料を無料にして欲しい。

●交流の場を設けたい(6件)

駅前公民館はドラム等もあるので、総合的な音楽発表会を行って、お互い交流したいと思います。
同趣味の横のつながり(市内の)を持ち、レベルアップとコミュニケーションができればと思います。
・お互いの団体の交流を図る。発表の場の確保、年度計画を明確に。・文化の質の向上を図る-良き指導者、市民の自覚・活動のための資金の援助。
西東京市在住の外国人に日本文化を伝える場を設けたらどうか。
私達は直接文化芸術振興には携わっていませんが、子どもと一緒に遊ぶことを通じて、子どもが自分で考え、楽しむ、そして地域の大人やその他その場所で初めて知り合った異年齢の子ども達とのかかわりをどう持てるかを学んでいく場になれば…と思って活動しています。谷戸いちょう公園で遊ぶ小さな子ども達やその親御さんたちは増えているのですが、個人でただ楽しむのではなく、何かつながりが持てたり、自分の子どもだけではなく、皆が楽しめるようなことができれば(勉強会など)良いかと思います。

文化芸術振興会や、西東京市民文化祭、西東京子どもフェスティバルなど、多くの文化団体が集うイベントが西東京市には多数あります。その中で、ダンスとブラスバンドのコラボレーションや、お茶と音楽の融合など、文化交流が生まれつつあります。また小学校や福祉施設との交流も多くあります。芸術文化の「交流」の活性化によって、各団体の更なるファン獲得の機会を創出し、また市民が自分の関係する分野以外の芸術文化にも目を向ける事が多くなります。加えて例えば合同企画の打合せの中で団体同士の運営方法などの情報交換が図られ、より有効な文化施設の利用方法や内部課題の解決方法が得られます。こういった一連の効果は、西東京市の文化レベルの底上げに必ず繋がります。文化団体同士の交流企画や合同ステージの斡旋を実施し、市民及び文化団体の交流を活性化させる具体案を是非お伝えしたいです。

●西東京出身の文化人と関わりを持ちたい（5件）

西東京市在住(出身)の文化人(作家、音楽家など)が沢山いらっしゃると思うので、それらの方を囲む会などがあつたらいいなと思います。(以前、世田谷文学館で詩人の谷川俊太郎さんを囲む会があり、1Fのフラットなスペースで、谷川さんのご自身の詩の朗読やフリーディスカッションがあつて、とてもフレンドリーでなかったの。)

西東京に埋もれている様々な分野の作家を発見し、子ども達や詩の文化のために上手く利用？して欲しい。

・市内に芸術家・演奏家他文化に携わる者は結構いるので、文化面の人材バンクを作り、市内小中学校へ、そこから低料金で文化紹介の活動に派遣し保護者・地域の人にも参観可能にする。・保谷こもれびホールでも定期的に子供向けの演奏会をその人材バンクを使って企画し、学校単位で子ども達に鑑賞する。必要なら、鑑賞前にはその学校で人材バンクから出張して、事前学習を行う。

市在住の文化芸術のプロを活用して、文化芸術の行事を行い、市民の文化への啓発に供する。

・西東京市の伝統芸能を子ども達に広める・西東京市の著名な芸術家と連携した事業の実施。

●文化活動が盛ん（5件）

他地域に比べ、文化活動が盛んと聞いています。

市、商工会、商店会、文化団体等、各々の特色、個性、持ち味を活かし、何が出来かを持ち寄って検討し、新しい活動(文化活動による街おこし)を生み出したいと思っている。

自主運営、自主参加の意識が強い市民が多く、すそのの広い活動が多いと感じている。

6箇所福祉会館等では多くの活動がなされていると思います。子ども達にまで底辺を広げ、専門家による指導などもお願いしたい。

この市は、市民の自主的な文化活動が、非常に活発なので、その方々の意見をよくきいて、振興策を作成してください。

●道具を揃えて欲しい(4件)

アスターセンターコートに常設のキーボードを置いてほしい。

公民館にパーカッションの小物など少し借りられるものがあればと思います。

アスターセンターコートで市民グループがいろいろミニ発表会をしています。マイク、スピーカーの他にキーボードを備品として揃えて欲しいです。(会場まで車で運ぶのに苦労しています)

公民館や図書館にあるパソコンの常設ではなく、パソコン学習時のみ、回線が借りられると良いのではと思います。プロバイダー料金のみかかるだけだから。(パソコンは、利用者の持込で)「パソコンクラブ」は、まだ始まってから4ヶ月の学習会ですが、「メールの出し方」の学習がスムーズにできなくて困っています。中年の集まりですが、これからは、若い人ばかりでなく、中年も気軽にパソコンに親しめるような、そんな環境があると良いと思います。

●財源（補助）が欲しい（3件）

1.活動場所が欲しいです 2.財源が欲しいです。

・お互いの団体の交流を図る。発表の場の確保、年度計画を明確に。・文化の質の向上を図る-良き指導者、市民の自覚・活動のための資金の援助。

①市役所の方に問い合わせましたが、小学生に将棋を教えていただける団体は(ボランティアに近い方で)、現在、わがサークル以外に知らない(西東京市内)そうです。先生方はボランティアで教えに来ていただいているので、1人の先生に負担をかけるのは申し訳なく思っています。是非、複数の先生方に教えていただけるよう、市の方の協力を得て、長く先生方に教えてもらえる体制を考えて欲しいです。プロの指導者を招くのは金額が高値で無理なため、例えば市がシルバー人材センターさんから指導してくださる人を育成して、市で費用も負担してもらえとか。②その一つとして、市主催の子ども(小学生くらい〜)大正の将棋・囲碁大会を年に数回実施して欲しいです。それをきっかけに指導する先生方の助けや育成、子ども達の意欲向上、楽しみの機会を増やし、伝統文化を広げるきっかけ作りにして欲しいです。身近な場所で無料に近い金額なら、気軽に大会参加できそうで、目標や励みになる。広報等で募集を見れば、それをきっかけに将棋・囲碁人口が子ども・大人も増えるかも。

●子供向けのイベントがあると良い（3件）

私達のサークルが中心となって、人形劇フェスタを立ち上げ、今年5回目を迎えることが出来ました。公民館も共催していただき、感謝しています。西東京市らしいということではなく、この西東京市にプロの人形劇のブークのアトリエがあり、アニメの会社のエクラアニマル他もあり、プロ・アマのサークルが一緒になり、子ども達に豊かな心を持って欲しいと願って立ち上げました。同じ志を持った市民のサークル同志も交流することが出来ています。

公民館単位などではなく、全市的な発表の場があると良いと思う。ただ、どこへ行くのにもアクセスが悪いので、臨時バスなど出して欲しい。私達は、子どもへの読み聞かせをしているので、子供向けワークショップなどのイベントがあったら楽しいと思います。例えば、子どもが花を生ける、自分でお茶を立てていただくなど。

市民の願いを受けてできた保谷保谷こもればホールが市の直営でなく、指定管理になっているのは残念に思います。市民のための企画や運営を市の方針として働きかけて欲しいと思います。子どものための舞台作品の質の高いものを定期的にホールで企画して欲しいと願っています。市民団体に対する支援として、公民館市民企画のような形の事業を保谷こもればホールを使ってできないでしょうか。

●その他（20件）

会員の募集に市広報紙を利用していますが、希望者が少なく、活発な活動も思いつかない状況です。

いつもお世話になり、ありがとうございます。

いつも東伏見コミュニティセンターには大変お世話になっています。これだけ音楽機材の揃っている施設が身近にあることは、大変ありがたいことです。
気持ちよく練習することができました。ありがとうございました。
リズムオブインフィニティのように、ミュージカルを中心に活動しているサークルは、とても珍しいので「西東京らしい文化芸術振興」を進める上で、他の地域とは違った特色を出せると思います。(リズムオブインフィニティは、kids Musical Factoryの高校生以上のサークルです！)
私はもう活動できる年月はあとわずかですが、若者がわが故郷と胸を張り、愛着の持てる文化を育てるための努力をお願いします。
老人会の一人一人はいきがい目標に、常に仲良く元気で歌っております。文化芸術とは程遠いものですが、少しでも地域友好のためになればと思い、前向きにやっております。
西東京市老人クラブ連合会 ときわ会、健康部会、健康部:部員 26 名、目的:健康増進、毎月 2 回、第一日曜日午前中 輪投げのみ、第三日曜日午前中 輪投げと棒体操。下宿地区会館事務員の明るさ、親切なので、会員一同気分良く利用しています。
・今後、ますます高齢化が進みます。ご高齢の方々に気軽に楽しんでもいただける伝統芸能の提供などが強化されれば良いと思います。・一方で、市に在住していながら、日常なかなか地域には出てこない現役世代が有している文化・芸術分野の能力、技能の発掘や参加を促す施策が望まれます(抽象論でスミマセン)
老人の文化活動に理解とご協力を…
別にアイデアは浮かびません。
本アンケートは、老人クラブ銀寿会に送られたものですが、現在、銀寿会には特段、文化活動グループがありませんので、本趣旨により、9 月 22 日の敬老会で謡曲グループの推奨をしたいところです。つきましては、24 日午前中に御課の女性の方にお話しました田無謡曲グループで感じたことをアンケートの回答としました。
西東京らしさ…と言ったら、第一に浮かぶのは非核平和に取り組んでいる街！と言われるような活動が文化面でもできたら良いなあと思います。平和じゃないと絵も音楽も映画もできないし、生活に追われていては、それらに参加する余裕もないですから。
市内の学校施設を音楽練習会場として、市民に開放できるように働きかけて欲しい。
陶芸の普及活動。
日本の伝統文化を伝えることの重要性をしっかりと考え直していただきたいと思います。
文化芸術に親しめる心の余裕と社会環境(生活のゆとり)があれば、自然に活発化するかも。無知なので、西東京らしいのらしさが理解できておりません。高齢化の社会、健全な年配の方々の智恵、知識、技能を若年層への橋渡しかな？
エアコンの温度について、運動する団体については設定温度を 1 度下げてもらえると助かる。
活動に関する電話相談できる窓口があるとありがたいのですが。
文化施設以外でも練習などに使わせてもらいたいです。

西東京市 文化芸術振興計画策定のための 活動団体アンケート

日頃より、西東京市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

西東京市では、平成 22 年 4 月に「西東京市文化芸術振興条例」を定め、市民が文化芸術に親しみ、心豊かに暮らせるまちをめざしております。

現在、西東京市の文化芸術を計画的に推進していくために、『(仮称)西東京市文化芸術振興計画』の策定を進めております。そこで、市内で文化芸術に関する活動を行っている 市民・団体の皆様の文化行政に対する率直なお考えやご意見をお伺いすることにより、本計画を策定するうえでの基礎資料として活用していきたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本調査後、いくつかの活動団体の皆様からさらに詳細を伺いたく、活動団体ヒアリングの実施を予定しております。ご協力をいただける場合は、団体名および代表者の方の連絡先を下の記入欄にご記入ください。

調査結果は統計的に処理し、この調査目的以外に使用することはありません。

平成 22 年 9 月

西東京市長 坂口 光治

◎この調査について、ご不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせください。

西東京市 生活文化スポーツ部 文化振興課 文化振興係

〒202-8555 西東京市中町 1-5-1

電話番号 042-438-4040 (直通) FAX 番号 042-438-2021

E-mail bunka@city.nishitokyo.lg.jp

ご記入にあたってのお願い

1. ご記入は、濃い鉛筆またはボールペンでお願いいたします。
2. お答えの際は、あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答のものもございます)
3. () 内には適宜ご記入ください。

ご記入いただきました調査票は、**9月30日(木)までにアンケートBOX**にご投函ください。

○活動団体ヒアリングにご協力頂ける場合は、こちらにご記入下さい。

団体名 ()

代表者 ()

連絡先 ()

※団体ヒアリングに御協力いただく場合はこちらから御連絡いたします。

西東京市文化芸術に関する 活動団体アンケート調査

1 団体のことについておうかがいします。

問1 団体の活動分野は何ですか。(あてはまるものに○印)

	当てはまるものに○
1. 音楽(クラシック音楽・ポピュラー音楽・歌謡曲・オペラ・邦楽・童謡・楽器演奏・合唱・民謡・作詞・作曲など)	
2. 演劇・演芸 (現代演劇・人形劇・ミュージカル・落語・浪曲・漫才・漫談など)	
3. 舞踊 (日本舞踊・バレエ・モダンダンス・民俗舞踊・社交ダンスなど)	
4. 美術 (絵画・イラスト・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など)	
5. 文芸(小説・児童文学・詩・短歌・俳句・評論・川柳・現代文学・古典文学・随筆など)	
6. 映画 (映画・ビデオ・アニメなど)	
7. 生活文化 (生け花・茶道・書道・ファッション・手芸・盆栽・園芸・囲碁など)	
8. 伝統芸能 (歌舞伎・文楽・能・狂言など)	
9. その他 ()	

問2 主な活動の場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 保谷こもれびホール
2. 西東京市民会館
3. コール田無
4. 公民館 ()
5. 学校教育施設 ()
6. スポーツ施設 ()
7. きらっと
8. 福祉施設 ()
9. 集会所 ()
10. 地区会館 ()
11. コミュニティ施設(ふれあいセンター・東伏見コミュニティセンター)
12. アスタ市民ホール
13. その他 ()

問3 活動はどのくらいの頻度で実施していますか。

- 1. 週に数回
- 2. 月に数回
- 3. 年に数回
- 4. イベントがあれば
- 5. そのほか

問4 活動の時間帯はいつですか。

- 1. 平日午前
- 2. 平日午後
- 3. 平日夜間
- 4. 休日午前
- 5. 休日午後
- 6. 休日夜間

問5 活動メンバーは何人くらい所属されていますか。

- 1. 10人未満
- 2. 10人～29人
- 3. 30人～49人
- 4. 50人以上

問6 メンバー構成のうち西東京市民（在学・在勤含む）の割合はどのくらいですか。

- 1. 市民の割合はおよそ2割以下（～20%）
- 2. 市民の割合はおよそ半分程度（50%程度）
- 3. 市民の割合はおよそ7割以上（70%～）
- 4. 市民以外で構成している（0%）

問7 メンバーのおおよその平均年齢はどのような状況ですか。

- 1. 10代
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代 以上

問8 活動の成果をどういう形で発表していますか？

- 1. 自主的に発表会を実施している（頻度： ____ 年に計 ____ 回）
- 2. 西東京市民文化祭に参加している
- 3. 西東京市民まつりに参加している
- 4. その他（ ____ ）
- 5. 実施していない

2 活動における課題や問題点についておうかがいします。

問9 日頃の活動の課題や問題点は何ですか。(あてはまるものに○印)

- | | |
|------------------|------------|
| 1.費用面・財源 | 6. 専門家・指導者 |
| 2.新規会員の募集・育成 | 7. 特に問題はない |
| 3.活動場所 | 8. その他 |
| 4.一般市民への活動の周知・PR | () |
| 5.他市民活動団体間の連携 | |

問10 団体の文化芸術活動をもっと活発にするために、西東京市がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|-----------------------------|
| 1.質の高い芸術や伝統芸能などへの支援 |
| 2.音楽祭、演劇祭、映画祭、美術展など文化的行事の開催 |
| 3.文化芸術を支える人材の育成 |
| 4.子どもたちの文化芸術体験の充実 |
| 5.文化施設の整備・充実 |
| 6.文化活動に関する相談窓口 |
| 7.文化に関する情報発信 |
| 8.国際文化交流の推進 |
| 9.その他 () |
| 10.特になし |

3 自由回答

問11 西東京市らしい文化芸術振興を進める上での取り組みやご意見、アイデアなどがありましたら自由にお書き下さい。

～ご協力ありがとうございました～

活動団体ヒアリング 結果

実際に市内で文化芸術に関する活動を行っている市民・団体の現状や意向を把握するため、活動団体の意向調査を行い、その中から何組かについてグループヒアリングを実施しました。

1. 調査の方法

- ◆対象：①市内公共施設を使用している市民団体（不特定多数）
②第10回西東京市民文化祭に参加している市民団体（200 団体）
- ◆調査方法：別紙のヒアリングシートを配布して、記入していただいた。
その内の 11 団体を選定して、団体の代表などにご参加いただき、記入内容に基づき、より詳しい内容（活動上の問題点・課題、西東京市の文化芸術振興に必要な施策、行政との協働に向けた取組など）についてヒアリングを行った。
- ◆ ヒアリング日時：平成 22 年 10 月 13 日および 23 日 10 時～12 時 30 分

2. ヒアリングの結果まとめ

- 団体 A（そのほか）
 - ・ 不況で芸術や舞台に触れる機会が減っている子どもも少なくない。表現するだけでなく、鑑賞の機会を創り、日常的に感動の場があるとよいと思う。
 - ・ 会費制でやっている。チケットを買って見に来る賛助会員は増えるが、運営まで関わる会員は増えないのが課題となっている。
 - ・ 発表会の時期が重なることもあり、公民館がとりづらい。こもればホールは 1 年前に予約するが、半年前にキャンセルになった場合の追加募集などをしてくれるとありがたい。予約システムを改良して欲しい。
 - ・ 19,20,21 年度に東京都の事業で実施した「ふれあいこどもまつり」を今年度も 2 月に実施したい。
 - ・ こもればホールは指定管理者制度になり、自主事業が減っている。子ども向けのものもあまり無いので、共催させていただければと思う。
 - ・ 我が子が育って欲しいと思ったのが活動に参加するきっかけだったが、良くしていただいたことなどを地域に返したいと思って活動している。親子の居場所になればと思っている。
 - ・ 他の子たちと一緒に育っているのを見るのがやりがいになっている。また公演当日は苦労が吹き飛ぶ。
- 団体 B（美術）
 - ・ コール田無やきらっとなど有料の施設は市民も市外の人とも一律の使用料になっている。市民の割引が欲しい。
 - ・ 公民館は予約が多くてなかなか取りにくくなっている。空き教室などが使えると良い。
 - ・ 文化祭のパンフレットは沢山刷っていて余っているようだ。一方小さいフックのような備品を無くすと弁償費用を請求される。予算の使い方を工夫して欲しい。
 - ・ こもればの小ホールは壁を展示用にできなかったのか。多目的は結局中途半端になってしまう。新しく施設を創る際は中途半端にならないようお願いしたい。
 - ・ 油絵をつうじて、交流を図ったり、展覧会に行ったりしている。作品展に見に来る人も楽しみにしてくれているのがやりがいとなっている。

●団体 C（文芸）

- ・ 朝 15 分時間をもらって小学校で読み聞かせを行っている。また、読んで欲しい絵本をろうか文庫に置き、月 1 回入れ替えをしている。
- ・ 校長先生の方針によって、月 1 回のところがあれば、2～3 回実施している所もある。
- ・ 新一年生の親には子どもの様子を見れるメリットを説明して、会員を募集している。
- ・ 最近はシンデレラやイソップを知らない子どももいる。本の入口に立ってもらいたい。「おもしろかった」の一言がやりがいになっている。

●団体 D（映画）

- ・ 谷戸公民館の映画講座がきっかけで活動が始まった。映画を通じて地元で奉仕することを目的として活動している。上映会その他、自主制作映画の募集・コンペティションも行っている。
- ・ 賛助会員は増えているが、運営まで携わる正会員が増えない。
- ・ 地元企業に協賛を得ているが、慢性的な財源不足で、市の施設の利用料の減免を幅広くして欲しい。
- ・ 保谷こもれびホールの利用料は他市と比べて安いものの、抽選となっている。ニーズのあるものを優先して欲しい。
- ・ 市が実施する催しと重なる場合は、共同開催できれば良い。例えば平和映画上映会など。
- ・ 市報は原稿締め切りも早く、告知が十分行き渡らないので、自主的に機関紙を 9 万部刷っている。紙媒体だけでなくインターネットなども活用して、各団体が告知できるような西東京市文化報のようなものがあればよい。
- ・ 自分が感動した映画を良かったと思ってくれると嬉しいし、やりがいになる。地域で感動を共有したい。

●団体 E（生活文化）

- ・ 現代生け花を通じて、生活術の向上を図る活動をしている。花を買う人は多いが、生け方を知らない人が多い。公民館のロビーなどオープンスペースを使って、生けている過程も含めて見ていただく機会ができればよい。
- ・ 音楽に合わせて生けるショーアップなども考えている。
- ・ 市報に会員募集を呼びかけているが、全く反応がない。横浜市では事業仕分けの対象にもなっているようだ。興味のある人の所に届いていないのではないか。
- ・ 母親が花を生けていると子どもにとっても生活が豊かになる。夏休みなどは子どもも連れて活動にくるが、親の姿を見て子どもも興味を持つ。

●団体 F（音楽）

- ・ 地域に根ざした活動をモットーとしている。
- ・ 若いメンバーが多い一方で、楽器は数 10 万円するので、会員が増える一方楽器が足りない課題がある。
- ・ こもれびホールの予約がうまくいかない。主催行事が増えており、土日が埋まっている場合が多い。西東京市の登録団体は優先的に予約できるような制度が欲しい。
- ・ 観客にアンケートを記入してもらっているが、1 割ぐらひは市報を見て来てきている。市報は無くさないで、市民団体紹介のコーナーを設けて、団体のアピールポイントも含めて広報できると良い。現在の市報ではイベント告知だけで、限りがある。
- ・ お客さんの反応や、お客さんが増えるのがやりがいになっている。自分達だけでは限界があるが、他のダンスの団体などとコラボレーションすることで、他団体のファンを自分達のファンとして増やせることができる。音楽だけでなく、華道や書道などの団体ともコラボレーションしていきたい。
- ・ このような場で他団体の人の話を聞くのも刺激になる。

●団体 G（舞踊）

- ・ 保谷公民館の講座をきっかけに活動が始まった。素人でも呼んでいただければ、様々な場所で舞台を見せて、古典を知っていただきたいと思っている。
- ・ 公民館の予約が取りにくい。
- ・ 会員を広げたいが、仕事や生活で忙しい人が多い。
- ・ 高齢になってから始めたが、新しい世界があることが分かった。様々な人と交流もできる。好奇心を持つことは生きる上でパワーになる。自分が輝けば、家族も輝くと思う。

●団体 H（音楽）

- ・ こもれびホールでイングリッシュハンドベルのコンサートをお手伝いしたのがきっかけで活動が始まった。市の平和事業で演奏させてもらったりしている。天使のハーモニーともいわれており、平和のためのお手伝いができればと思う。
- ・ 練習はある程度人数が必要であり、協調性や責任感が養える。
- ・ ベルの数も限りがあるので、会員が増えればいいということでもない。
- ・ 生きていることそのものが文化だと思う。この町に一生住みたいと思うことも文化だと思う。

●団体 I（演劇・演芸）

- ・ こどもミュージカルワークショップが終了した後、継続してやりたい親子が集まり発足した。今では成人している子どももあり、小1から成人まで参加している。沢山の人数で創る楽しさを教えている。
- ・ 財源は不足しているおり、過去助成金を申請したこともあったが、採択されなかった。
- ・ 練習場所の確保が難しい。保谷小ではうるさいと言われ、明保中の利用を勧められた。また「きらっと」は音を出してはいけないようだ。
- ・ 空き教室の活用のため、運営協議会にも登録しているがなかなか難しい。西東京市の施設が利用できない場合は、東久留米の南部地域センターを利用しているが、夜間4時間で6000円と高い。
- ・ 公民館は以前話し合いによって利用時間が決まっていたが、抽選になった。
- ・ 芝久保公民館はピアノを弾いてはいけない時間帯もあるが、その公民館独自ルールが利用者に行き渡らないこともある。また、今年の夏は猛暑だったが、公民館によっては室内の設定温度を柔軟に変えてもらえないところもある。
- ・ 子どもは学校という狭い社会があるが、このような活動を通じて人間関係が広がる。親としてはそれを創ってあげたいという気持ちで活動を始めた。大所帯でトラブルもあるが、学校以外で自分がやりたいことを見つけて、自主性が養われると思う。また、親も子どもが成長した姿を見て刺激を受けることが、やりがいになっている。

●団体 J（音楽）

- ・ 最初は10人程度だったが、何度か募集して30人以上になっている。年齢層も幅広い。楽しく活動するのがポリシーである。歌を通して交流機会を創っている。
- ・ 公民館の予約が取りづらい。利用者懇談会でも議題として上がっている。小学校の空き教室が使えると良い。公民館、福祉会館、学校の縦割りを変えて柔軟に利用できるようになると良い。
- ・ ピアノがある練習場所は、ネットの画面上では探しにくい。
- ・ こもれびの音楽練習室、リハーサル室は6000円かかる。もう少し安い料金（1000円くらい）なら借りたいと思う。
- ・ 1人1人が合唱に楽しんでいるのがやりがいになっている。合唱は入りやすい。

●団体 K（伝統芸能）

- ・ 柳沢公民館の視聴覚室のカーペットをフローリングにするか、畳のある部屋がほしい。
- ・ 伝統芸能では中々活動する人が増えず、他の団体では後継者がいなくて会の縮小に困っていると聞く。そもそも、活動のきっかけは先生がいい人そうだからとか、親しい人がたまたまやっていたからなど、人材が中心になっていると思う。そういう人が豊富にいることが望ましいのではないか。
- ・ 若い人に向けた謡曲の公演を解説つきのわかりやすい内容で、提供してはどうか？
- ・ 舞台設備について、能楽堂や他施設を参考にして、研究してはどうか？

以 上

西東京市 文化芸術振興計画策定のための 子どもアンケート結果

平成 22 年 11 月

1. 調査の目的

市内の子どもたちの「文化・芸術」活動の状況を把握し、計画策定に反映させるため、アンケート調査を行いました。

2. 調査の方法

◆対象：①市内の学童クラブのうち8箇所に所属する計 343 人

	田無学童 クラブ	田無柳沢 学童クラ ブ	ひばりが 丘第一学 童クラブ	ひばりが 丘第二学 童クラブ	ひばりが 丘北学童 クラブ	新町学童 クラブ	中町学童 クラブ	けやき第 二学童ク ラブ	合計
参加人数	36	38	46	60	40	25	63	35	343

②市内の公立小学校のうち 3 校の 5 年生 1 クラスずつ計 102 人

学校名	票数	計
谷戸小学校	30	102
谷戸第二小学校	33	
柳沢小学校	39	

③市内の公立中学校のうち 3 校の 2 年生 1 クラスずつ計 99 人

学校名	票数	計
田無第一中学校	28	99
田無第三中学校	39	
青嵐中学校	32	

④市内の都立高校 3 校のうち 2 年生 1 クラスずつ計 110 人

学校名	票数	計
都立保谷高校	39	110
都立田無高校	40	
都立田無工業高校	31	

◆**実施方法：**

- ① 対象学童クラブに設問と選択肢が記載されている模造紙を配布し、該当する選択肢の欄にシールを貼ってもらい、シール投票された模造紙を回収。

とい 間3	音楽 おんがく 楽器演奏・歌 がくき えんそう など	演劇・舞台 えんげき ぶたい おしほい・人形劇・ ミュージカル・ 落語 など	踊り おど 日本舞踊・ バレエ・ダンス など	美術 びじゆつ 絵・工作 など	生活文化 けいふくぶんか いけばな・書道・ 手芸・将棋 など	日本の昔から にほんの むかし ある芸能 うた 舞 楽 ぎょうげん など 歌舞伎・狂言・能 など	その他 ほか	特 とく にない
つぎ 次のうち、 しょうがくこう はい 小学校に入っ てから、見たり き 聞いたりして たの 楽しんだものは なん 何ですか？								

とい 間4	テレビでみた。 てれびでみた。	い え 家にあったから。 か 借りた。	げきじょう 劇場や美術館、 えいげかん 映画館などに い 行った。	がっこう 学校以外の い 行事に 参加した。	おや 親や兄弟、 きょうだい ともだちに さそわれた。	けいたい 携帯電話や パソコンで。
それは、 どうやって み 見たり き 聞いたりして たの 楽しみ ましたか？						

参加人数
63 人

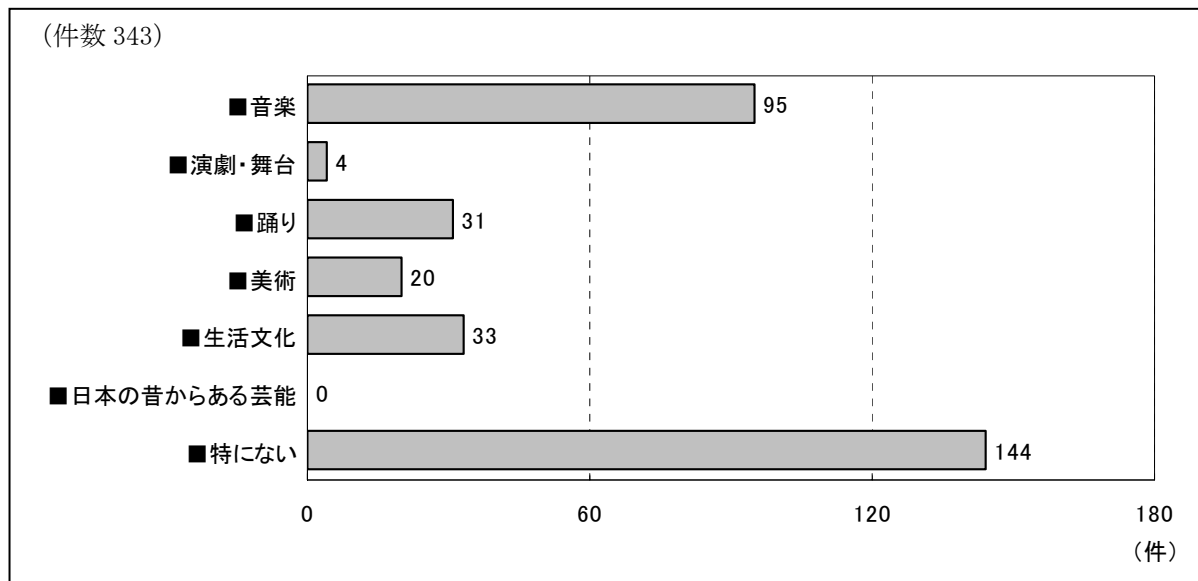
あてはまるこたえの わく に すきな色の ●シールをはってね。 (あてはまればいくつでも)

- ②、③、④ 各学校に配布し、記入後、回収。

3. 調査結果

(1) 学童クラブ（小学校低学年）

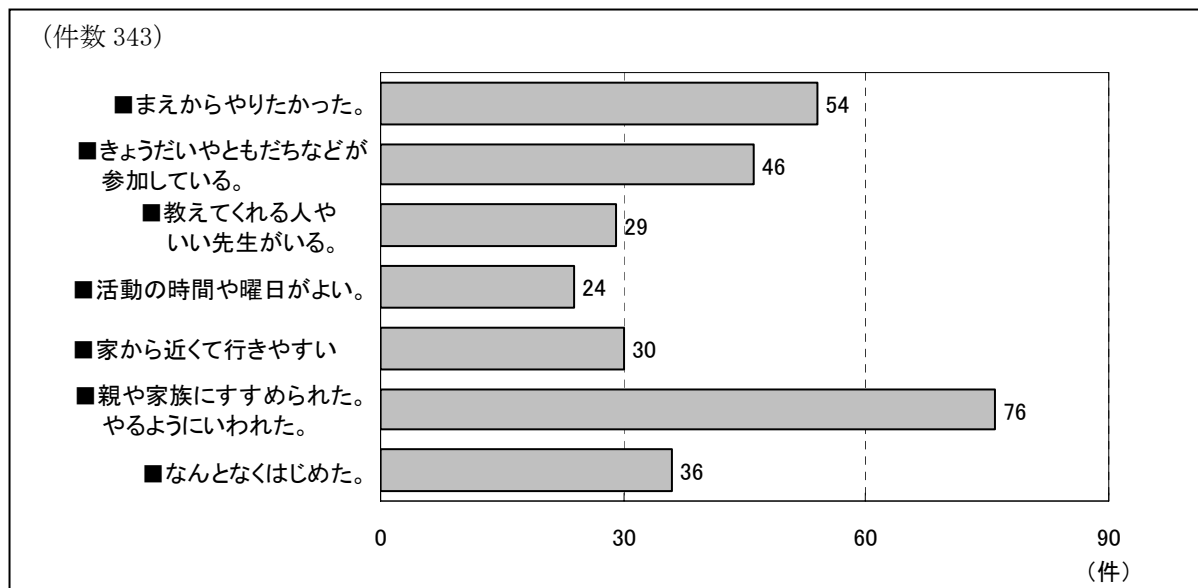
問1. 次のうち、今、参加しているものや習っているものがありますか？（複数回答）



「特にない」が 144 件と最も多く、全体の4割が文化・芸術に関する活動を行っていないことになる。

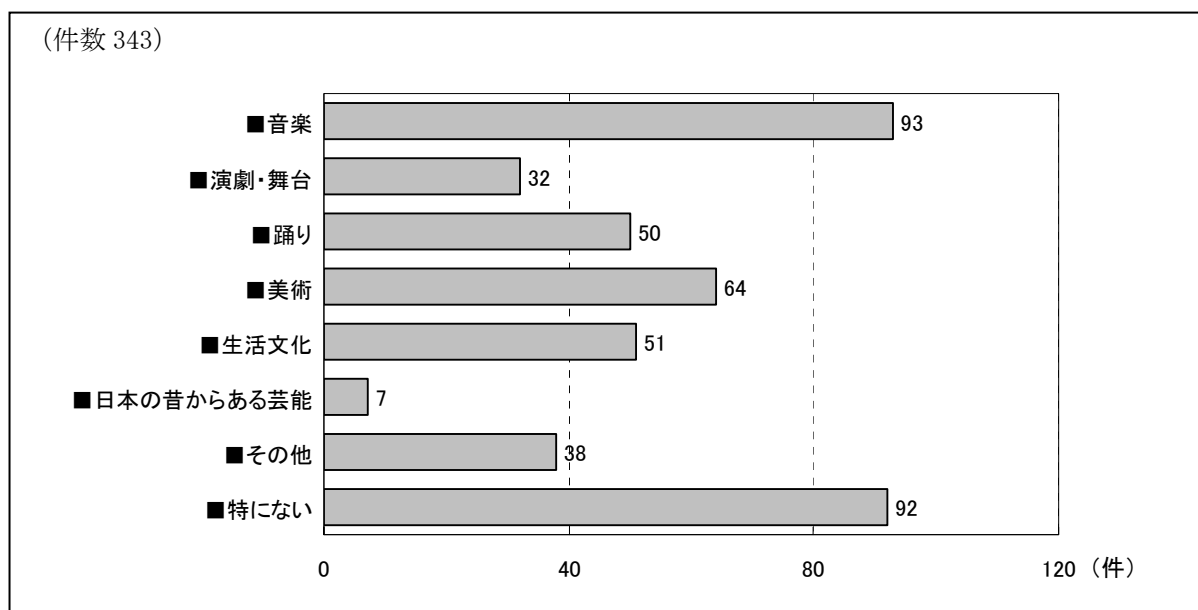
行っているものの中では、「音楽」が圧倒的に多く、全体の約3割が音楽関連の活動等を行っている。「日本の昔からある芸能」はゼロであった。

問2. 今、参加しているもの、習っているものは、どうしてはじめましたか。（複数回答）



はじめた理由としては、「親や家族にすすめられた。やるようにいわれた」が 76 件と最も多く、「まえからやりたかった」(54 件)、「きょうだいやともだちなどが参加している」(46 件)と続いている。

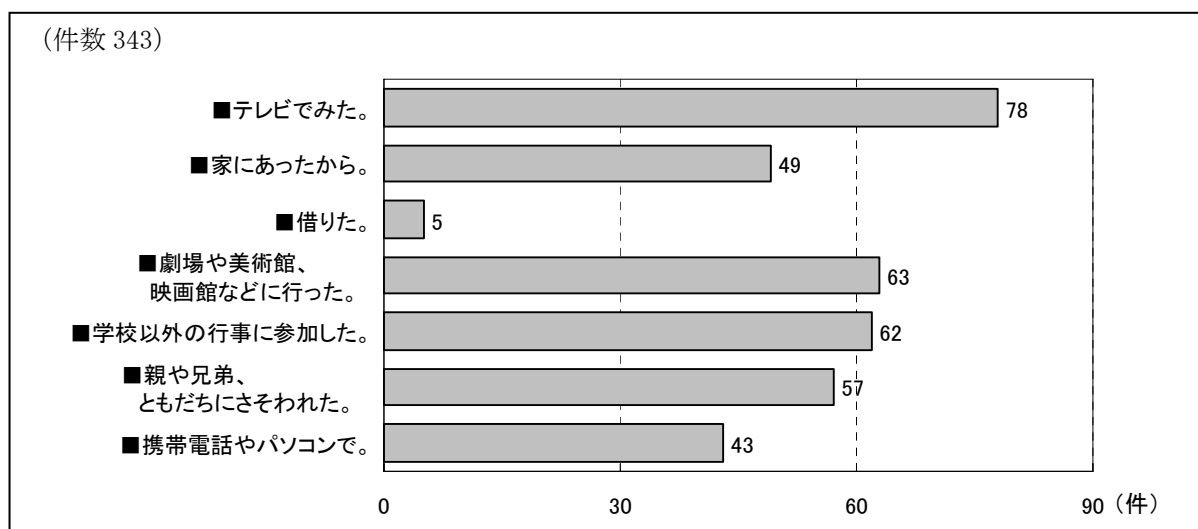
問3. 次のうち、小学校に入ってから、見たり聞いたりして楽しんだものは何ですか。
(複数回答)



「音楽」が93件と最も多く、「特にない」が92件で続いている。全体の約3割が「音楽」を楽しんでおり、同様に約3割が楽しんだものは「特にない」という結果になっている。「音楽」に続いては、「美術」(64件)、「生活文化」(51件)、「踊り」(50件)などとなっている。

(※本調査では、「その他」の内容を記載してもらっていないため、「その他」の中味は不明。)

問4. それは、どうやって見たり聞いたりして楽しみましたか。(複数回答)

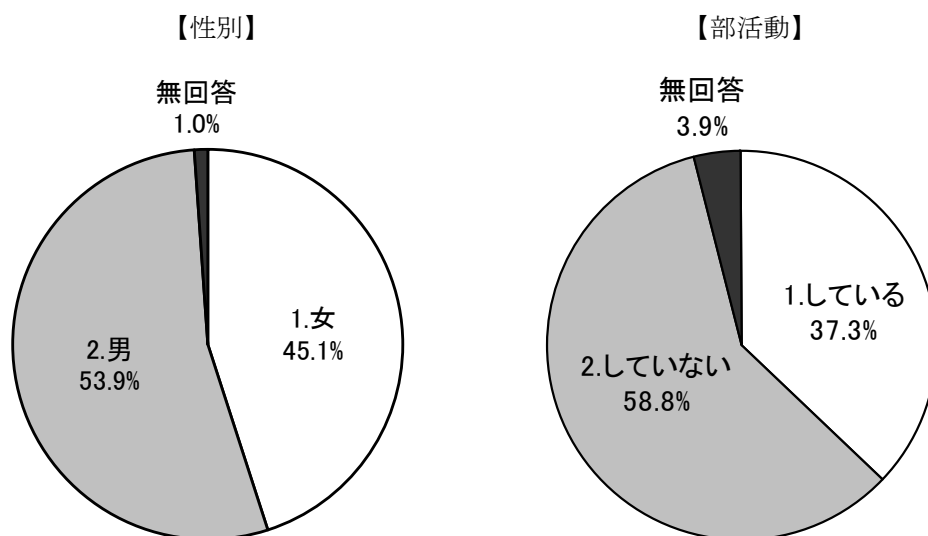


楽しんだ手段は、「テレビでみた」が78件と最も多く、「劇場や美術館、映画館などに行った」(63件)、「学校以外の行事に参加した」(62件)、「親や兄弟、ともだちにさそわれた」(57件)が続いている。

（２）小学５年生

◇あなた自身について教えてください。

(件数 102)



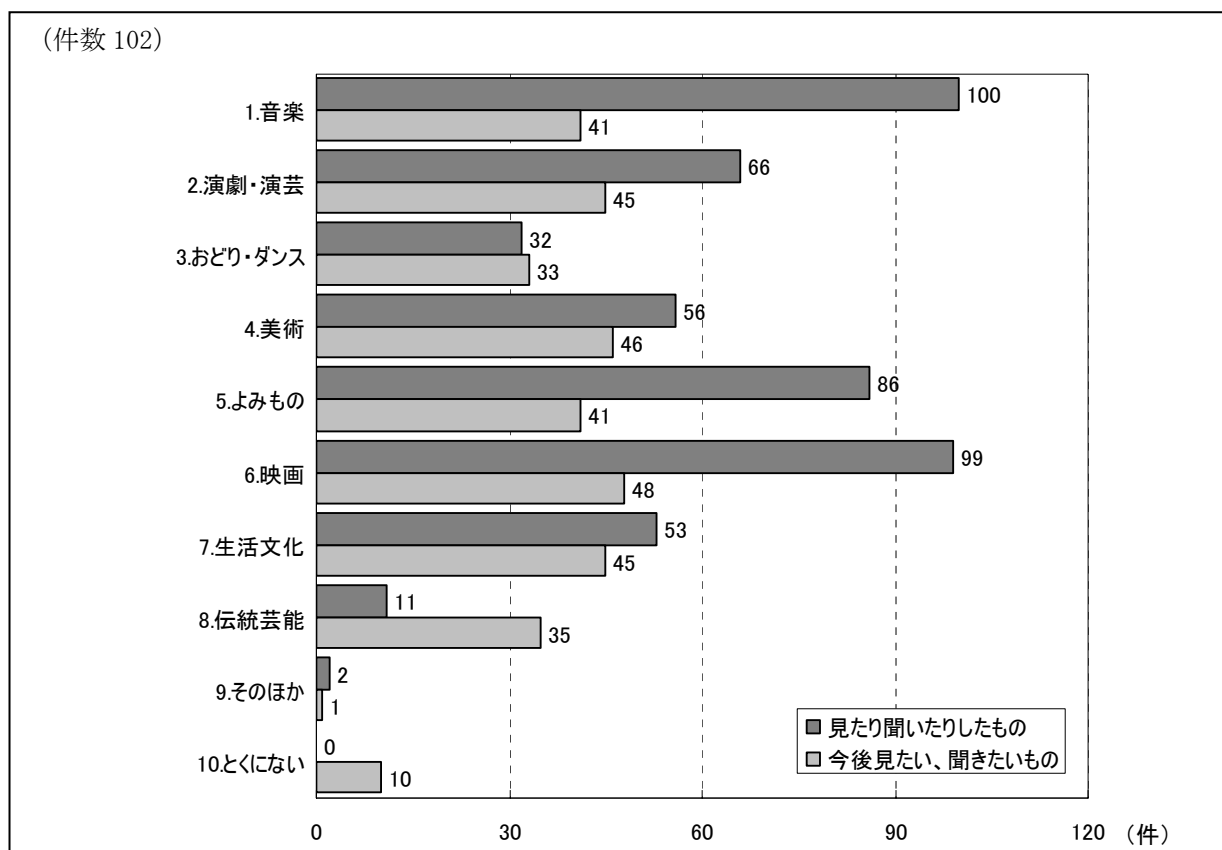
回答者の性別は、男子生徒が 53.9%と女性生徒をやや上回っている。

部活動の状況を見ると、約6割の生徒が「していない」となっており、「している」生徒は 37.3%であった。

部活動をしている生徒(60 人)の内訳は、以下のとおりである。

分野	部活名	件数	
運動部	野球	7	11
	サッカー	2	
	器械体操、ダンス	2	
文化部	家庭科	8	17
	図工	7	
	マンガ・イラスト	3	
	パソコン	3	
	ピタゴラスイッチ	4	
無回答		4	4

問1. あなたはこの1年間でどのような文化や芸術の公演や作品を鑑賞（見たり聞いたりして楽しむ）しましたか。また、あなたが今後、鑑賞したい文化や芸術の公演や作品は、どれですか。
（複数回答）



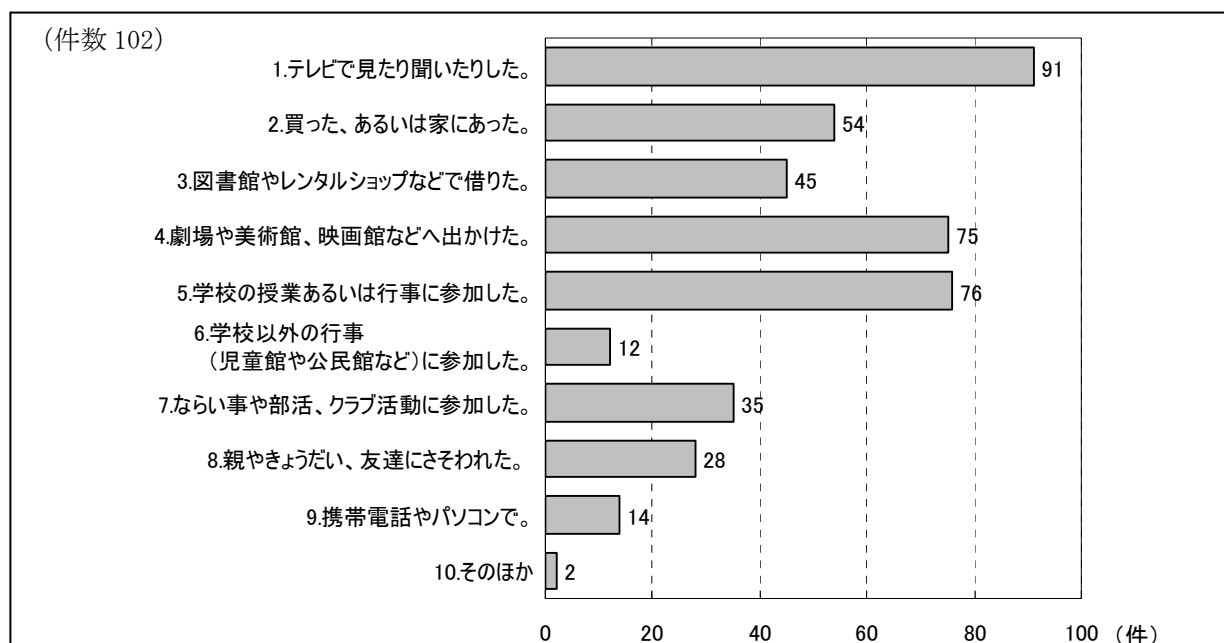
鑑賞した文化や芸術の公演や作品は、「音楽」が 100 件と最も多く、次いで「映画」(99 件)、「よみもの」(86 件)と続いている。

「その他」(2 件)は、「お祭り」と「サッカーの試合を見た」であった。

次に、同じ項目で、今後鑑賞したい文化や芸術の公演や作品をたずねたところ、こちらは「映画」が 48 件と最も多く、次いで「美術」(46 件)、「音楽」「よみもの」(各 41 件)であった。

両者の上位を見ると、どちらも「音楽／映画／美術」がベスト3となっているが、順位が異なっていることがわかる。

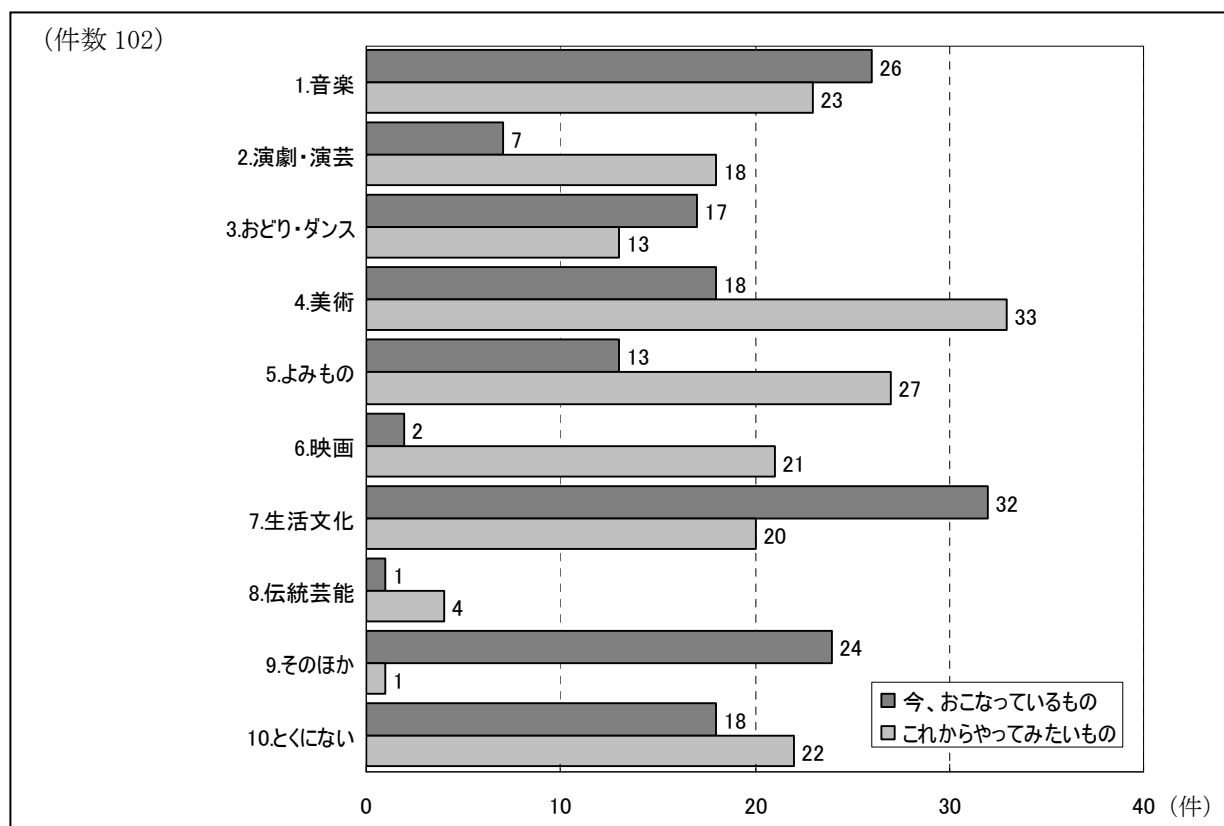
問2. どうやって鑑賞（見たり聞いたり読んだり）して楽しみましたか。（複数回答）



楽しんだ手段は、「テレビで見たり聞いたりした」が 91 件と最も多く、「学校の授業あるいは行事に参加した」（76 件）、「劇場や美術館、映画館などへ出かけた」（75 件）と続いている。

「その他」（2 件）の内訳は、「学校でくばられた手紙を見て」、「親せきといった」であった。

問3. あなたが今、おこなっている文化活動（部活やクラブ、習っているものもふくめます）はどれですか。また、あなたがやってみたいものはどれですか。（複数回答）



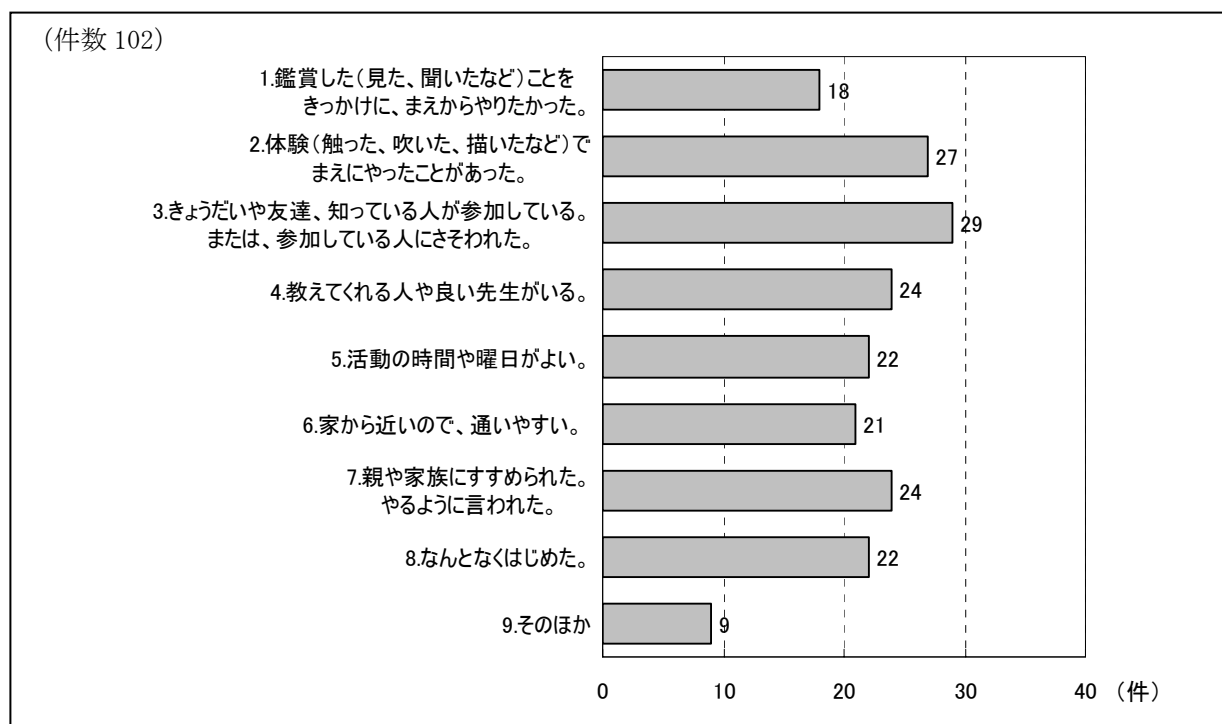
今、行っている文化活動は、「生活文化」が 32 件と最も多く、「音楽」（26 件）、「その他」（24 件）と続いている。

「そのほか」(24 件)の内訳は、次のとおりで、スポーツ関連が多くなっている。

分野	部活名	件数
スポーツ	水泳	4
	バトミントン	3
	サッカー	2
	野球	2
	バスケットボール	1
	卓球	1
	テニス	1
	新体操	1
	体操	1
	洋弓	1
	フィギュアスケート	1
		18
スポーツ 以外	英語	4
	塾	3
	そろばん	1
	習字	1
	理科	1
	さいほう	1
	習い事	1
		12

今後、やってみたいものは「美術」が 33 件と最も多く、「よみもの」(27 件)、「音楽」(23 件)と続いている。

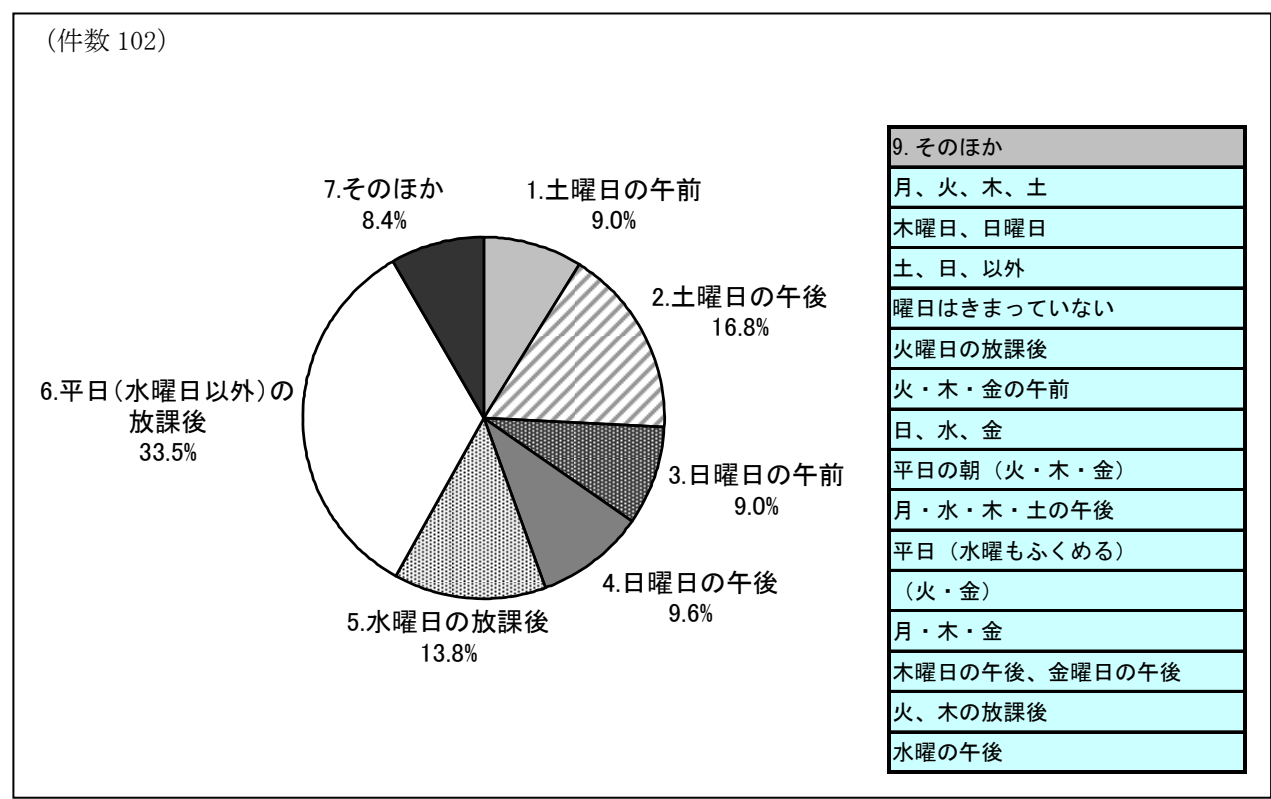
問 4. 参加した理由・きっかけはどれですか。(複数回答)



参加した理由・きっかけは、「きょうだいや友達、知っている人が参加している。または、参加している人にさそわれた」が 29 件と最も多く、「体験でまえにやったことがあった」(27 件)、「教えてくれる人や良い先生がいる」「親や家族にすすめられた。やるように言われた」(各 24 件)と続いている。

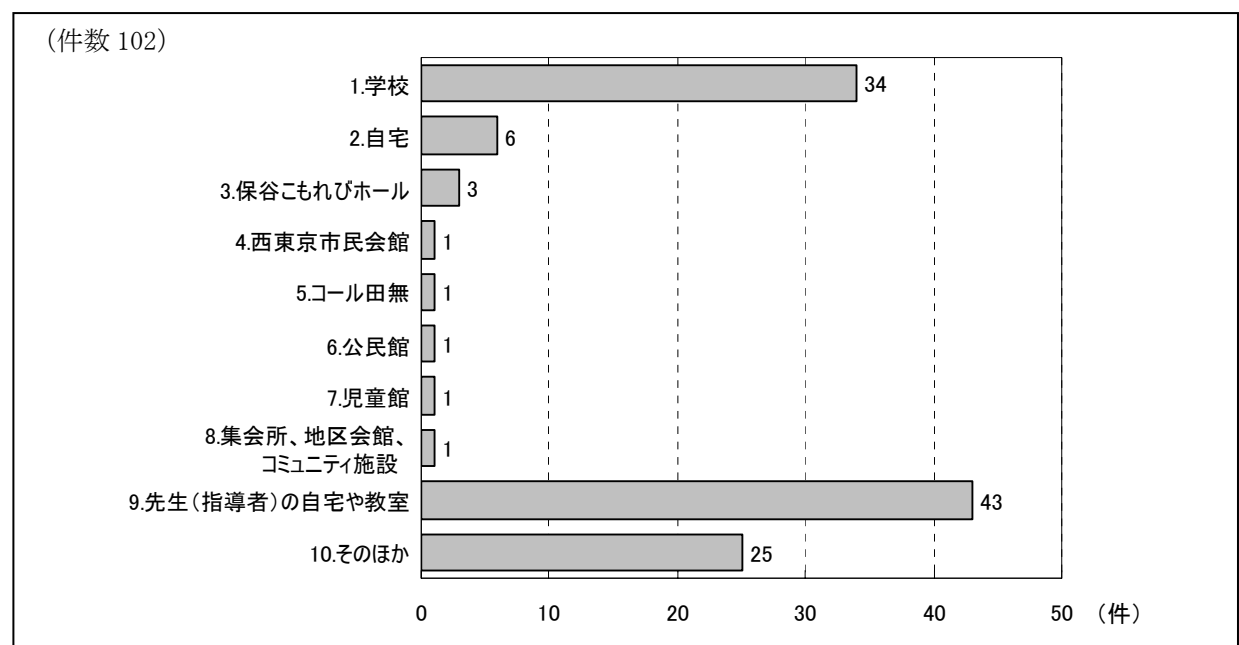
「そのほか」(9 件)では、「やりたかった／自分でできるようになったかった」(3 件)、「好きで始めた」(2 件)、「大会などに出たいから／(将棋が)強くなりたいから／買ってきて家でやっている／学校の係でやっている」(各 1 件)などとなっている。

問5. 今、行っている活動の曜日と時間はいつですか。(複数回答)



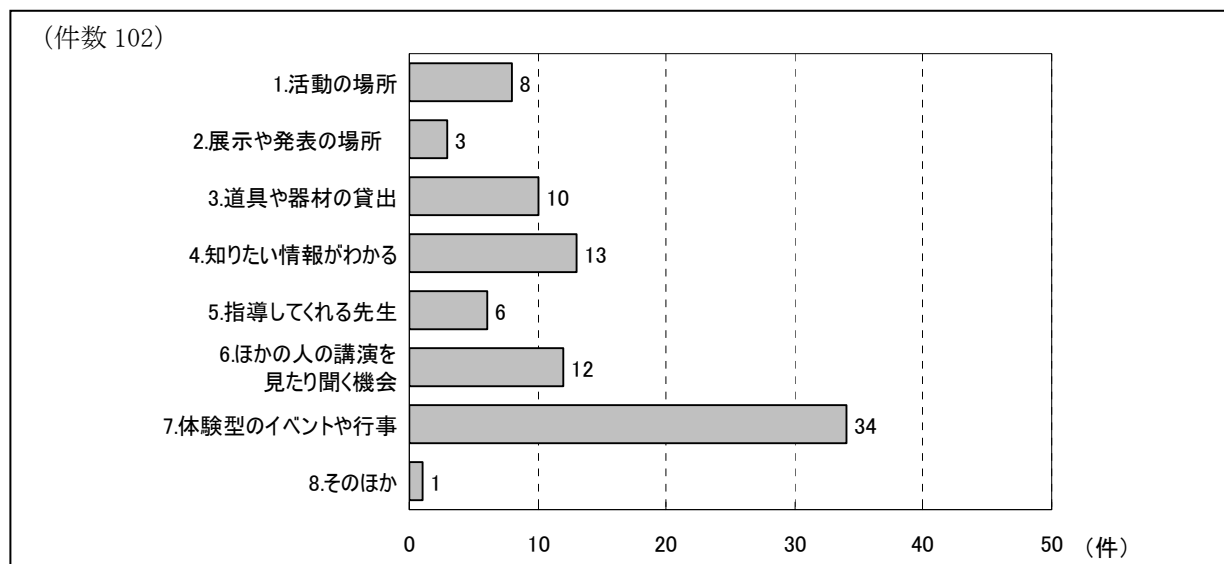
今、行っている活動の曜日と時間は、「平日 (水曜日以外の放課後)」が全体の 33.5%と最も多く、次いで「土曜日の午後」(16.8%)、「水曜日の放課後」(13.8%)となっている。
「そのほか」(14 件)の内訳は上の表のとおりである。

問6. 今、行っている活動の場所はどこですか。(複数回答)



活動の場所は、「先生 (指導者)の自宅や教室」が 43 件と最も多く、次に多い「学校」(34 件)とを併せると大半を占める。
「そのほか」(25 件)では、「幼稚園」が 3 件、「体育館」が 3 件、「サッカーコート／スポーツセンター」が各 2 件、「スイミングスクール／スケートリンク／剣道場／芝久保運動場／グランド／野球場／老人ホームの2階」(各 1 件)などとなっている。

問 7. 現在、活動をしていて、あったらよいと思うものは何ですか。(複数回答)



あったらよいと思うものは、「体験型のイベントや行事」が 34 件と最も多く、「知りたい情報がわかる」(13 件)、「ほかの人の講演を見たり聞く機会」(12 件)が続いている。

「その他」(1 件)は、「スポーツセンター」となっている。

問 8. 西東京市の文化や芸術のとりくみについての意見やアイデアがあったら、自由に書いてください。

自由記入には、7件の記入があった。

その内容は、以下のとおりである。

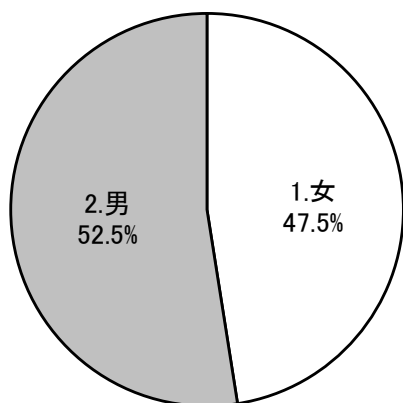
- ・野球をできることがほしい。
- ・もっといろいろなことに手を出した方よい。
- ・もう少し発表の場を増やした方がよいと思いました。
- ・文化についてのキャラクターを作って、みんなをやる気にさせる。
- ・いろいろ、ポスターがはってあるのでいい。
- ・文化通りにむかしのみせがある。
- ・「子どもマーケット」子どもでもやりやすいフリーマーケット。

(3) 中学2年生

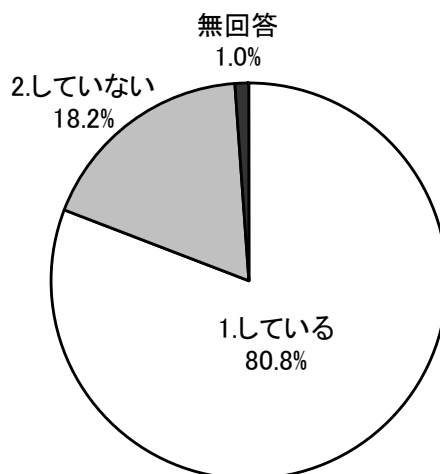
◇あなた自身について教えてください。

(件数 99)

【性別】



【部活動】



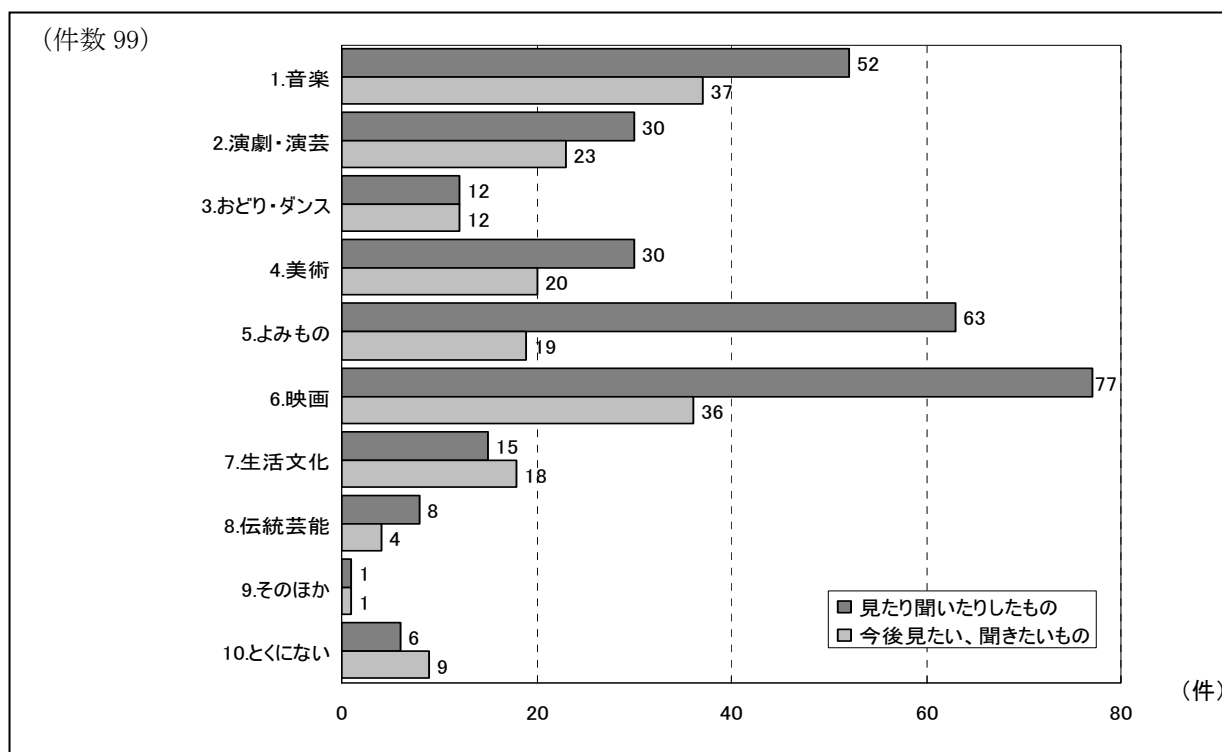
回答者の性別は、男子生徒が 52.5%と女子生徒の 47.5%をやや上回っている。

部活動の状況を見ると、「している」(80.8%)が8割を占め、「していない」生徒は 18.2%であった。

「している」(80 件)内訳は、以下のとおりである。

分野	部活名	件数	
運動部	バスケットボール	15	52
	サッカー	10	
	卓球	6	
	陸上	6	
	剣道	4	
	野球	3	
	バレーボール	3	
	テニス・ソフトテニス	3	
	バドミントン	2	
文化部	演劇	7	27
	吹奏楽	4	
	手芸	3	
	パソコン	3	
	フレンドシップ	3	
	美術	2	
	自然研究	2	
	陶芸	1	
	将棋	1	
	園芸	1	
無回答		1	1

問1. あなたはこの1年間でどのような文化や芸術の公演や作品を鑑賞（見たり聞いたりして楽しむ）しましたか。また、あなたが今後、鑑賞したい文化や芸術の公演や作品は、どれですか。（複数回答）

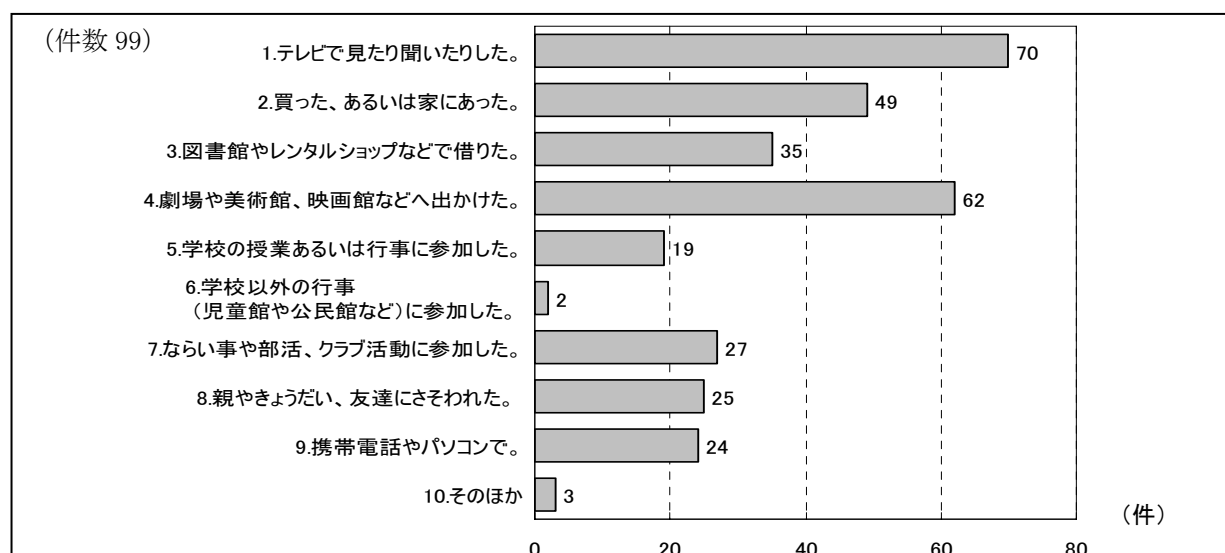


鑑賞した文化や芸術の公演や作品は、「映画」が77件と最も多く、「よみもの」(63件)、「音楽」(52件)が続いている。

「そのほか」(1件)は、「スポーツなど」となっている。

一方、今後鑑賞したい文化や芸術の公演や作品では、「音楽」が37件で最も多く、僅差で「映画」(36件)、「演劇・演芸」「美術」(各30件)が続いている。

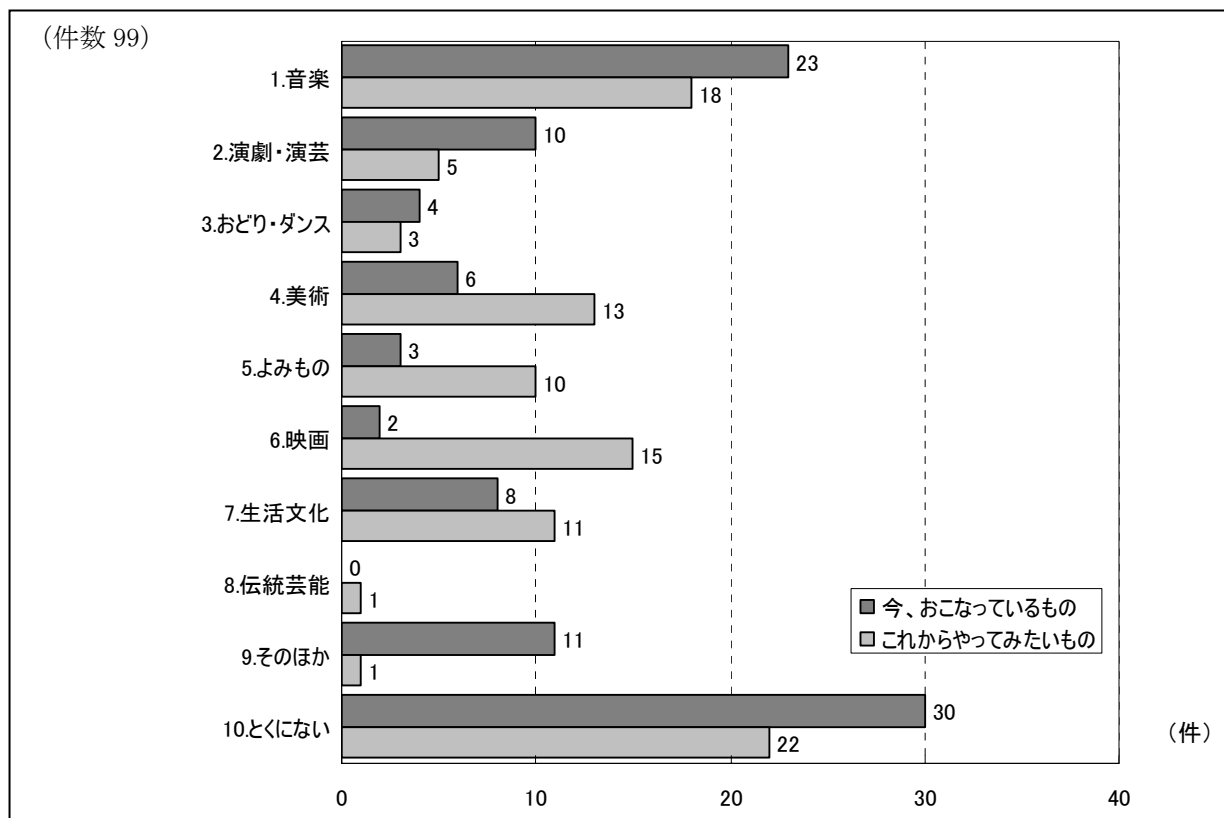
問2. どうやって鑑賞（見たり聞いたり読んだり）して楽しみましたか。（複数回答）



楽しんだ手段は、「テレビで見たり聞いたりした」が70件と最も多く、「劇場や美術館、映画館などへ出かけた」が62件、「買った、あるいは家にあった」が49件と続いている。

「そのほか」(3件)は、「好きなアーティストのライブに行った／親の仕事で／高校で見た」(各1件)などとなっている。

問3. あなたが今、おこなっている文化活動（部活やクラブ、習っているものもふくめます）はどれですか。また、あなたがやってみたいものはどれですか。（複数回答）



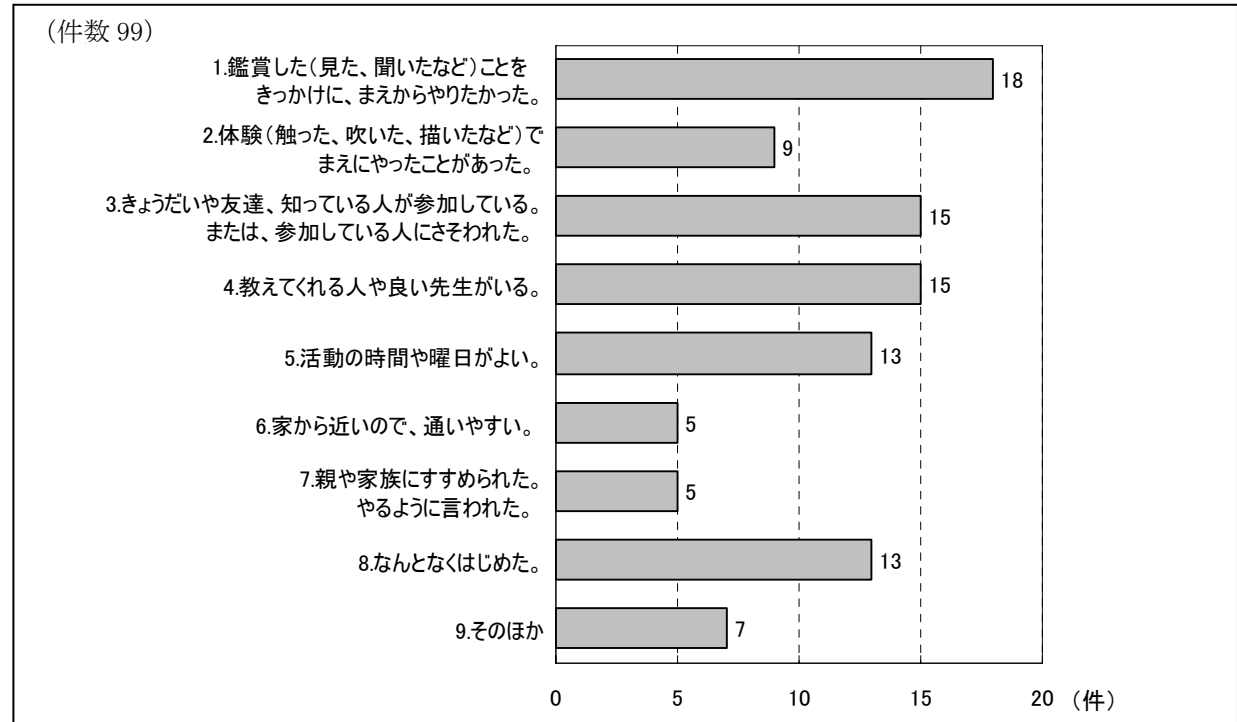
行っている文化活動をたずねたところ、最も多いのは、「とくにない」(30 件)で、次に「音楽」(23 件)、「そのほか」(11 件)と続いている。

「そのほか」(11 件)の内訳は、以下のとおりである。

分野	部活名	件数	
運動部	バスケットボール	2	10
	サッカー	2	
	卓球	1	
	バレーボール	1	
	水泳	1	
	野球	1	
	空手	1	
	スポーツ	1	
文化部	手話	2	4
	コーラス	1	
	ピアノ	1	
部活		1	1

今後、やってみたいものは、行っている文化活動と同様に、「とくにない」が 22 件と最も多く、次いで「音楽」(18 件)、「映画」(15 件)となっている。

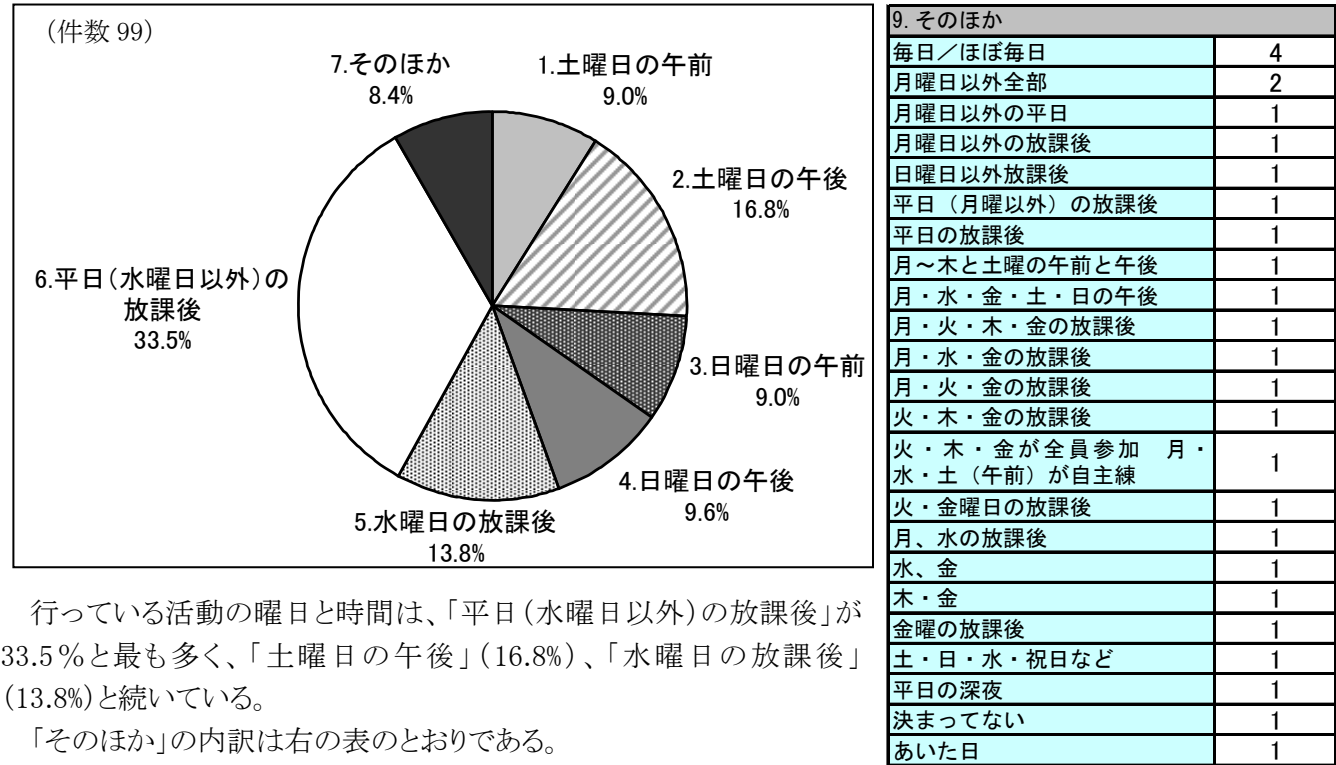
問4. 参加した理由・きっかけはどれですか。(複数回答)



参加した理由・きっかけは、「鑑賞したことをきっかけに、まえからやりたかった」が18件と最も多く、次いで、「きょうだいや友達、知っている人が参加している。または、参加している人にさそわれた」「教えてくれる人や良い先生がいる」が15件となっている。

「その他」(7件)の内訳は、「やりたかったから／好きだから」が3件、「学校の行事だから」が2件となっている。

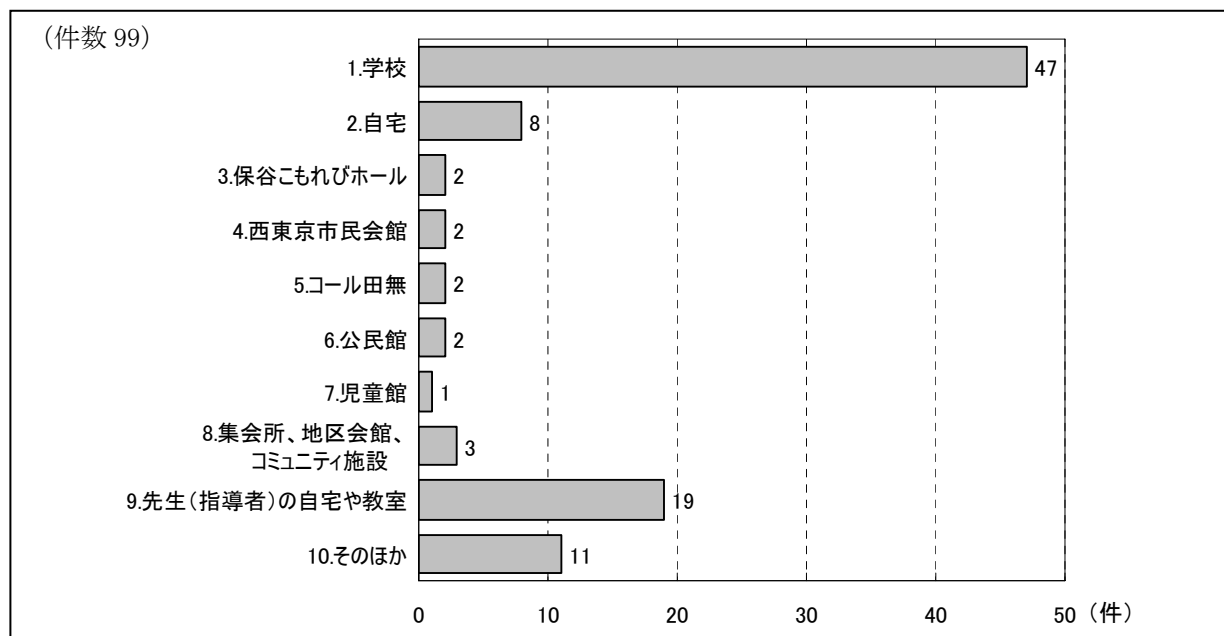
問5. 今、行っている活動の曜日と時間はいつですか。(複数回答)



行っている活動の曜日と時間は、「平日(水曜日以外)の放課後」が33.5%と最も多く、「土曜日の午後」(16.8%)、「水曜日の放課後」(13.8%)と続いている。

「その他」の内訳は右の表のとおりである。

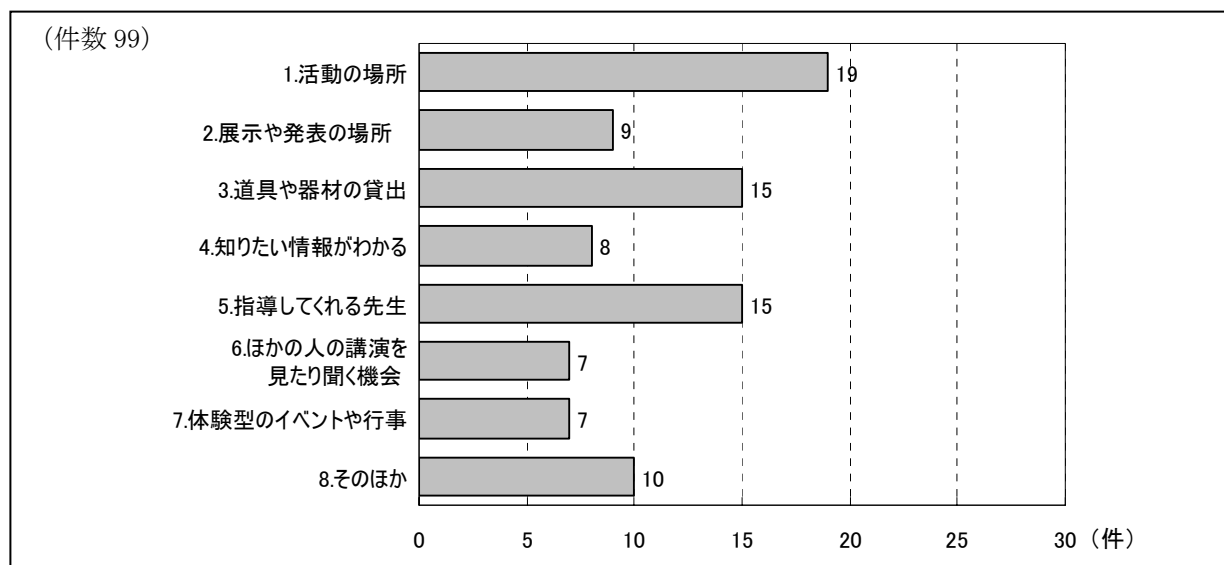
問6. 今、行っている活動の場所はどこですか。(複数回答)



行っている活動の場所は、「学校」が47件とずば抜けて多くなっており、「先生の自宅や教室」(19件)、「その他」(11件)となっている。

「その他」(11件)の内訳は、「友達の家」が2件、「被服室／公園／グラウンド／プール／教会」(各1件)などとなっている。

問7. 現在、活動をしていて、あったらよいと思うものは何ですか。(複数回答)



あったらよいと思うものは、「活動の場所」が19件で最も多く、「道具や機材の貸出」「指導してくれる先生」(各15件)と続いている。

「その他」(10件)では、「練習する場所／バンドの活動場所を増やしてほしい／1時間の休み／Please money」(各1件)などとなっている。

問 8. 西東京市の文化や芸術のとりくみについての意見やアイデアがあったら、自由に書いてください。

自由記入には、12 件の記入があった。

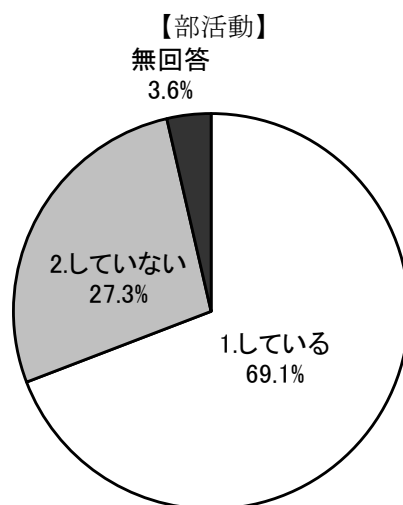
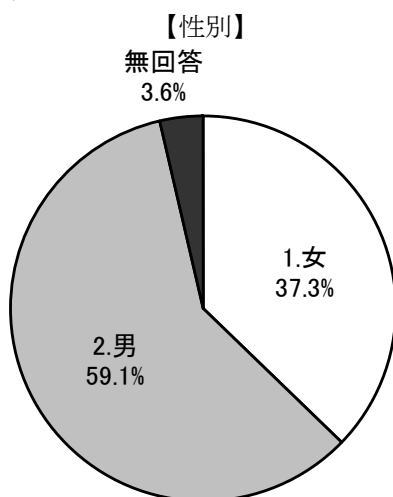
その内容は、以下のとおりである。

- ・ 昔は小学校で劇場に行って、演劇を見たりしたけど、中学校はないので、つまらないです。
- ・ クリスマスやお正月などのイベントのときに誰でも参加できるようなお祭りなどがあると楽しいと思います。
- ・ ロックコンサートがあったら行ってみたい。
- ・ 2009 年に、吹奏楽のサマースクールというのがあって、とても勉強になりました。そういうものがあればいいなと思います。
- ・ 音楽活動を盛んにしてほしい。
- ・ もっとバスケットリングを公園とかに取り付けてほしいです！！
- ・ 普段できないスポーツをやりたいので、そういう場があると嬉しいです。
- ・ もっと多くやってほしい。
- ・ 時間
- ・ I'm lovin'it
- ・ ハンバーガー＋ポテト＋ジュース＝ハッピーセット I'm lovin'it 芸術と言えば 文化といえば MC'DONALD
- ・ ハンバーガー I'm lovin'it

(4) 高校2年生

◇あなた自身について教えてください。

(件数 110)



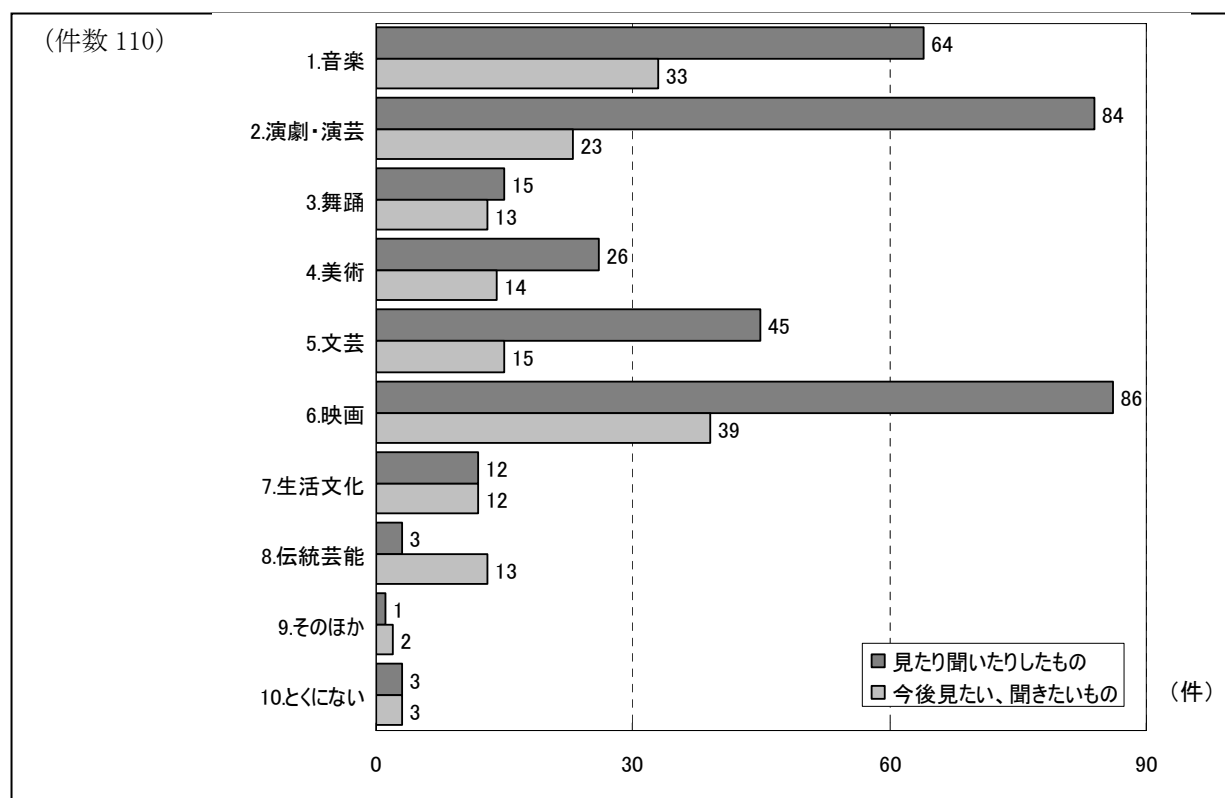
回答者の性別は、男子生徒が 59.1%で、女子生徒の 37.3%を上回っている。

部活動の状況を見ると、7割弱の生徒が「している」(69.1%)となっており、「していない」生徒は 27.3%であった。

部活動をしている生徒(76 件)の内訳は、以下のとおりである。

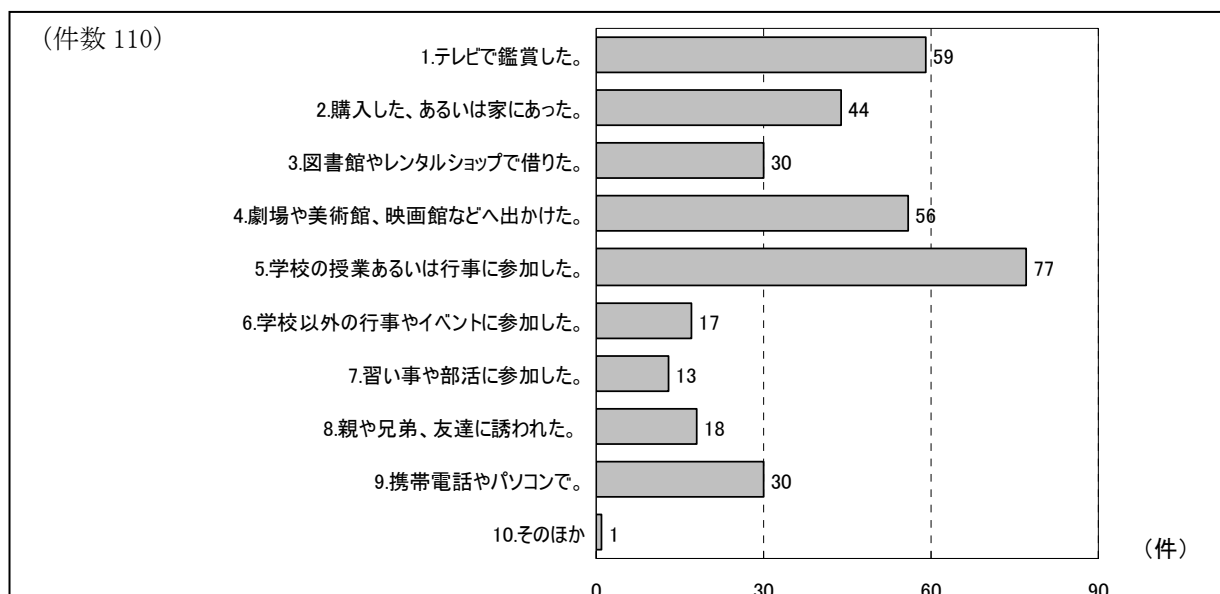
分野	部活名	件数	
運動部	バレーボール	9	45
	野球	6	
	テニス・ソフトテニス	6	
	バスケットボール	5	
	サッカー	4	
	バドミントン	3	
	ハンドボール	3	
	剣道	2	
	水泳	2	
	ダンス	2	
	ソフトボール	1	
	ラグビー	1	
	陸上部	1	
文化部	軽音楽	6	31
	マンガ・アニメ・イラスト	5	
	吹奏楽	4	
	自動車	4	
	科学	3	
	ギター、音楽	2	
	美術	2	
	現代音楽	1	
	ロボット研究会	1	
	演劇	1	
	茶道	1	
	執筆部	1	
不明		1	1
無回答		4	4

問 1. あなたはこの 1 年間でどのような文化や芸術の公演や作品を鑑賞（見たり聞いたりして楽しむ）しましたか。また、あなたが今後、鑑賞したい文化や芸術の公演や作品は、どれですか。（複数回答）



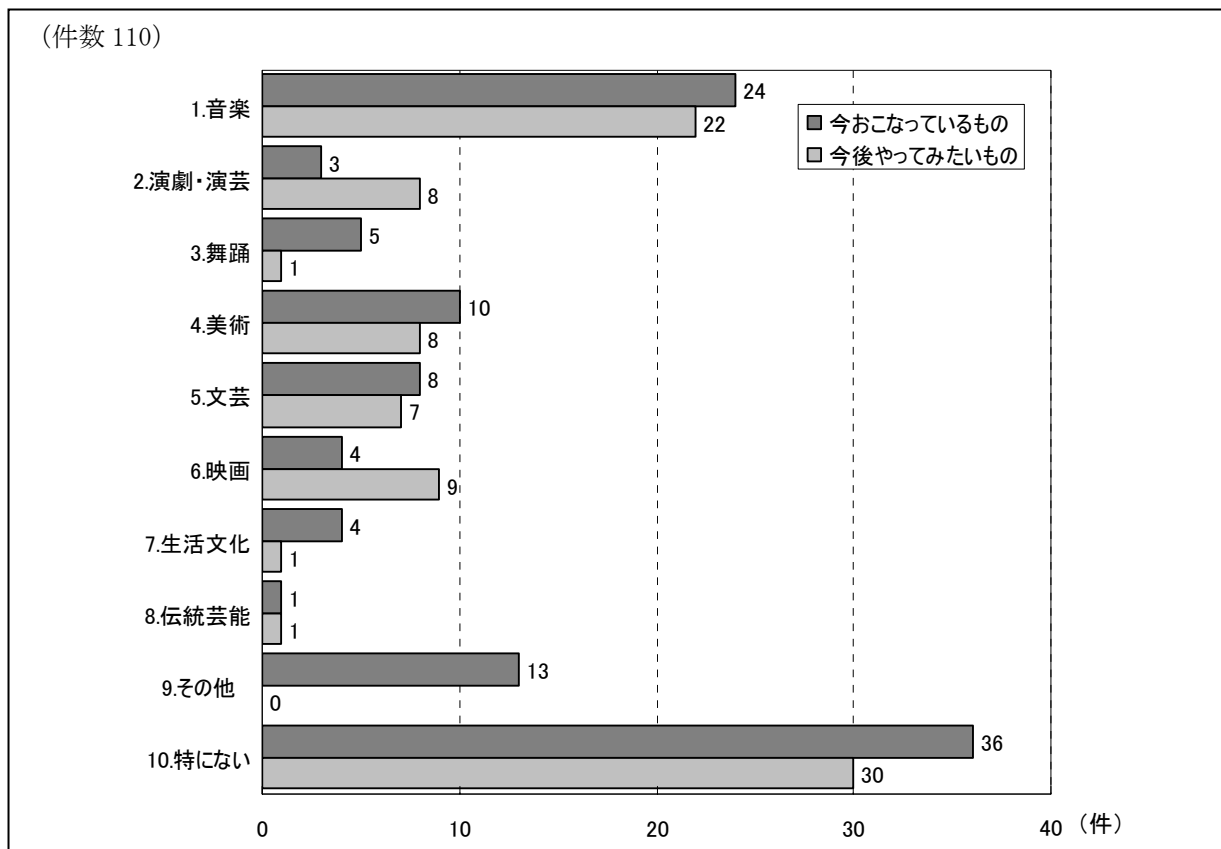
鑑賞したものでは、「映画」が 86 件と最も多く、「演劇・演芸」(84 件)、「音楽」(64 件)と続いている。「その他」(1 件)は、「声優イベント」となっている。
今後鑑賞したいものでは、「映画」(39 件)が最も多く、「音楽」(33 件)、「演劇・演芸」(23 件)となっている。「その他」(2 件)では、「声優イベント」(1 件)などとなっている。

問 2. どうやって鑑賞（見たり聞いたり読んだり）して楽しみましたか。（複数回答）



楽しんだ手段は、「学校の授業あるいは行事に参加した」が 77 件で最も多く、「テレビで鑑賞した」が (59 件)、「劇場や美術館、映画館などへ出かけた」(56 件)と続いている。
「その他」(1 件)は、「スペイン村に行って、踊りを見た」である。

問3. あなたが今、おこなっている文化活動（部活やクラブ、習っているものもふくめます）はどれですか。また、あなたがやってみたいものはどれですか。（複数回答）

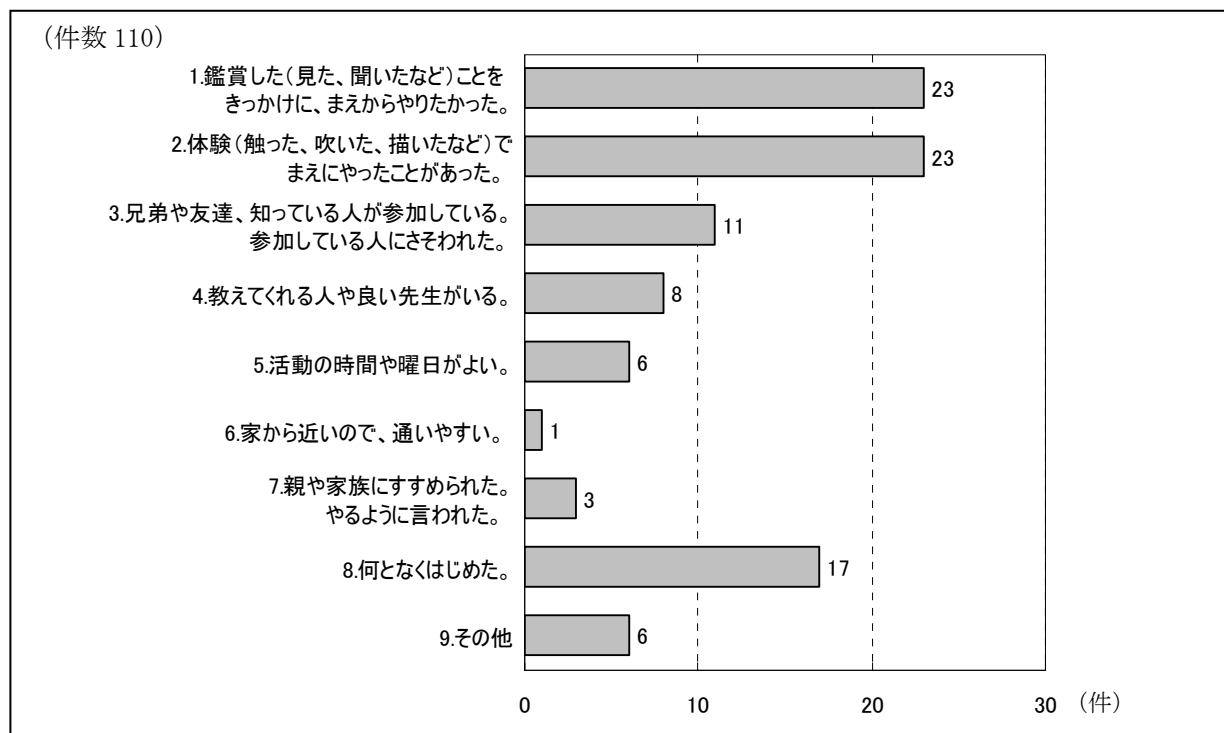


今、行っているもので最も多いものは、「特にない」(36件)で、「音楽」(24件)、「その他」(13件)と続いている。

「その他(13件)」の内訳は、以下のとおりである。

分野	部活名	件数	
運動部	バレーボール	3	9
	バトミントン	1	
	ハンドボール	1	
	野球	1	
	水泳	1	
	テニス	1	
	ダンス	1	
文化部	ロボット製作	1	3
	自動車部	1	
	ボランティア	1	

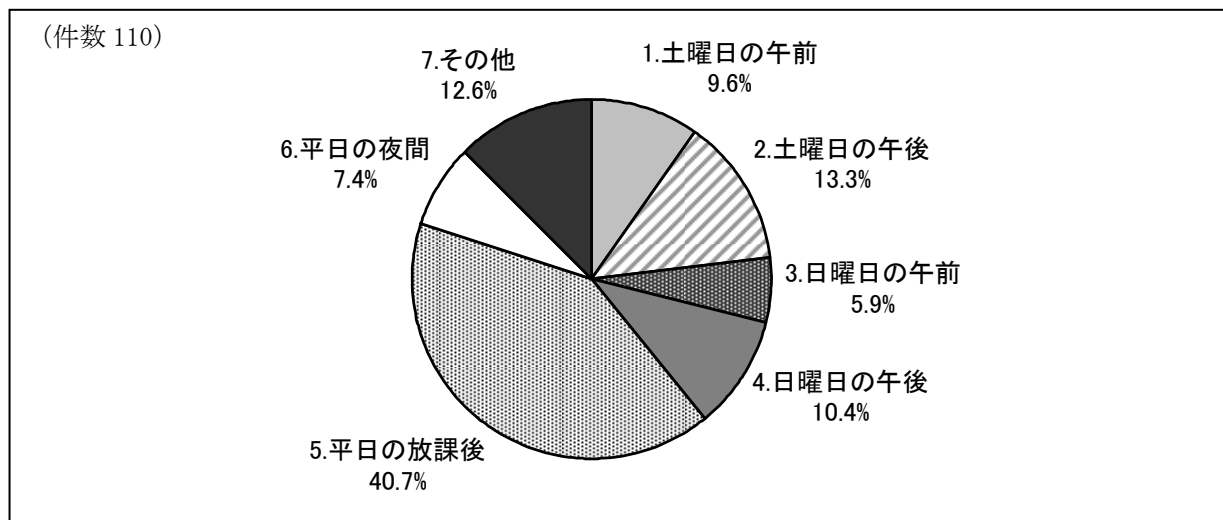
問4. 参加した理由・きっかけはどれですか。(複数回答)



参加した理由・きっかけで最も多いのは、「鑑賞した(見た、聞いたなど)ことをきっかけに、まえからやりたかった」と「体験(触った、吹いた、描いたなど)でまえにやったことがあった」が同じく 23 件で、次いで、「何となくはじめた」が 17 件となっている。

「その他」(6 件)では、「好きだから」が 2 件、「授業で」と「鉄道研究部が無く、同じ乗り物関係の自動車部に入部」が各 1 件であった。

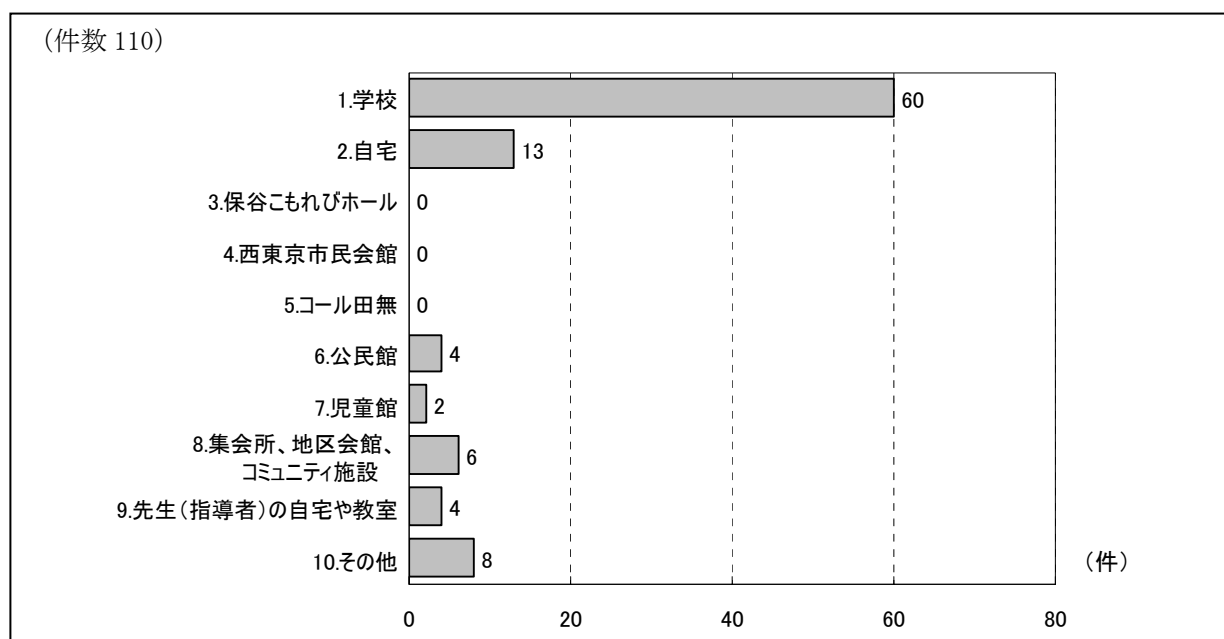
問5. 今、行っている活動の曜日と時間はいつですか。(複数回答)



行っている活動の曜日と時間は、「平日の放課後」が 40.7%と最も多く、全体の 4 割を占めている。次いで、「土曜日の午後」(13.3%)、「その他」(12.6%)と続いている。

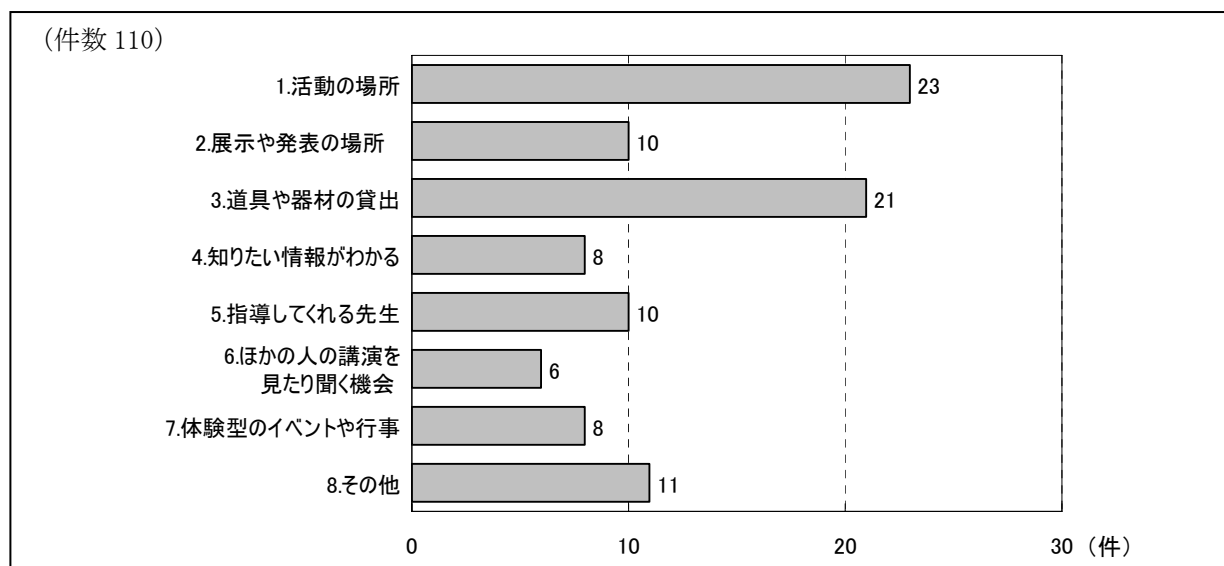
「その他」(17 件)では、「毎日／ほぼ毎日」が 3 件、「水曜午前中／日曜日の夜間／その月によって違う／長い休みの時／特に決まっていない／余暇／コンサートが近くなった時」(各 1 件)などとなっている。

問6. 今、行っている活動の場所はどこですか。(複数回答)



行っている活動の場所は、「学校」が 60 件と最も多く、半数以上が学校で行っていることがわかる。次いで「自宅」(13 件)、「その他」(8 件)と続いている。「その他」(8 件)は、「体育館／ライブハウス」などであった。

問7. 現在、活動をしていて、あったらよいと思うものは何ですか。(複数回答)



あったらよいと思うもので最も多いのは、「活動の場所」で 23 件、次いで「道具や機材の貸出」が 21 件、「その他」が 11 件となっている。

「その他」(11 件)は、「西東京にどのような文化があるのか知りたい／部品の購入／広めの部屋」などとなっている。

問 8. 西東京市の文化や芸術のとりくみについての意見やアイデアがあったら、自由に書いてください。

自由記入には、7件の記入があった。

その内容は、以下のとおりである。

- ・基本的に地味だし、年齢層が高い。若い人は参加しづらいし、参加したいと思えない。もっと活気のあるイベントなどを計画し、市全体も活気づけてほしいと思う。
- ・いまいち（あまり）取り組めていないように思います。もっと頑張ってください。
- ・「何気な」芸術の町にしたい。
- ・児童館をつくったりと、積極的だと思う。
- ・体育館
- ・マイコンカーの大会がいいと思います。
- ・ひばりが丘にプリクラ機械を置いて下さい。

西東京市文化芸術振興 子どもワークショップ開催記録

日時：平成 22 年 11 月 7 日（日） 午後 2 時～4 時

場所：西東京市 防災センター 6 階

◆出席者

参加者：36 名、委員：1 名、ファシリテーター・事務局：7 名

◆配布資料

- ・ 本日のプログラム
- ・ 「文化芸術についての子どもワークショップ」進め方
- ・ 自己紹介シート
- ・ 子どもアンケートの結果
- ・ 現在行っている文化芸術に関するイベント

◆議事

1. 開会・あいさつ

事務局より開会のあいさつを行った。

2. ワークショップのねらいと進め方

全体ファシリテーターより「ワークショップのねらいと進め方」について説明を行った。

3. アイスブレイク

ファシリテーターの司会により、「部屋の四隅」を行った。

【質問項目】

- あこがれているアーティストが3人以上いる？
- 合奏やおどりの練習は難しい？
- 人前で発表するのは緊張する？
- 夢中になれる趣味がある？

4. グループでの意見交換

A～Dの4つの班に分かれて、各テーマについて意見交換を行った。

【テーマ】

- テーマ①：「活動の楽しさ」
- テーマ②：「活動するときにあったらよいと思うもの」
- テーマ③：「参加したくなるイベントのアイデア」

5. グループ発表

各グループ、2～4名の代表者が、グループでの意見交換の結果を発表した。

6. グループ間の意見交換

各グループの結果について、意見や質問は出なかった。

7. 本日のまとめ

ファシリテーターの司会により、「部屋の四隅」を行った。

【質問項目】

- 今日のワークショップでは、新しい発見があった？
- 自分の意見が言えた？
- 他のジャンルの活動も、してみたくなった？
- 同じような企画があったら、また参加したい？

ファシリテーターと委員から全体の公表を行った。

◆グループでの意見交換の結果

「テーマ①：活動の楽しさ」

	A 班	B 班	C 班	D 班
打ち込める 好きなことに	・自分の好きなことが出来る ・楽器を吹ける ・音楽を聴いて踊れる ・知っている曲を吹ける ・ダンスを作る		・歌と踊りが好きだから、劇を見るのはもちろん、参加するのが好き	
いろいろな友達ができる	・おもしろい友達がいる ・友達ができる ・友達と会える	・友達が増える ・学校の違う友達がたくさんできる ・いろいろな学年と交流ができる ・練習をちょっとさぼってしゃべる時	・知らない子と知り合える	・色々な子と踊りが出来る ・（趣味が違うなど）学校だと友達にならないような子とも、友達になれる ・学校とは違う友達ができる ・友達がいること
友達と一緒に作り上げる	・友達と一緒に出来る ・いろんな人とふれ合える ・みんなで一つのことができる	・みんなの踊りが合った時 ・ダンス仲間で集まって踊る時	・みんなで一つのものを作る ・いろいろな友達と一緒にダンスできる ・みんなと演奏している時 ・いろんな人が踊ってくれる時	・音を合わせ、ハモらせる時 ・合奏で音が綺麗に合った時 ・みんなでの練習 ・みんなで気持ちを1つにして歌ったり、踊ったりできた時
自分が成長できる（達成感が得られる）	・出来なかったことが出来る様になる ・自分がうまくなったと分かった時 ・いろんな曲が吹けるようになっていく	・だんだん上手になっていく ・難しい振りが踊れるようになった時 ・高い音が出せた時の達成感 ・発表会が終わった後の達成感 ・失敗しないで踊れた時 ・今まで出来なかった振りができるようになる ・楽器が叩けるようになった時	・新しいステップや技が出来るようになる	・出来なかった所がうまく出来た時 ・踊りが出来た時の達成感

	A 班	B 班	C 班	D 班
努力する 目標に向かって	・コンクールのための練習	・発表会という大きな目標に向かって皆で練習する ・コンクールで金賞を目指して練習する		・発表会間近のやる気が高まった練習
もらえる 人に見て	・大きいホールで演奏出来る	・たくさんの人に聴いてもらえる ・発表会で楽しく踊れる	・恥ずかしいけど、発表会で踊れる	・年に一回の発表会で出来た時
人に認められる	・たくさん練習して、優勝できた時 ・発表会のお客さんから拍手をもらえる	・センターがもらえた時 ・コンクールで金賞が獲れた時	・人前に出るのは恥ずかしいけど、演奏した時に拍手をもらえる	・ミュージカルで台詞をもらえた時 ・曲でソロが出来た時 ・先生が褒めてくれた時
出来る いろいろな経験が	・他のクラスの練習が見られる ・たくさんの曲に合わせて踊れる ・わからない曲でも先生に教わるのが楽しみ ・いろいろ学べる	・新しい曲が吹ける ・日本の文化を学べる	・ダンスや歌など、いろいろな事が出来る ・いろいろな曲が吹ける ・新しい曲をできる	・いろいろな楽器があるとウキウキしてくる ・いろいろな楽器を体験出来る
伝える 人に楽しさを	・見ている人にダンスの楽しさを伝えられる			
使える 小道具を	・小道具が見られる ・扇子などの小道具を使って踊れる	・カサや扇子、棒などを持って踊れる ・着物を着られる	・綺麗な着物を着て踊れる	
ことが出来る 日常ではできない				・大きい声を出せる

「テーマ②：活動するときにあったらよいと思うもの」

	A 班	B 班	C 班	D 班
場所 発表する	・もっと広いステージで発表会をしたい ・もっと近くにステージがほしい		・ホール（小規模でも良い） ・ホールが一つしかないからもっと欲しい	
練習する場所	・広い練習室（人数が多い） ・広いリハーサル室（人数が多い） ・発表会のステージで練習したい	・きれいな大きな鏡がある練習室 ・周りが全部鏡の部屋 ・ティンパニー（打楽器）がある練習場所 ・広い部屋	・練習する場所 ・ティンパニー（打楽器）がある練習場所 ・今やっていることがよりやり易くなるような場所	・広い部屋 ・大きな鏡がある練習場所 ・公共施設 ・周りを気にしないで練習出来る環境 ・大きい音が出せる場所 ・楽器ごとの練習するスペース
控え室・休憩	・もっと広い楽屋 ・練習の間のおかし			・飲食の出来る休息スペース
道具・設備	・レコーダー ・音楽プレーヤー ・ビデオテープなどが見られる施設 ・市の楽器や小道具を増やして欲しい ・自分の楽器 ・大型の楽器（ティンパニーやコントラバス） ・打楽器のバチ ・新しいチューナー ・全身鏡 ・楽器がただでほしい ・習い事専用バス ・見本になるビデオなどが見たい	・新しい楽器 ・小道具が古い ・使わない楽器を捨ててほしい	・冷房 ・鏡 ・歌がうまくなるもの	・譜面台 ・ラジカセなど
仲間 活動する	・メンバー ・小学校で吹奏楽団を増やして欲しい ・力持ち	・団員がもっと欲しい	・高学年の人にもうちちょっと入って欲しい	
発表機会	・コンクールを増やしてほしい ・発表会を観覧無料にしてほしい			

	A 班	B 班	C 班	D 班
参加・交流の機会	・初めてやる人と関わる機会（ワークショップなど） ・吹奏楽部の部費を減らしてほしい ・小学校を近くしてほしい			・所属しているクラブや団体での宴会
作品	・もっといい曲 ・長歌をたくさんやりたい			・踊りの曲の意味を教えて欲しい
時間	・練習する時間 ・練習場所をもっと長く使いたい ・6時間の日はいつもより練習時間を増やしてほしい ・日曜も練習したい ・授業なしで吹奏楽の練習をしたい			・休憩時間
指導者	・楽器ごとの先生（トレーナー）			
情報				・情報発信 ・施設の決まりが分かりやすく書かれたもの
理解 大人の				・大人たちの優しい目

「テーマ③：参加したくなるイベントのアイデア」

	A 班	B 班	C 班	D 班
参加・体験型イベントの開催	・参加してくれた人とふれ合える ・初めての人がやるワークショップなどを増してミュージカル人口を増やしたい	・オーケストラのワークショップをやってほしい	・気軽に参加できるワークショップ ・お客さんも一緒に踊れる発表会 ・見る方も楽しめるイベント ・身近な場所でいろんな人が参加できる普段の成果を発表できるイベント（参加型） ・遊びの名人を呼んで、外で遊ぶ ・創作ダンスワークショップ	・自分と同世代の子とふれ合うことの出来るワークショップ ・短期間で良いので、1つの目標に向かって必死になれるワークショップ ・長期間に渡って1つのものに全力を注ぎこめて、人間が成長できるようなイベント ⇒心の逃げ場（小・中学生は何かと悩みを抱えている時期であって、心のゆるせる友達がいいて、本当に気持ちを理解してくれる大人がいる、心の『逃げ場』が必要） ・本格的な練習で発表に取り組めるワークショップ ・アニメーションの簡単な講座（参加型のクリエーション系のイベント）
大会・発表会の開催	・広い場所を貸し切って定期演奏会をやりたい ・参加費無料の合同発表会 ・吹奏楽のイベントをもっと増やしてほしい ・西東京市のダンスバトル ・日本舞踊大会	・大きなホールで演奏会をしたい ・自分の学校だけの演奏会がしたい ・演奏する機会がもっとほしい	・ダンス・劇・演奏、全てを楽しめる発表会 ・いろんな団体が出ている発表会 ・アフリカ音楽とダンス	・地元でがんばっているバンドのライブなど ・同世代のがんばっている人たちを見たい

	A 班	B 班	C 班	D 班
参加・来場してもらうための工夫	・前売り券制にしてほしい（ステージが見れなかった経験がある） ・友だちが沢山来られるようにしてほしい ・無料ドリンク配布		・お祭りなどいろんな人が見てくれるイベント ・小学校や中学校で発表する ・小学生向けイベントなど知ってもらえる機会を作る ・身近な人に見て欲しい	・自分の習っていることに関連している人に来てもらいたい ・趣味づくり（いろんな趣味のすすめ）をする ・有名人のライブなど有名人を呼ぶ ・有名な漫画家のネーム&原画・原稿展 ・無料でプレゼント（手提げ等）がもらえたら良い
出演したくなる環境づくり	・市民まつりのステージをキレイにしてほしい ・室外で発表したい ・ステージを2階建てにしてほしい ・照明をいろいろな色でやって欲しい ・大会の結果がわかる様にしたい			
発表の機会の提供	・ステージに出る人達を抽選にしないでほしい（市民まつり）			
広報活動		・もっと宣伝してほしい ・チラシを作っているいろいろな人に知ってもらい、イベントに来てほしい		・イベントをやっている事自体を知る事が出来ない

◆結果のまとめ

「テーマ①：活動の楽しさ」

- 好きなことに打ち込める
◇好きなことに全力で取り組むこと
- いろいろな友達ができる
◇学校や年齢などに関わらず、いろいろな子と友達になれること
◇友達と一緒にいられること
- 友達と一緒に作品を作り上げる
◇大勢で一緒に一つの作品を作り上げること（一人では出来ない、ハーモニーや演劇）
- 自分が成長できる（達成感が得られる）
◇一生懸命練習した結果、出来なかったことができるようになること
- 目標に向かって努力する
◇発表会などの大きな目標に向かって、全力で取り組むこと
- 人に見てもらえる
◇一生懸命練習した成果をたくさんの人に見てもらえること
- 人に認められる
◇練習の成果が、賞を獲得したり、ソロパートをもらえたりといった形で現れること
◇発表会などで拍手をもらえること
◇尊敬している先生に褒められる（認めてもらえる）こと
- いろいろな経験が出来る
◇新しい作品に挑戦したり、他のパートの演奏等を聴いたり見たりできること（1つの分野）
◇いろいろなジャンルの文化に触れることができること（ミュージカル）
- 人に楽しさを伝えられる
◇見ている人に活動の楽しさを伝えられること
- 小道具を使える
◇普段は触れることのできない道具やきれいな着物を使う機会があること
- 日常ではできないことができる
◇大きな声を出すなどの日常ではできないようなことができること

「テーマ②：活動するときにあったらよいと思うもの」

- 発表する場所
◇もっと広いステージのあるホールがほしい（今は、こもれびホールのみ）
- 練習する場所
◇大人数が入る練習場や、パート練習が別々に出来るような練習場がほしい
◇設備の整った練習場がほしい（鏡や打楽器）
- 休憩・控え室
◇飲食のできるスペースがほしい
- 道具・設備
◇活動するための道具（楽器など）や練習に通うためのバスなどがほしい
- 活動する仲間
◇一緒に活動する仲間がもっとほしい（色々な年齢層、力持ち）
◇同じ活動をしている団体がもっと増えてほしい
- 発表機会
◇活動の成果を発表する機会（多くの人に見てもらえる機会）を増やしてほしい
- 参加・交流の機会
◇ワークショップなど活動に参加していない人との交流の機会をつくってほしい
◇一緒に活動している仲間と交流する機会がもっとほしい
◇活動に参加しやすい環境をつくってほしい
- 作品
◇作品の意味を理解したうえで活動に取り組みたい
◇よりよい作品を題材とした活動に取り組みたい
- 時間
◇練習する時間や長く練習できる場所がもっとほしい
◇休憩時間がもう少しほしい
- 指導者
◇専門性のある先生がもっといてほしい
- 情報
◇活動できる施設やその施設の利用規則などを分かりやすく情報提供してほしい
- 大人の理解
◇見た目で判断するのではなく、一生懸命活動していることを理解してくれる大人の優しい目がほしい

「テーマ③：参加したくなるイベントのアイデア」

- 参加・体験型イベントの開催
 - ◇お客さんも気軽に参加できる参加型のイベントを開催する
 - ◇1つのテーマや目標を決めて、参加者全員が全力で取り組めるようなワークショップを開催する
- 大会・発表会の開催
 - ◇同じジャンルの活動をしている団体の合同発表会や大会を開催する
 - ◇様々なジャンルの活動の発表をいっぺんに見られる発表会を開催する
 - ◇同世代の人たちががんばっている様子を知れるようなイベントを開催する
- 参加・来場してもらうための工夫
 - ◇小学生や中学生にターゲットを絞ったイベントを開催する
 - ◇子ども達が将来の趣味に出来るような活動を紹介する場をつくる
 - ◇有名な人をイベントに呼ぶことにより来場者を増やす
 - ◇来場者が発表を見やすい環境を提供する
 - ◇来場者や参加者に無料のプレゼントなどをする
- 出演したくなる環境づくり
 - ◇出演者が出演したくなるようなステージ設備を整える
 - ◇大会などの結果をわかりやすく示す
- 発表の機会の提供
 - ◇できるだけ多くの団体が発表できる機会を提供する
- 広報活動
 - ◇チラシを配るなどイベントの情報をもっと提供する

◆ワークショップの様子と成果物

A班



B班



C班



D班



市内ヒアリング事業調書のまとめ

凡例 ◎:さらに積極的に推進していく

○:今まで通り取り組んでいく

△:内容を見直す

(方針1) 参加のきっかけづくり

イベントの実施などを進め、関心のない市民に対しても、参加のきっかけとなるような文化芸術を享受する機会を充実する。

○初心者・幅広い年齢層が参加できる企画の実施

事業名	事業内容	担当課	今後の展開
にしはらスポーツクラブ フラダンス教室	子どもから高齢者まで楽しめる種目としてフラダンス教室を実施する。	スポーツ振興課	◎
にしはらスポーツクラブ 型染めクラブ	総合型地域スポーツクラブの文化部として、沖縄の伝統工芸である紅型染めを行っている。	スポーツ振興課	△
スポーツ・運動施設指定管理者 個人開放事業(社交ダンス)	きらっと多目的ホールを利用した社交ダンス個人開放事業。	スポーツ振興課	◎
リサイクル講座	不要になった布地、毛糸などで布ぞうり、室内履き、バッグなどを作成。	環境保全課	○
エコダンス	エコプラザ西東京協力員事業企画チームの企画で、古着を再利用した衣装でだれでも気軽に参加できるダンスを踊り、環境保全をアピールする。	環境保全課	○
夏休み平和映画会	夏休みに戦争に関する映画の上映を行い、平和の大切さについての理解を深めてもらう。	協働コミュニティ課	○
朗読会の実施	朗読によって利用者が作品に興味を持ち、読書への働きかけとなる。	図書館	○
公民館事業	青年期教育、成人期教育、家庭教育などの実施。	公民館	○
高齢者生きがい推進事業	公共施設で市主催の高齢者大学等を開催しているほか、高齢者福祉大会や各種講座やサークル活動支援、健康づくり等元氣高齢者を支援する取り組みを行っている。	高齢者支援課	◎

(方針2) 市民が活動しやすい環境づくり

市民が活動しやすくなるよう、分かりやすい情報提供の工夫や施設予約のしくみを整え、文化芸術を創造し、発信する機会を充実する。

○文化を発信する場・機会の提供

西東京市民まつり	西東京いこいの森公園を会場に、出店ブース、野外演芸、パレードのほか商工会や農協との協力を基に2日間にわたるおまつりを開催する。	文化振興課	◎
西東京市民文化祭	ジャンルに分かれて、およそ1ヶ月間、保谷こもれびホール他7会場で市民の活動発表を実施。	文化振興課	○
西東京市保谷障害者福祉センター文化祭	保谷障害者センターを会場とし、作品展示、活動報告の展示、日々の活動をビデオ上映、音楽療法や体操の実演、サークル活動の実演等。	障害福祉課	○
住吉会館展示会	住吉会館を利用する団体や個人の活動成果を発表する場の提供。	子ども家庭支援センター	◎
圏域美術家展	圏域5市を代表する様々な会派の美術家の作品を一堂に展示することで、圏域の住民に、より身近に絵画を鑑賞する機会を提供する。	文化振興課	○

○活動費の支援

老人クラブ等助成事業	老人クラブ及び老人クラブ連合会の運営経費の一部を補助する。	高齢者支援課	◎
------------	-------------------------------	--------	---

(方針3) 歴史・伝統文化の継承

西東京市の伝統文化等を尊重し、次世代に継承する。

○イベント等を活用した歴史・伝統文化についての情報提供

下野谷遺跡公園「第4回 縄文の森の秋まつり」	下野谷遺跡・遺跡公園を市民へ周知し、郷土の歴史に触れ、考える機会を創るとともに市民の輪を広げる。	社会教育課	○
第2回民具展示「屋敷林とむかしの暮らし」	下野谷に残る屋敷林の歴史的な意義、かつての農村の暮らしを考える機会をつくる。また、地元の民俗学者、高橋文太郎の業績と、かつて保谷にあった民族学博物館について周知する機会とする。	社会教育課	○
写真展「写真でみる西東京市の今と昔」	西東京市の今と昔を定点撮影の写真や生活用具の変遷などを通して、なつかしい風景や道具に触れてもらう写真展を実施すると同時に郷土資料室を多くの人に知ってもらう。	社会教育課	新規
文化財めぐり「屋敷林と人々の暮らし」	下保谷に残る屋敷林と文化財をめぐり、市内でも他の地域とは異なる宗教や歴史を考える。	社会教育課	新規
農業景観散策事業	市民に都市農業への理解を深めてもらい、市内農地が市民にとって貴重な自然環境空間として存在することを再認識してもらう。また市内農地の保全と市内農業の振興を推進し、農家と市民の交流を図る。	産業振興課	○
どんど焼	松飾りを小正月内に焚く。和太鼓演奏を聞き、焚きあがった炭でお餅を焼いて食べる。	文化振興課	○
郷土料理「手打ちうどんをつくらう！」	郷土料理継承のため、西東京市地域活動栄養士会の協力を得ながら、伝統的な食べ方を市民に伝え、あわせて栄養バランスを考えた献立の提案を行う。	健康課	○

○伝統文化の収集・活用

図書館所蔵の歴史的資料の修復及び保存・活用	図書館所蔵の歴史的資料を修復・保全し、市民に公表することで価値ある文化財を活用する。	図書館	○
-----------------------	--	-----	---

(方針4) 文化芸術を担う人づくり

文化芸術活動の担い手を育成する。

○リーダーの育成

西東京しゃきしゃき体操リーダー養成講座	西東京市の健康体操の継承のため、運動生理や健康づくりに関する講義および体操の実技取得する講座を行う。	健康課	◎
はじめよう、西東京しゃきしゃき体操 広げよう健康づくりの輪	西東京市の健康体操の継承のため、体操講座や出前講座で体操の実技取得する講座を開催する。	健康課	○

○参加型イベント等の開催

にしはらスポーツクラブ フラダンス教室	(再掲)	スポーツ振興課	◎
にしはらスポーツクラブ 型染めクラブ	(再掲)	スポーツ振興課	△
スポーツ・運動施設指定管理者 個人開放事業(社交ダンス)	(再掲)	スポーツ振興課	◎
リサイクル講座	(再掲)	環境保全課	○
公民館事業	(再掲)	公民館	○

(方針４－２) 次代を担う子どもたちの育成

子どもの鑑賞機会を創出したり、育成活動等を支援する。

○学校における文化・芸術活動の推進

校内学芸的行事	小中学校における展覧会、学芸会、合唱コンクールなどの実施。	教育指導課	—
演劇鑑賞教室・音楽鑑賞教室	演劇鑑賞を通じて、生の芝居を肌で感じ、感動を味わうことで、児童の豊かな感性を磨く。 音楽鑑賞を通じて、オーケストラの生の演奏を聞き、その良さや美しさを味わうとともにマナーを学ぶ。	教育指導課	○
西東京市生徒作品展示	①中学校の生徒の各教科の作品などを一堂に会して展示することで、生徒の創作意欲と鑑賞力を養い、豊かな情操を育てる。②作品展示を通して、学校の活動を紹介し、西東京市民の学校教育に対する理解および関心を高める。	教育指導課	○

○学校以外での文化・芸術活動の推進

にしはらスポーツクラブ キッズチアダンスクラブ	幼児から体を動かし、リズム感を養い、団体生活に慣れさせることを目的にチアダンス・チアリーディングのコラボレーションレッスンを行う。	スポーツ振興課	◎
にしはらスポーツクラブ ステージダンスクラブ	幼児から体を動かすことの楽しさを知り、団体生活に慣れさせることを目的にヒップホップダンスほか創作ダンスのレッスンを行う。	スポーツ振興課	○
おはなし会	すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるように読書環境整備を推進する。	図書館	○
絵本と子育て支援事業	絵本を通して子育てに図書館を活用して親子の文化活動の基盤づくりを行う。	図書館	△
によきによきワークショップ	さまざまなリサイクル素材や自然素材で自由な創作活動を行う。	環境保全課	○

○幼児期における文化体験の創出

西東京市保育園合同観劇	子どもの発達に必要な経験を保障する手だてとして、ビデオ、DVD等映像を通じたものでなく、人が演じる芸術を見聞きすることで、豊かな人間性を育てるため、実施する。	保育課	○
-------------	---	-----	---

○中高生の活動促進

ミュージック☆パーティー イン西東京市	中学・高校生で組織される実行委員会が企画・運営するダンス・バンドのコンサート	児童青少年課	○
中学・高校生年代プロジェクト	中学・高校生年代の児童をスタッフとして募集し、児童たちによる企画立案・運営を支援する。	児童青少年課	○

○異文化交流の促進

英語で楽しく！	外国籍市民の英語話者や英語指導者を講師に招き、幼稚園～小学校低学年にゲームや歌などを通して英語を体験する。	文化振興課	○
---------	---	-------	---

(方針5) 交流による活動の拡大・活性化

団体間相互の交流、団体と企業・市との連携を進め、文化芸術活動を広げ、活性化する。

○外国人との交流・国際理解の促進

NPO企画提案事業 ひょうたん島ワークショップ	近隣大学の留学生と市内の小学生が外国語で劇をしたり、夢の島を考えるワークショップを行う。	文化振興課	○
NPO企画提案事業 留学生ホームビジット	近隣大学の留学生を一日家庭に招いて、交流を図る。	文化振興課	○
多文化ボランティア養成講座	国際理解に関する講演会、企画立案ワークショップなどを通し、ボランティアを養成する。	文化振興課	○
日本語ボランティア養成講座	国際理解に関する講演会、日本語文法など日本語教授法に関する講座を行い、ボランティアを養成する「日本語ボランティア養成講座」、現在活動中のボランティアのスキルアップを図る「日本語ボランティアフォローアップ講座」を実施。	文化振興課	○

○近隣市との連携・交流

多摩六都文化事業	ある文化芸術ジャンルの育成から成果発表までを行い、事業を通じてお互いに交流する中で、地域に根ざした新たな文化醸成に貢献し、圏域内の人々に文化の普及と向上を図る。	文化振興課	○
(仮称)多摩六都フェア卒業団による10周年記念コンサート	多摩六都フェアで輩出した卒業バンドによる交流コンサート。	文化振興課	新規

○姉妹都市・友好都市との交流

姉妹都市・友好都市との交流	姉妹・友好都市の祭りに市民文化交流団体を派遣。	文化振興課	○
---------------	-------------------------	-------	---